

令和4年度

# 教 育 要 項

統 合 臨 床 講 義

奈良県立医科大学  
医学科

学籍番号

氏名

# 目 次

理念・ポリシー	3
奈良県立医科大学医学部医学科授業科目履修要領	6
試験に関する諸注意	18
令和4年度 統合臨床講義時間割	19
令和4年度 統合臨床講義 試験日程	29
令和4年度 統合臨床講義 反転授業一覧	30
統合臨床講義科目紹介	
循環器疾患	32
腎疾患・尿路系疾患	35
肝・胆・膵疾患	37
呼吸器疾患	39
消化器疾患	41
画像診断・IVR	44
精神・行動疾患	45
血液疾患	47
神経疾患	49
眼疾患	52
移植・再生医学	54
運動器疾患	56
耳鼻咽喉疾患	58
皮膚疾患	60
膠原病・アレルギー疾患	62
東洋医学	64
周産期医学	65
臨床腫瘍学・放射線治療学	67
衛生学・公衆衛生学Ⅱ	70
小児疾患	74
法医学	76
外傷・救急医学	78
感染症	81
内分泌代謝栄養疾患	83
総合診療	85
婦人疾患	87
在宅医療学	89
口腔疾患	90
麻酔・疼痛管理	92

病理学実習	94
行動科学Ⅱ	96
医師・患者関係学Ⅰ	97
臨床手技実習	98
実践的医療倫理Ⅰ	100
共用試験（CBT）	101
共用試験（Pre-CC OSCE）	102
実務経験のある教員による授業科目一覧	103
地域基盤型医療教育コース	104
研究医養成コース	105
緊急医師確保枠学生地域医療特別実習Ⅰ	106
コンソーシアム実習	108
卒業時のアウトカム	109
奈良県立医科大学医学部公欠規程	117
暴風警報発令時における授業の措置について	121
地震発生等災害時における授業の措置について	122
健康管理	123

## 奈良県立医科大学の「建学の精神」

最高の医学と最善の医療をもって地域の安心と社会の発展に貢献します。

## 奈良県立医科大学の理念

本学は、医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学および看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与することを理念とする。

## 奈良県立医科大学教育分野の理念と方針

**理念** 豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

- 方針**
1. 良き医療人育成プログラムの実践
  2. 教員の教育能力開発と教育の質保証
  3. 教育全般に関する外部有識者評価と学生参加の推進
  4. 学習環境と教育環境の充実

## 教育目標

奈良県立医科大学は、将来、研究・医療・保健活動を通じて地域社会に貢献し、より広く人類の福祉と医学の発展に寄与できる人材を育成するため、医学・医療に関する基本的な知識、技術、態度・習慣を体得し、独創性と豊かな人間性を涵養し、あわせて生涯学習の基礎をつくることを教育の目標とする。

## アドミッションポリシー

### <アドミッションポリシー(入学者受入れの方針)>

理念を踏まえ、地域の医療と世界の医学・医療の発展を担い、人類の健康と福祉に貢献できる人材を育成するために、次のような資質を持った人を求めています。

### <医学部医学科が求める学生像>

#### 1 医師となる自覚が強く、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人

医師に求められる旺盛な科学的探求心、自然および人間・社会についての幅広い知識と向学心、自ら問題を解決しようとする主体性を持った人を求めます。加えて、豊かな人間性、高い倫理観ならびに社会性を有する人を求めます。

#### 2 患者の立場に立って判断し、患者が安心して受診できる医師となれる人

医師には医学的知識とともに、良好な患者・医師関係を築くことができる十分なコミュニケーション能力、他職種と連携しチーム医療をリードできる能力が必要です。医師として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに、協調性に優れた人を求めます。

#### 3 将来性豊かで、奈良県だけでなく日本、世界の医学界をリードできる人

地域医療に貢献するとともに、国際的にも活躍できる医師・研究者を育成します。入学後、世界の医学界でも活躍できる意欲と能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求めます。

## カリキュラムポリシー

### 1. 倫理観とプロフェッショナリズムの育成、コミュニケーション教育

教養教育では、自律心の向上と倫理学教育に重点を置く。プロフェッショナリズム、コミュニケーション教育に資するため、早期から、高齢者や乳幼児、障害者の施設を見学する機会を持ち、現場で人間的触れ合いを通じて知識だけでなく実践的な医療倫理的素養を培うカリキュラムを配置する。

### 2. 医学、医療とこれらに関連する領域の知識、技能、態度の習得

医学の基盤となる知識を早期から段階的に積み上げていく教育カリキュラムを配置する。

- ① 教養教育では語学や自然科学の基本を習得し、生命科学を学ぶための基盤を作り上げるカリキュラムを配置する。
- ② 基礎医学では、医学の根幹となる解剖学、生理学、生化学を学び、さらに、発展的な基礎医学知識を獲得できるように段階的なカリキュラムを配置する。
- ③ 臨床医学では、広範な知識と基本的臨床技能を習得できるようなカリキュラムを配置する。知識、技能、態度が共用試験（CBT、Pre-CC OSCE）による全国共通試験でも確認された後に、Student Doctorとして臨床実習に参加させる。
- ④ 臨床実習では、診療参加の実態を確保し、医療面接と診療技法を中心に実践的な教育を行う。また、臨床実習の終了時点でPost-CC OSCEを実施し、得られた臨床技能、態度の確認を行う。

### 3. 国際的な視野と科学的探究心の育成

すべての学生に、研究マインドを涵養するべく、リサーチ・クラークシップを実施する。関心の高い学生には、早期から生命科学系の研究に参加できるように、6年一貫の「研究医養成コース」を設けている。海外での実習の機会も設ける。

### 4. 医療を通じた地域社会への貢献

医療システムについての理解を深めることはもちろんであるが、大学内のみならず、奈良県を中心に地域社会、地域医療と関わりを持つ実体験を通じて、奈良の医療を良くしたいという意欲を高める体験型の教育を行っていく。このための6年一貫の「地域基盤型医療教育コース」を設ける。

## ディプロマポリシー

所定の期間在学し、カリキュラムポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位と時間数を修得することが学位授与の要件である。卒業時には以下の能力が求められる。

1. 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観とプロフェッショナリズムを身につけている。
2. 医学とそれに関連する領域の正しい知識を身につけている。
3. 医療を適切に実践できる知識、技能、態度を身につけている。
4. 良好な医療コミュニケーション能力を身につけている。
5. 医学、医療、保健を通じて地域社会へ貢献する意欲と能力を身につけている。
6. 国際的な視野と科学的探究心を身につけている。

## 基本的知識

1. 人間関係、人間行動及び人間と環境の相互関係に関する知識
2. 医学に関係する学問全般にわたる幅広い基本的知識並びに国際化に対応できる語学力
3. 人間の精神活動、身体の構造・機能及びライフサイクルに関する知識
4. 疾病の病因・病理・病態生理に関する基礎的知識並びに主要症状・経過・治療に関する臨床的知識
5. 保健・医療の社会的・行政的機構に関する知識

## 基本的技術

1. 面接・問診・診察の技術
2. 主要臨床検査について理論と方法を理解し、成績を判定する能力
3. 診察・臨床検査から得られる情報を整理分析し、患者のもつ問題を解決する能力
4. 頻度の高い疾患の診察、基本的な治療・応急処置・救急治療のできる能力
5. 研究が医学に果たす役割の重要性の理解と基本的研究技術

## 基本的態度・習慣

1. 医学・医療を全人的包括的にとらえ、自然科学としてだけでなく、精神的・社会的問題との関係を含めて総合的に考える広い視野
2. 患者の立場を尊重して、温かく誠実な患者・医師関係をつくれる豊かな人間性と医師としての指導性
3. 関連の医療・保健従事者及び他の医療施設・研究機関と協力できる謙虚さ、責任感、協調性
4. 卒業後も生涯学習と自己評価を続け、医学の急速な進歩と医療をめぐる社会環境の変化に対応できる能力
5. 高い倫理観に基づく医師としての社会的使命・責任の自覚

# 奈良県立医科大学医学部医学科授業科目履修要領

## (目的)

第1条 この要領は、奈良県立医科大学学則（平成19年4月1日。以下「学則」という。）第8条の規定により、奈良県立医科大学医学部医学科の授業科目（以下「科目」という。）の名称、履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

## (教育課程の区分)

第2条 教育課程を次のとおりとする。

- 一 教養教育 第1年次第1学期から第3学期まで
- 二 基礎医学教育
  - ア 基礎医学Ⅰ 第2年次第1学期から第3学期まで
  - イ 基礎医学Ⅱ 第3年次第1学期から第2学期まで
- 三 臨床医学教育
  - ア 統合臨床講義 第3年次第3学期から第4年次第2学期まで
  - イ 臨床実習Ⅰ 第4年次第3学期から第5年次第2学期まで
  - ウ 臨床実習Ⅱ 第5年次第3学期から第6年次第3学期まで

## (科目等)

第3条 開設する科目、単位数、時間数及び履修年次は、教養教育授業科目表（別表1）、専門教育授業科目表（別表2-1、2-2、3）、診療参加型臨床実習授業科目表（別表4）及び6年一貫教育授業科目表（別表5）のとおりとする。なお、6年一貫教育授業科目に「良き医療人育成プログラム」、「地域基盤型医療教育プログラム」、「臨床マインド育成プログラム」、「研究マインド育成プログラム」、「臨床英語強化プログラム」及び「地域基盤型医療教育コース」、「研究医養成コース」を設置する。

## (履修条件・進級・卒業)

第4条 科目の履修、進級及び卒業の条件は次のとおりとする。なお、進級が認められなかった者については、未修得科目に加えてマイプログラム<sup>※1</sup>を修得しなければ、進級することができない。ただし、卒業が認められなかった者については、この限りでない。

また、「地域基盤型医療教育コース」及び「研究医養成コース」を履修した者については、別に定めるとおりとする。

※1 マイプログラムとは、自己学習力の向上や個人が関心のある分野での成長促進等を目的として、学生ごとのキャリアデザインに沿った教育を実践するプログラムのことをいう。

### 一 教養教育

次に掲げる教養教育科目及び6年一貫教育科目を修得しなければ、基礎医学Ⅰに進級することができない。

#### (1) 教養教育科目

授業科目は、教養教育授業科目表（別表1）のとおりである。教養教育において、必修科目38単位

及び選択科目 9 単位以上を第 1 学年末までに修得しなければならない。なお、選択科目については、履修登録を指定期間内に行わなければならない。(必修科目の履修登録は不要とする。)

(2) 6 年一貫教育科目

授業科目は、6 年一貫教育授業科目表 (別表 5) における教養教育の科目とし、必修科目とする。

## 二 基礎医学教育

### ア 基礎医学 I

次に掲げる専門教育科目及び 6 年一貫教育科目を修得しなければ基礎医学 II に進級することができない。

(1) 専門教育科目

授業科目は、専門教育授業科目表 (別表 2-1) のとおりである。

(2) 6 年一貫教育

授業科目は、6 年一貫教育授業科目表 (別表 5) における基礎医学 I の科目とし、必修科目とする。

### イ 基礎医学 II

次に掲げる専門教育科目及び 6 年一貫教育科目を修得し、基礎医学知識到達度評価試験 (BNAT: Basic science kNowledge Achievement Test) を受験しなければ統合臨床講義に進級することができない。

(1) 専門教育科目

授業科目は、専門教育授業科目表 (別表 2-2) のとおりである。

(2) 6 年一貫教育科目

授業科目は、6 年一貫教育授業科目表 (別表 5) における基礎医学 II の科目とし、必修科目とする。

## 三 臨床医学教育

### ア 統合臨床講義<sup>※2</sup>

次に掲げる専門教育科目及び 6 年一貫教育科目を修得し、共用試験に合格しなければ臨床実習 I に進級することができない。

※2 統合臨床講義とは、これまでに学んだ基礎医学と臨床医学を臓器別・疾患別単位で関連づけ、統合し実施する授業形態のことをいう。

(1) 専門教育科目

授業科目は、専門教育授業科目表 (別表 3) の統合臨床講義科目である。

(2) 6 年一貫教育科目

授業科目は、6 年一貫教育授業科目表 (別表 5) における統合臨床講義の科目とし、必修科目とする。

(3) 共用試験

CBT 及び臨床実習前 OSCE (以下「Pre-CC OSCE」という。)をもって共用試験とし、必要事項は別に定める。



## イ 臨床実習 I

臨床実習（2週間）を履修し、6年一貫教育科目及び臨床TBLを修得しなければ卒業することができない。

### (1) 臨床実習（2週間）

授業科目は、診療参加型臨床実習授業科目表（別表4）のとおりとする。なお、臨床実習を長期間に渡って履修できない場合は、臨床教育部長の判断により共用試験（CBT及びPre-CC OSCE）を課すこととする。

### (2) 6年一貫教育科目

授業科目は、6年一貫教育授業科目表（別表5）における臨床実習Iの科目とし、必修科目とする。

### (3) 臨床TBL

チーム基盤型学習形式により臨床医学についての知識を習得する科目とし、必修科目とする。

## ウ 臨床実習 II

5年次臨床医学知識到達度評価試験（CNAT：Clinical science kNowledge Achievement Test）を受験し、臨床実習（4週間・8週間）を履修し、6年一貫教育科目を修得しかつ診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（以下「Post-CC OSCE」という。）及び卒業試験（統合問題形式の筆記試験）に合格、しなければ卒業することができない。なお、卒業できなかった学生は、6年次の第1学期から再履修し、Post-CC OSCE及び卒業試験に合格しなければ、卒業することができない。

### (1) 臨床実習（4週間・8週間）

臨床実習（4週間・8週間）に関する必要事項は別に定める。なお、臨床実習について到達目標を設け、それに対する評価を行う。

### (2) 6年一貫教育科目

授業科目は、6年一貫教育授業科目表（別表5）における臨床実習IIの科目とし、必修科目とする。

### (3) Post-CC OSCE

クリニカル・クラークシップの総合的評価として実施し、必修科目とする。なお、Post-CC OSCEに関する必要事項は別に定める。

### (4) 卒業試験

卒業試験に関する必要事項は別に定める。

### （単位の計算方法）

第5条 科目の単位数は、1単位45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、学習方法に応じ、次の基準により、計算するものとする。

一 講義については、15時間をもって1単位とする。ただし、科目の内容によっては30時間をもって1単位とすることができる。

二 演習については、30時間をもって1単位とする。ただし、科目の内容によっては15時間をもって1単位とすることができる。

三 実習、実技及び実験については、45時間をもって1単位とする。ただし、科目の内容によっては30時間をもって1単位とすることができる。

(単位又は授業科目修得の認定)

第6条 授業科目の単位又は修得の認定は試験等により、教室主任又は科目責任者が行う。

(試験)

第7条 定期試験は、期日を定めて行う。

一 定期試験の期間は、あらかじめ公示する。

二 定期試験以外に担当教員が必要と認めたときは、臨時試験を行うことがある。

2 試験は筆答及び口頭又はそのいずれかをもって行う。

3 各科目について、授業時間数の3分の2以上出席<sup>\*2</sup>し、かつ担当教員の承認を得なければ当該科目の定期試験を受けることができない。ただし、公欠を認められた期間は、上記の授業時間数には含めないものとする。補講等が実施された場合は当該期間数に含めるものとする。「奈良県立医科大学医学部公欠規程」参照。

4 疾病その他やむを得ない事由のため、所定の期日に定期試験を受けることができない者は、担当教員の承認を得るとともに、別に定める試験欠席届を学長に提出しなければならない。

欠席届を提出した者については、担当教員が別に期日と方法を定めて追試験を行う。

5 授業科目の単位又は修得の認定についての評価方法は、別に教育要項で定める。

6 成績は、100点法によって表示し、60点以上をもって合格とする。60点未満の者については、原則として再試験を1回行い、可否を判定する。

7 試験において不正行為を行った者については、当該科目及び関連科目の試験を無効とし、進級又は卒業を停止する。不正行為が悪質であると判断された場合は、学則第41条による懲戒処分を行う。

(成績認定、進級判定)

第8条 成績認定及び進級判定は、教養教育協議会、基礎医学教育協議会、臨床医学教育協議会又は教務委員会から提出された成績資料に基づき、成績認定会議で審議を行う。

2 成績認定会議は、医学科長、教養教育部長、基礎教育部長、臨床教育部長及び教育開発センター専任教員をもって組織する。

3 成績認定及び進級判定の結果は、医学科長が医学部長に報告のうえ学長に報告し、学長が決定するものとし、その結果は、教授会議において報告するものとする。

(卒業認定)

第9条 卒業時の成績認定、授業科目の修了の認定及び卒業の認定は、教授会議で審議を行い、その結果を受けて卒業判定会議で審議を行う。

2 卒業判定会議は、医学科長、教養教育部長、基礎教育部長、臨床教育部長及び教育開発センター専任教員をもって組織する。

3 卒業時の成績認定、授業科目の修了の認定及び卒業の認定の結果は、医学科長が医学部長に報告のうえ学長に報告し、学長が認定するものとし、その結果は、教授会議において報告するものとする。

(雑則)

第10条 この要領に定めるもののほか、科目の履修に関し必要な事項は別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要領は、令和3年12月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 第4条1項三号イ及びウに規定する5年次臨床医学知識到達度評価試験は、令和2年12月1日以降に臨床実習Iを履修した者に対して適用し、同日前に臨床実習Iを履修した者については、なお従前の例による。
- 3 第4条1項の進級が認められなかった者に関する規定は、統合臨床講義については、令和3年12月1日以降に履修した者に対して適用し、同日前に統合臨床講義を履修した者については、なお従前の例による。

**※2 3分の2以上出席の考え方について**

学則第41条に規定されているとおり、授業に出席することは学生の本分であり、出席不良者（正当の理由がなくて出席常でないもの）は退学、休学、又はけん責（文書注意）のいずれかの懲戒の対象となる。よって、授業時間数の3分の2を出席すれば、それ以上出席しなくてもよいというものではない。

履修要領第6条第3項に定めている「3分の2以上出席」の趣旨は、例えば、傷病によりやむを得ず欠席した場合等を考慮し、定期試験を受けることができる出席数の下限を定めているものである。

学則（抜粋）

第41条 学長は、学生がこの学則及びこの学則に基づく規程並びに学長の指示及び命令にそむき、学生の本分に反する行為があったとき、これに対し懲戒処分として、けん責、停学又は退学の処分をすることができる。ただし、退学処分は次のイ各号の一に該当するもののみに行うことができる。

- 一 性行不良で改善の見込がないと認められる者
- 二 学力劣等で成業の見込がないと認められる者
- 三 正当の理由がなくて出席常でない者
- 四 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

別表1 教養教育 医学科授業科目表

種類	授業科目	選択・必修		授業時間数			単位数	備考
		前期	後期	時間/週	年間週数	計		
1	基礎物理学Ⅰ	◎		2	15	30	2	
	基礎物理学Ⅱ		△	2	15	30	2	
	基礎物理学Ⅲ		△	2	15	30	2	
	基礎物理学演習	◎		2	15	30	1	
	基礎物理学実験		◎	4	12	48	1	
2	分析化学	◎		2	15	30	2	
	有機化学	◎		2	15	30	2	
	生体分子化学		△	2	15	30	2	
	医用材料化学		△	2	15	30	2	
	基礎化学実験		◎	4	12	48	1	
3	生命科学概論	◎	◎	2	30	60	4	
	分子生物学		△	2	15	30	2	
	基礎生物学		△	2	15	30	2	
	基礎生物学実験	◎		4	12	48	1	
4	数学Ⅰ	◎	◎	2	30	60	4	
	数学Ⅱ		△	2	15	30	2	
	数学Ⅰ演習	△		2	15	30	1	
5	生物統計学	◎		2	15	30	2	
	医療情報学		△	2	8	16	1	
6	スポーツ実践Ⅰ	◎		2	15	30	1	
	スポーツ実践Ⅱ		◎	2	15	30	1	
	健康科学	△		2	15	30	2	
7	Academic EnglishⅠ	◎		4	15	60	2	
	Academic EnglishⅡ		◎	4	15	60	2	
8	医療に関わる倫理学Ⅰ	◎		2	15	30	2	医看合同(注3)
	医療に関わる倫理学Ⅱ		△	2	15	30	2	医看合同(注3)
	哲学	△		2	15	30	2	医看合同(注3)
9	アジア文化論 (注1)	◎		2	15	30	1	医看合同(注3)
	西洋文化論 (注2)		◎	2	15	30	1	医看合同(注3)
	異文化論	△		2	15	30	2	医看合同(注3)
10	教育実践論	◎		2	15	30	2	医看合同(注3)
	臨床心理学		◎	2	15	30	2	医看合同(注3)
	社会福祉と医療法規		◎	2	15	30	2	医看合同(注3)
	行動科学Ⅰ		◎	2	15	30	2	
	市民と法		△	2	15	30	2	
11	医学研究入門	△		2	15	30	2	

◎…必修科目、△…選択科目

(注1) 「アジア文化論」：中国文化、韓国文化、インドネシア文化  
(注2) 「西洋文化論」：ドイツ文化、フランス文化、英語圏文化、  
(注3) 医学看護学合同教育科目：医学科および看護学科共通科目

別表2-1 基礎医学Ⅰ 専門教育授業科目表

授業科目	授業時間数			計
	講義	実習	演習	
解剖学Ⅰ	44	51 (内解剖実習36)	-	186
解剖学Ⅱ	46	45 (内解剖実習27)	-	
発生・再生医学	26	-	-	26
生理学Ⅰ	48	90	-	186
生理学Ⅱ	48		-	
生化学	94	48	-	142
基礎医学Ⅰ TBL	-	-	30	30
計	306	234	30	570

別表2-2 基礎医学Ⅱ 専門教育授業科目表

授業科目	授業時間数			計
	講義	実習	演習	
病理学	51	6	-	57
病原体・感染防御医学	48	15	-	63
微生物感染症学	39	21	-	60
免疫学	51	12	-	63
薬理学	30	33	-	63
衛生学・公衆衛生学Ⅰ	63	0	-	63
疫学・予防医学	61	-	-	61
公衆衛生学	2	-	-	2
基礎医学Ⅱ TBL	-	-	30	30
計	282	87	30	399

別表3 臨床医学専門教育授業科目表

科目名	担当講座	授業時間数
循環器疾患	循環器内科学	26
肝・胆・膵疾患	消化器内科学	17
呼吸器疾患	呼吸器内科学	26
消化器疾患	消化器・総合外科学	29
腎疾患・尿路系疾患	泌尿器科学	29
画像診断・IVR	放射線診断・IVR学	7
精神・行動疾患	精神医学	24
血液疾患	呼吸器内科学	24
神経疾患	脳神経内科学／脳神経外科学	34
眼疾患	眼科学	14
移植・再生医学	胸部・心臓血管外科学	17
運動器疾患	整形外科	16
耳鼻咽喉疾患	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	14
皮膚疾患	皮膚科学	10
膠原病・アレルギー疾患	腎臓内科学	10
東洋医学	教育開発センター	7
周産期医学	産婦人科学	19
臨床腫瘍学・放射線治療学	放射線腫瘍医学	26
衛生学・公衆衛生学Ⅱ	公衆衛生学	27
社会フィールド系実習		30
小児疾患	小児科学	12
法医学	法医学	24
社会フィールド系実習		30
外傷・救急医学	救急医学	18
感染症	感染症センター	17
内分泌代謝栄養疾患	糖尿病・内分泌内科学	25
総合診療	総合医療学	10
婦人疾患	産婦人科学	12
在宅医療学	総合医療学	4
口腔疾患	口腔外科学	14
麻酔・疼痛管理	麻酔科学	17
病理学実習	病理診断学	22
計		611

別表4 診療参加型臨床実習授業科目表

科目名	担当講座	備考
循環器内科学	循環器内科学	
腎臓内科学	腎臓内科学	リウマチを含む
呼吸器内科学	呼吸器内科学	血液、輸血、感染を含む
消化器内科学	消化器内科学	内視鏡、中検を含む
糖尿病・内分泌内科学	糖尿病・内分泌内科学	
脳神経内科学	脳神経内科学	リハビリテーションを含む
消化器・総合外科学	消化器・総合外科学	小児外科、乳腺外科を含む
脳神経外科学	脳神経外科学	
胸部・心臓血管外科学	胸部・心臓血管外科学	先天性心疾患センターを含む
整形外科	整形外科	
口腔外科学	口腔外科学	
産婦人科学	産婦人科学	周産期を含む
眼科学	眼科学	
小児科学	小児科学	
精神医学	精神医学	
皮膚科学	皮膚科学	形成外科を含む
泌尿器科学	泌尿器科学	透析を含む
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	
放射線医学	放射線医学	
放射線腫瘍医学	放射線腫瘍医学	
麻酔科学	麻酔科学	ペインクリニックを含む
救急医学	救急医学	
総合医療学	総合医療学	
病理診断学	病理診断学	
リハビリテーション医学	リハビリテーション医学	
がんゲノム・腫瘍内科学	がんゲノム・腫瘍内科学	

## 別表5 6年一貫教育授業科目表

### 《A 良き医療人育成プログラム》

NO.	授 業 科 目	区分	教養教育		基礎医学Ⅰ		基礎医学Ⅱ		統合臨床講義		臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ		授業時間数
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1	奈良学	必修		○											30
2	次世代医療人育成論	必修	○												30
3	ロールモデルを探す	必修			○										9
4	VOP講座	必修				○									9
5	私のキャリアパスⅠ	必修					○								12
6	私のキャリアパスⅡ	必修											○		7
7	行動科学Ⅰ（※注1）	必修		○											30
8	行動科学Ⅱ	必修							○						9
9	医療安全学Ⅰ（基礎編）	必修					○								10
10	医療安全学Ⅱ（臨床編）	必修								○					18
11	医師・患者関係学Ⅰ	必修							○						6
12	医師・患者関係学Ⅱ	必修								○	○				6
13	医師・患者関係学Ⅲ	必修												○	3
14	実践的医療倫理Ⅰ	必修								○					9
15	実践的医療倫理Ⅱ	必修											○		3
16	多職種連携講座	必修									○				3
17	Never do harm!	必修									○				15
合 計															209

（注1） 教養教育授業科目の必修科目（別表1参照）

### 《B 地域基盤型医療教育プログラム》

NO.	授 業 科 目	区分	教養教育		基礎医学Ⅰ		基礎医学Ⅱ		統合臨床講義		臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ		授業時間数
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1	地域医療実習1	必修					○								24
2	地域医療実習2	必修											○		30
3	早期医療体験実習（※注2）	必修		○											24
4	キャリアパス・メンター実習（※注2）	必修											○	○	16
5	緊急医師確保枠学生 地域医療特別実習1（※注3）	必修	○	○	○	○	○	○	○	○					30
6	緊急医師確保枠学生 地域医療特別実習2（※注4）	必修									○	○	○	○	10
合 計															134

（注2） 《C 臨床マインド育成プログラム》NO.6、NO.7と同一授業科目

（注3） 1～4年の緊急医師確保入学試験枠の学生が履修

（注4） 5～6年の緊急医師確保入学試験枠の学生が履修



### 《C 臨床マインド育成プログラム》

NO.	授 業 科 目	区分	教養教育		基礎医学Ⅰ		基礎医学Ⅱ		統合臨床講義		臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ		授業時間数
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1	医学・医療入門講義	必修	◎	◎											48
2	臨床手技実習入門Ⅰ	必修		◎											12
3	臨床手技実習入門Ⅱ	必修			◎										24
4	臨床手技実習入門Ⅲ	必修					◎								30
5	臨床手技実習	必修							◎						41
6	早期医療体験実習 (附属病院・外来・病棟) (※注5)	必修		◎											24
7	キャリアパス・メンター実習 (※注5)	必修										◎	◎		16
合 計															195

(注5) 《B 地域基盤型医療教育プログラム》NO. 3、NO. 4と同一授業科目

### 《D 研究マインド育成プログラム》

NO.	授 業 科 目	区分	教養教育		基礎医学Ⅰ		基礎医学Ⅱ		統合臨床講義		臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ		授業時間数
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1	リサーチ・クラークシップ	必修				◎									270
2	研究医特別メンター実習 (※注6)	必修			◎	◎	◎	◎	◎	◎					
		自由									□	□	□	□	
3	コンソーシアム実習 (早大・奈良医大連携講座) (※注7)	自由	□ 夏の休業中												30
合 計															300

(注6) 研究医養成コースの学生が履修

(注7) 夏の休業期間に行う5日間の集中講義

### 《E 臨床英語強化プログラム》

NO.	授 業 科 目	区分	教養教育		基礎医学Ⅰ		基礎医学Ⅱ		統合臨床講義		臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ		授業時間数
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
1	Academic English I (※注1)	必修	◎												60
2	Academic English II (※注1)	必修		◎											60
3	Medical English	必修			◎										30
4	医学・医療英語	必修						◎							15
合 計															165

NO.	授 業 科 目	区分	教養教育		基礎医学 I		基礎医学 II		統合臨床講義		臨床実習 I		臨床実習 II		授業時間数
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
5	Advanced English 1a: English for IELTS and TOEFL (speaking, reading)	自由	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									—
6	Advanced English 1b: English for IELTS and TOEFL (writing, listening)	自由	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									—
7	Remedial English	自由	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									—
8	English for Medical Research Purposes	自由			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
9	Advanced medical Vocabulary	自由			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
10	Global Health issues	自由			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
11	Advanced Clinical English I	自由					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
12	Medical Ethics and the Law	自由					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—

# 試験に関する諸注意

## 1 筆記試験の注意事項

- ① 試験開始後、原則として入室限度時刻を超過した遅刻者は受験できない。
- ② 試験開始後、原則として入室限度時刻までは退出できない。
- ③ 試験終了10分前以降は、退出できない。
- ④ 一度退出した者は、再び入室できない。
- ⑤ 受験中における私語及び物品の貸借は一切禁止する。
- ⑥ 机の上には筆記用具、時計（但し、計算、辞書、通信等の機能のある時計は禁止）、メガネ以外は置かないこと。
- ⑦ 携帯電話、スマートフォン、通信機能のある機器等を持っている者は、電源を切り、カバンの中に入れること。
- ⑧ その他、試験監督者の禁止するものを持ち込んではいならない。

## 2 不正行為について

(1) 試験における不正行為とは、次に掲げる行為をいう。

- ア 参照を許されていない書籍、ノート、メモ、携帯電話等を試験中に参照すること。
- イ 他人の答案をのぞき見ること。
- ウ 答案を見せ合うこと。
- エ 音声や動作等により解答に役立つ情報を伝え合うこと。
- オ 机や下敷きなどに解答に役立つメモ等を残すこと。
- カ 試験問題を試験前に不正に入手すること。
- キ その他前記行為に類する行為。

(2) 参照を許されていない書籍、ノート、メモ、携帯電話等を試験中に机の下部棚などに置くことは、実際に参照したかどうかを問わず、不正行為と見なす。

(3) その他、不正行為に関する試験監督者の注意や指示に反する行為は、不正行為と見なす場合がある。

## 3 不正行為を行った者に対する処分

試験において不正行為を行った者については、当該科目及び関連科目の試験を無効とし、進級又は卒業を停止する。不正行為が悪質であると判断された場合には、学則第41条による懲戒処分を行う。

## 令和4年度 統合臨床講義時間割

週	月		火		水		木		金						
	日	AM	PM	日	AM	PM	日	AM	PM	日	AM	PM			
1															
2	12/6	循環器疾患2	肝胆膵疾患1	12/7	呼吸器疾患1	消化器疾患1	12/8	腎・尿路系疾患2	自己学習時間	12/9	呼吸器疾患2	消化器疾患2	12/10	循環器疾患3	腎・尿路系疾患3
3	12/13	肝胆膵疾患2	腎・尿路系疾患4	12/14	呼吸器疾患3	消化器疾患3	12/15	腎・尿路系疾患5	循環器疾患4	12/16	呼吸器疾患4	自己学習時間	12/17	消化器疾患4	腎・尿路系疾患6
-	冬季休暇 (12月18日～1月4日)														
4															
5	1/10	成人の日		1/11	消化器疾患6	呼吸器疾患5	1/12	肝胆膵疾患5	画像診断・IVR1	1/13	消化器疾患7	呼吸器疾患6	1/14	大学入学共通テスト準備	
6	1/17	消化器疾患8	呼吸器疾患7	1/18	腎・尿路系疾患8	画像診断・IVR2	1/19	呼吸器疾患8	画像診断・IVR3	1/20	自己学習時間	自己学習時間	1/21	消化器疾患9	循環器疾患7
7	1/24	循環器疾患8	消化器疾患10	1/25	腎・尿路系疾患9	腎・尿路系疾患10	1/26	呼吸器疾患9	循環器疾患9	1/27	腎・尿路系疾患11	肝胆膵疾患6	1/28	試験前自己学習時間	
8	1/31	試験前自己学習時間		2/1	試験前自己学習時間		2/2	試験前自己学習時間		2/3	試験前自己学習時間		2/4	第1ブロック試験	
9	2/7	第1ブロック試験		2/8	第1ブロック試験		2/9	精神・行動疾患1	精神・行動疾患2	2/10	血液疾患1	神経疾患1	2/11	建国記念の日	
10	2/14	神経疾患2	自己学習時間	2/15	眼疾患1	眼疾患2	2/16	血液疾患2	眼疾患3	2/17	血液疾患3	神経疾患3	2/18	移植・再生医学1	血液疾患4
11	2/21	神経疾患4	血液疾患5	2/22	眼疾患4	眼疾患5	2/23	天皇誕生日		2/24	自己学習時間	前期入学試験準備	2/25	前期入学試験	
12	2/28	神経疾患5	自己学習時間	3/1	運動器疾患1	運動器疾患2	3/2	精神・行動疾患3	精神・行動疾患4	3/3	移植・再生医学2	自己学習時間	3/4	移植・再生医学3	神経疾患6
13	3/7	運動器疾患3	耳鼻咽喉疾患1	3/8	移植・再生医学4	運動器疾患4	3/9	精神・行動疾患5	精神・行動疾患6	3/10	皮膚疾患1	自己学習時間	3/11	膠原病・アレルギー1	後期入学試験準備
14	3/14	自己学習時間	耳鼻咽喉疾患2	3/15	自己学習時間	自己学習時間	3/16	精神・行動疾患7	精神・行動疾患8	3/17	皮膚疾患2	移植・再生医学5	3/18	膠原病・アレルギー2	神経疾患7
15	3/21	春分の日		3/22	運動器疾患5	耳鼻咽喉疾患3	3/23	皮膚疾患3	皮膚疾患4	3/24	東洋医学1	東洋医学2	3/25	膠原病・アレルギー3	神経疾患8
-	春季休暇 (3月26日～4月3日)														
16	4/4	移植・再生医学6	運動器疾患6	4/5	耳鼻咽喉疾患4	耳鼻咽喉疾患5	4/6	神経疾患9	血液疾患6	4/7	自己学習時間	神経疾患10	4/8	膠原病・アレルギー4	東洋医学3
17	4/11	行動科学Ⅱ1	行動科学Ⅱ2	4/12	自己学習時間	神経疾患11	4/13	血液疾患7	行動科学Ⅱ3	4/14	神経疾患12	血液疾患8	4/15	試験前自己学習時間	
18	4/18	試験前自己学習時間		4/19	試験前自己学習時間		4/20	試験前自己学習時間		4/21	試験前自己学習時間		4/22	第2ブロック試験	
19	4/25	第2ブロック試験		4/26	第2ブロック試験		4/27	第2ブロック試験		4/28	第2ブロック試験		4/29	昭和の日	
20	5/2	自己学習時間	自己学習時間	5/3	憲法記念日		5/4	みどりの日		5/5	こどもの日		5/6	周産期医学1	周産期医学2
21	5/9	臨床腫瘍学・放射線治療学1	健康診断	5/10	小児疾患1	法医学1	5/11	外傷・救急医学1	衛生学・公衆衛生学Ⅱ1	5/12	自己学習時間	臨床腫瘍学・放射線治療学2	5/13	感染症1	衛生学・公衆衛生学Ⅱ2
22	5/16	自己学習時間	臨床腫瘍学・放射線治療学3	5/17	小児疾患2	法医学2	5/18	衛生学・公衆衛生学Ⅱ3	臨床腫瘍学・放射線治療学4	5/19	周産期医学3	周産期医学4	5/20	感染症2	内分泌代謝栄養疾患1
23	5/23	小児疾患3	外傷・救急医学2	5/24	周産期医学5	周産期医学6	5/25	自己学習時間	内分泌代謝栄養疾患2	5/26	医師・患者関係学Ⅰ1	内分泌代謝栄養疾患3	5/27	衛生学・公衆衛生学Ⅱ4	臨床腫瘍学・放射線治療学5
24	5/30	小児疾患4	総合診療1	5/31	周産期医学7	婦人疾患1	6/1	感染症3	内分泌代謝栄養疾患4	6/2	医師・患者関係学Ⅰ2	自己学習時間	6/3	臨床腫瘍学・放射線治療学6	衛生学・公衆衛生学Ⅱ5
25	6/6	自己学習時間	在宅医療学1	6/7	外傷・救急医学3	総合診療2	6/8	感染症4	内分泌代謝栄養疾患5	6/9	医師・患者関係学Ⅰ3	臨床腫瘍学・放射線治療学7	6/10	婦人疾患2	婦人疾患3
26	6/13	婦人疾患4	総合診療3	6/14	感染症5	内分泌代謝栄養疾患6	6/15	臨床腫瘍学・放射線治療学8	衛生学・公衆衛生学Ⅱ6	6/16	外傷・救急医学4	臨床腫瘍学・放射線治療学9	6/17	自己学習時間	内分泌代謝栄養疾患7
27	6/20	法医学3	自己学習時間	6/21	感染症6	自己学習時間	6/22	法医学4	法医学5	6/23	医師・患者関係学Ⅰ4	衛生学・公衆衛生学Ⅱ7	6/24	外傷・救急医学5	内分泌代謝栄養疾患8
28	6/27	法医学6	衛生学・公衆衛生学Ⅱ8	6/28	自己学習時間	自己学習時間	6/29	口腔疾患1	口腔疾患2	6/30	麻酔・疼痛管理1	麻酔・疼痛管理2	7/1	法医学7	総合診療4
29	7/4	麻酔・疼痛管理3	自己学習時間	7/5	内分泌代謝栄養疾患9	麻酔・疼痛管理4	7/6	口腔疾患3	外傷・救急医学6	7/7	自己学習時間	口腔疾患4	7/8	麻酔・疼痛管理5	在宅医療学2
30	7/11	外傷・救急医学7	麻酔・疼痛管理6	7/12	衛生学・公衆衛生学Ⅱ9	自己学習時間	7/13	自己学習時間	自己学習時間	7/14	法医学8	口腔疾患5	7/15	試験前自己学習時間	
31	7/18	海の日		7/19	試験前自己学習時間		7/20	試験前自己学習時間		7/21	試験前自己学習時間		7/22	第3ブロック試験	
32	7/25	第3ブロック試験		7/26	第3ブロック試験		7/27	第3ブロック試験		7/28	第3ブロック試験		7/29	第3ブロック試験	
-	夏季休暇 (7月30日～8月31日)														
33										9/1	CBT		9/2	CBT	
34	社会フィールド系実習 (衛生学・公衆衛生学Ⅱ) (9月5日～9月9日)														
35	9/12	臨床手技実習1		9/13	臨床手技実習2		9/14	臨床手技実習3		9/15	臨床手技実習4		9/16	自己学習時間	
36	9/19	敬老の日		9/20	臨床手技実習5		9/21	臨床手技実習6		9/22	臨床手技実習7		9/23	秋分の日	
37	9/26	臨床手技実習8		9/27	臨床手技実習9		9/28	臨床手技実習10		9/29	臨床手技実習11		9/30	自己学習時間	
38	10/3	実践的医療倫理Ⅰ1		10/4	実践的医療倫理Ⅰ2		10/5	社会フィールド系実習 報告会		10/6	自己学習時間		10/7	自己学習時間	
39	10/10	スポーツの日		10/11	自己学習時間		10/12	自己学習時間		10/13	CBT再試		10/14	大学祭	
40	社会フィールド系実習 (法医学) (10月17日～10月21日)														
41	10/24	病理学実習1	病理学実習2	10/25	病理学実習3	病理学実習4	10/26	病理学実習5	病理学実習6	10/27	病理学実習7	病理学実習8	10/28	自己学習時間	
42	10/31	自己学習時間		11/1	自己学習時間		11/2	自己学習時間		11/3	文化の日		11/4	自己学習時間	
43	11/7	自己学習時間		11/8	自己学習時間		11/9	自己学習時間		11/10	自己学習時間		11/11	自己学習時間	
44	進級判定期間 (11月14日～11月25日)														
45							11/23	勤労感謝の日							
-	11/28	臨床実習前説明会 (予定)		11/29	白衣授与式 (予定)		11/30	BSLオリエンテーション (予定)		12/1	BSLオリエンテーション (予定)		12/2	BSLオリエンテーション (予定)	

自己学習時間： 休講 休講の補講や事前学習等に充てられる時間帯であり、休講日ではない  
 健康診断： 5月9日 (月)  
 白衣授与式： 11月29日 (火) (予定)  
 BSLオリエンテーション (手術室オリエンテーション及び看護と日常生活援助)： 11月30日 (水)～12月2日 (金) (予定)

※本シラバスにおける授業は対面を原則としていますが、遠隔で実施する場合があります。

1時限目	9:00 ~ 10:00
2時限目	10:10 ~ 11:10
3時限目	11:20 ~ 12:20
4時限目	13:10 ~ 14:10
5時限目	14:20 ~ 15:20
6時限目	15:30 ~ 16:30

Pre-CC OSCE  
10/1・10/2

Pre-CC OSCE  
予備日  
10/29・10/30

## 第1ブロックの時間割（個別）

週	月						火						水						木						金																							
	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6													
1													オリエンテーション 「臨床医学総論」						オリエンテーション 「臨床医学総論」						オリエンテーション 「臨床医学総論」																							
2	12/6	狭心症 (循内)	高血圧 (循内)	二次性 高血圧 (循内)	肝疾患の 鑑別診断 (消内)	慢性肺炎 (消内)	肝硬変・ 肝硬変合 併症の病 態と治療 (消内)	12/7	呼吸器疾 患の総論 (解剖、 機能、症 候群) (呼内)	睡眠時無 呼吸症候 群と生活 習慣病 (呼内)	酸素療法 と人工呼 吸管理・ ARDS (呼内)	消化器内 視鏡検査 の基本 (消内)	消化管画 像診断の 適応と読 影の基本 (放射)	周術期の 全身管理 (消外)	12/8	急性腎障 害 (腎内)	間質性腎 炎 (腎内)	ネフロー ゼ症候群 (腎内)	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	12/9	呼吸器病 治療薬 (薬理)	呼吸器病 治療薬 (薬理)	良性肺疾 患の外科 治療 (胸外)	消化管癌 の病理 (分病)	Helicobacter pylori 感染 症と胃潰瘍、 十二指腸潰瘍 (消化性潰 瘍) (消内)	胃炎と機 能性ディ スぺプシ ア (消内)	12/10	心不全 治療薬 (薬理)	降圧薬 (薬理)	【自己学 習時間】	慢性腎臓 病および 慢性腎不 全 (腎内)	腎と酸塩 基平衡 (腎内)	尿細管機 能障害 (腎内)													
3	12/13	【自己学 習時間】	肝胆臓の 画像診断 ① (放射)	肝胆臓の 画像診断 ② (放射)	急速進行 性腎炎症 候群 (腎内)	小児にお ける腎疾 患 (小児)	溶血性尿 毒症症候 群 (小児)	12/14	慢性閉塞 性肺疾患 (COPD) (呼内)	肺結核と 非結核性 抗酸菌症 (呼内)	呼吸器疾 患の診察 法 (呼内)	大腸癌の 診断・薬 物療法 (消外)	胃癌の診 断と治療 (消外)	外科学総 論 (消外)	12/15	腎・尿路 上皮の病 理 (病診)	男性生殖 器の病理 (病診)	腎炎の病 理 (病診)	先天性心 疾患1 (先天性 心疾患セ ン)	先天性心 疾患2 (先天性 心疾患セ ン)	弁膜症 (循内)	12/16	呼吸器領 域の画像 診断 (放射)	呼吸器領 域の画像 診断 (放射)	小児の気 管支喘息 (小児)	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	12/17	小児の消 化器疾患 (小児)	小児の食 道・胃・ 十二指腸 疾患 (消外)	乳房腫瘍 に対する 診断と検 査 (消外)	排尿障害 治療薬 (薬理)	【特別講義】 腎生理・利尿薬 (薬理)														
-	冬季休暇（12月18日～1月4日）																																															
4													心筋梗塞 (循内)						不整脈 1 (循内)						不整脈 2 (循内)						【自己学 習時間】						【自己学 習時間】						血液浄 化・腎移 植 (透析)					
5	1/10	成人の日						1/11	胃癌の画 像診断 (放射)	大腸癌の 内視鏡・ 手術治療 (消外)	消化管ポ リポース (消外)	呼吸器疾 患 (病診)	呼吸器疾 患 (病診)	肺癌の外 科治療 (胸外)	1/12	肝胆臓の IVR (放射)	原発性肝 細胞癌 (消内)	アルコー ル性・薬 物性肝障 害 (消内)	画像診 断・IVR 総論 (放射)	脳神経画 像診断 (中放)	【自己学 習時間】	1/13	炎症性腸 疾患および 機能性消化 管障害の診 断と治療 (消内)	炎症性腸 疾患の外 科治療効 果 (消外)	膵臓癌・紅 門疾患・腹 膜癌の診 断と治療 (消外)	肺癌の診 断と治療 (呼内)	呼吸器感 染症の診 断と治療 (呼内)	肉芽腫 性・アレ ルギー性 肺疾患 (呼内)	1/14	大学入学共通テスト準備																		
6	1/17	腹壁・鼠 径部ヘル ニアの診 断と外科 治療 (消外)	良性食道 疾患 (消内)	食道癌の 診断と治 療 (放射)	全身性疾 患と肺病 変 (呼内)	胸膜疾患 (呼内)	肺血栓塞 栓症と肺 高血圧 (呼内)	1/18	膀胱腫瘍 (泌尿器)	上部尿路 腫瘍 (泌尿器)	陰茎・精 巣・副腎 ・後腹膜腫 瘍 (泌尿器)	CT・ MRI・超 音波・核 医学総論 (中放)	腹部画像 診断 (総合画 像診断セ ン)	IVR各論 (放射)	1/19	高齢者の 肺疾患 (呼内)	職業性肺 疾患 (呼内)	気管支喘 息 (呼内)	胸部画像 診断 (総合画 像診断セ ン)	【自己学 習時間】	1/20	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	1/21	食道癌の 外科治療 (消外)	小児の腸 胃消化 不良 (小児)	小児の小 腸大腸疾 患 (消外)	虚血性心 疾患治療 薬・抗血 小板薬 (薬理)	血管疾患 の画像診 断とIVR (画像下 治療) (放射)	虚血性心 疾患の外 科的治療 (胸外)															
7	1/24	虚血性心 疾患の非 薬物治療 (循内)	重症心不 全の外科 治療 (胸外)	弁膜症・ 心臓腫瘍 の外科的 治療 (胸外)	乳房の腫 瘍（良 性・悪 性） (消外)	消化管の 希少がん (放射)	【自己学 習時間】	1/25	前立腺肥 大症・下 部尿路症 状 (泌尿器)	女性泌尿 器科 (泌尿器)	前立腺癌 (泌尿器)	腎・尿路 の画像診 断 (中放)	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	1/26	【自己学 習時間】	間質性肺 疾患 (呼内)	呼吸器疾 患のまと め (呼内)	脂質異常 症治療薬 (薬理)	大動脈・ 末梢血管 疾患の外 科的治療 (胸外)	腫瘍循 環器学 (循内)	1/27	小児泌尿 器科 (泌尿器)	腎腫瘍 (泌尿器)	尿路結石 症 (泌尿器)	肝・胆・ 膵疾患の 病理1 (病診)	肝・胆・ 膵疾患の 病理2 (病診)	急性肝 炎・急性 肝不全 (消内)	1/28	【試験前自己学習時間】																		
8	1/31	【試験前自己学習時間】						2/1	【試験前自己学習時間】						2/2	【試験前自己学習時間】						2/3	【試験前自己学習時間】																									
9	2/7	循環器疾 患試験		呼吸器疾 患試験						2/8	腎疾患・ 尿路系疾 患試験		画像診 断・IVR 試験										2/4	肝・胆・ 膵疾患試 験		消化器疾 患試験																						

- 循環器疾患
- 腎疾患・尿路系疾患
- 肝・胆・膵疾患
- 呼吸器疾患
- 消化器疾患
- 画像診断・IVR

自己学習時間： 休講の補講や事前学習等に充てられる時間帯であり、休講日ではない

1時限目	9:00 ~ 10:00
2時限目	10:10 ~ 11:10
3時限目	11:20 ~ 12:20
4時限目	13:10 ~ 14:10
5時限目	14:20 ~ 15:20
6時限目	15:30 ~ 16:30

## 第2ブロックの時間割（個別）

週	月						火						水						木						金										
	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6
9																									2/11 建国記念の日										
10	2/14	脳神経内 科概論 (脳内)	筋疾患 (脳内)	神経因性 膀胱 (泌尿器)	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	2/15	視機能検 査Ⅰ・Ⅱ (眼科)	遺伝性眼 疾患 (眼科)	眼科再生 医療 (眼科)	外眼筋疾 患、眼高 疾患、眼 外傷、前 眼部疾 患Ⅱ(眼 科)	前眼部疾 患Ⅰ (眼科)	前眼部疾 患Ⅲ (眼科)	2/16	出血性疾 患(小 児)	血球と血 漿蛋白 (呼内)	血小板と 凝固因子 (呼内)	脈絡膜、 ぶどう膜 炎(眼科)	緑内障 (眼科)	斜視弱視、 屈折矯正、 ロービジョ ンケア (眼科)	2/17	血液製剤 の適応 (自己血 を含む) (輸血)	血液疾患 の皮膚病 変(皮膚)	リンパ球 腫瘍の血 液病理学 (病診)	深部脳刺 激療法 (脳外)	良性脳腫 瘍 (脳外)	悪性脳腫 瘍 (脳外)	2/18	造血幹細 胞移植の 臨床 (呼内)	移植免疫 Ⅰ(免疫)	移植免疫 Ⅱ(免疫)	悪性リン パ腫 (腫内)	貧血 (呼内)	出血性疾 患 (呼内)
11	2/21	てんかんの 外科 (脳外)	脊髄小脳 変性症 (脳内)	頭部外傷 (脳外)	小児の白 血病 (小児)	小児の固 形腫瘍 (小児)	小児の赤 血球疾患 (小児)	2/22	【自己学 習時間】	神経眼科 (眼科)	水晶体、 白内障 (眼科)	解剖、発 生、全身 疾患と眼 (眼科)	網膜疾患 Ⅰ (眼科)	網膜疾患 Ⅱ (眼科)	2/23	天皇誕生日						2/24	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	前期入学試験準備			2/25	前期入学試験					
12	2/28	脳血管障 害の外科 (脳外)	その他の 腫瘍 (脳外)	小児脳神 経外科 (脳外)	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	3/1	膝関節・ スポーツ 傷害疾患 (整形)	整形外科 概論 (整形)	整形外科 診断学 (整形)	骨軟部腫 瘍 (整形)	足関節疾 患 (整形)	小児整形 (整形)	3/2	てんかん (精神)	せん妄・睡 眠関連疾 患、コン サル、薬 物、ガ ンパル (精神)	嗜癖性障害 (アルコール 、薬物、 ギャンブル (精神)	器質性・ 症状性精 神障害 (精神)	脳と精神 症状 (精神)	強迫性障 害 (精神)	3/3	整形外科領 域における 各種移植術 の基礎と臨 床 (整外)	整形外科領 域における 再生医療の 基礎と臨床 (整外)	角膜移 植、人工 角膜など (眼科)	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	3/4	肝移植、小 腸移植、脾 臓移植、概 念、適応と 術式 (消外)	皮膚移植 ：概念、 適応と術 式 (皮膚)	皮膚及び外 表異常にお ける形成再 建外科：概 論 (皮膚)	三叉神経 痛、CCF (脳外)	水頭症 (脳外)	脳腫瘍の 病理 (病診)
13	3/7	リハビリ テーション 医学と運動 器・骨系統 疾患 (整形)	上肢1 (整形)	上肢2 (整形)	耳鼻咽喉 科総論と めまい救 急トリア ージ (耳鼻)	耳鼻咽喉 科から見 ためまい の検査と 治療 (耳鼻)	耳鼻咽喉 科と音声 言語医学 (耳鼻)	3/8	口腔疾患 における 移植・再 生(Ⅰ) (口外)	口腔疾患 における 移植・再 生(Ⅱ) (口外)	心移植： 概念、適 応と術式 (胸外)	骨髄炎、 骨端症 (整形)	抹消神経 (整形)	人工関節 の現況 (整形)	3/9	自殺・産 業保健・ 精神保健 福祉法 (精神)	精神科リ ハビリテ ーション、 災害精神 医学 (精神)	心理検 査・精神 療法 (精神)	パーソナ リティ障 害・性別 違和感 (看護学 科人間発 達学)	不安障 害・解離 性障害・ PTSD (精神)	摂食障害 (精神)	3/10	皮膚の構 造と発疹 の見方 (皮膚)	紫外線と 皮膚 (皮膚)	皮膚科診 断学 (皮膚)	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	3/11	関節リウ マチとそ の他の膠 原病 (総診)	関節リウ マチと膠 原病の治 療 (総診)	【自己学 習時間】	後期入学試験準備		
14	3/14	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	めまい疾 患につい て (耳鼻)	平衡生理 と検査法 (耳鼻)	【自己学 習時間】	3/15	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	3/16	児童の正 常発達と 児童虐待 (精神)	児童・思 春期精神 医学 (精神)	発達障害 (精神)	精神科薬 物療法・ 薬物動態 学 (精神)	精神疾患 の遺伝学 (精神)	精神疾患 の神経科 学 (精神)	3/17	自己免疫 性水疱症 (皮膚)	蕁麻疹、 内臓疾患 と皮膚病 変 (皮膚)	美容皮膚 科・美容 外科 (皮膚)	腎臓移 植：概 念、適 応と術 式 (透析)	臓器移植 と社会シ ステム (透析)	E S細胞 と組織幹 細胞の生 物学 (発生)	3/18	若年性特 発性関節 炎 (小児)	耳鼻咽喉 科のアレ ルギー疾 患 (耳鼻)	膠原病の 肺病変 (呼内)	動脈瘤と くも膜下 出血 (脳外)	血管内治 療 (脳外)	脳出血 (脳外)
15	3/21	春分の日						3/22	股関節疾 患 (整形)	脊椎・脊 髓疾患 (1) (整形)	脊椎・脊 髓疾患 (2) (整形)	甲状腺疾 患 (耳鼻)	鼻・副鼻 腔疾患 (耳鼻)	頭頸部の 画像診断 (放射)	3/23	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	角化症、 炎症性角 化症 (皮膚)	非上皮系 腫瘍 (皮膚)	湿疹群 (皮膚)	上皮系腫 瘍 (皮膚)	3/24	【自己学 習時間】	漢方医学 基礎1 (漢方医 薬学セ ン)	漢方医学 基礎2 (漢方医 薬学セ ン)	漢方医学 応用1 (耳鼻)	漢方医学 応用2 (耳鼻)	【自己学 習時間】	3/25	薬疹 (皮膚)	膠原病の 皮膚病変 (皮膚)	膠原病と 神経症状 (脳内)	その他の 血管障害 (脳外)	脊椎疾患 (脳外)	最新脳神 経外科 (脳外)
-	春季休暇（3月26日～4月3日）																																		
16	4/4	肺移植： 概念、適 応と術式 (胸外)	小児の造 血幹細胞 移植 (小児)	【自己学 習時間】	関節リウ マチ (整形)	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	4/5	聴覚生理 と検査法 (耳鼻)	難聴疾患 とその治 療 (耳鼻)	口腔・咽 頭・唾液 腺疾患、 顔面神経 麻痺 (耳鼻)	喉頭疾患 と音声障 害 (耳鼻)	頭頸部腫 瘍1 (耳鼻)	頭頸部腫 瘍2 (耳鼻)	4/6	神経筋疾 患のリハ ビリ (脳内)	神経筋接 合部疾患 (脳内)	認知症疾 患 (脳内)	輸血概 論、輸血 副作用な ど (輸血)	骨髄異形 成症候群 (呼内)	急性骨髄 性白血病 (呼内)	4/7	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	頭痛、神 経系感染 症 (脳内)	脳幹障害 と脳神経 障害 (脳内)	脱髄疾患 (脳内)	4/8	関節リウ マチの整 形外科的 診断と治 療 (整形)	膠原病の 腎病変 (腎内)	【自己学 習時間】	漢方医学 発展1 (泌尿器)	漢方医学 発展2 (産婦)	漢方医学 発展3 (麻酔)
17	4/11	行動科学 Ⅱ1	行動科学 Ⅱ1	行動科学 Ⅱ1	行動科学 Ⅱ2	行動科学 Ⅱ2	行動科学 Ⅱ2	4/12	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	【自己学 習時間】	不随意運 動 (脳内)	末梢神経 障害 (脳内)	【自己学 習時間】	4/13	造血幹細 胞移植の 基礎 (輸血)	血栓性疾 患 (TTP+HIT ) (輸血)	急性リン パ性白血 病 (呼内)	行動科学 Ⅱ3 (精神)	行動科学 Ⅱ3 (精神)	行動科学 Ⅱ3 (精神)	4/14	運動 ニューロ ン病 (脳内)	大脳と高 次機能 (脳内)	【自己学 習時間】	CLL類 縁疾 患と ATL (呼内)	骨髄増殖 性腫瘍 (呼内)	血液疾患 の症候と 検査 (呼内)	4/15	【試験前自己学習時間】					
18	4/18	【試験前自己学習時間】						4/19	【試験前自己学習時間】						4/20	【試験前自己学習時間】						4/21	【試験前自己学習時間】						4/22	膠原病・ アレルギー 疾患 試験	神経疾患 試験				
19	4/25	東洋医学 試験			耳鼻咽喉 疾患試験			4/26	運動器疾 患試験		眼疾患試 験				4/27	精神・行 動疾患試 験		血液疾患 試験				4/28	移植・再 生医学試 験		皮膚疾患 試験				4/29	昭和の日					

- 精神・行動疾患
- 血液疾患
- 神経疾患

- 眼疾患
- 移植・再生医学
- 運動器疾患

- 耳鼻咽喉疾患
- 皮膚疾患
- 膠原病・アレルギー疾患

- 東洋医学
- 行動科学Ⅱ

自己学習時間： 休講の補講や事前学習等に充てられる時間帯であり、休講日ではない

1時限目	9:00 ~ 10:00
2時限目	10:10 ~ 11:10
3時限目	11:20 ~ 12:20
4時限目	13:10 ~ 14:10
5時限目	14:20 ~ 15:20
6時限目	15:30 ~ 16:30

### 第3ブロックの時間割（個別）

週	月						火						水						木						金												
	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6		
20	5/2	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	5/3	憲法記念日						5/4	みどりの日						5/5	こどもの日						5/6	性周期と女性生殖内分泌・排卵(産婦)	妊娠の成立と維持・妊娠時の母体の変化(産婦)	胎児胎盤ユニット・分娩の三要素(産婦)	正常分娩の機序(産婦)	妊娠初期の異常(産婦)	胎児機能不全、胎児発育遅延、胎児胎盤機能診断法(産婦)		
21	5/9	悪性腫瘍の診断/治療(放腫)	癌の外科治療の原則(消外)	薬物療法原則/適用(腫内)	健康診断			5/10	小児科学入門(小児)	小児の神経疾患(小児)	発達の遅れと発作症状(小児)	法医学総論(法医)	早期死体現象(法医)	後期死体現象(法医)	5/11	救急医学総論(救急)	外傷学総論(救急)	胸部外傷(救急)	公衆衛生概論(公衆衛生)	社会と衛生行政(公衆衛生)	医療・衛生行政(公衆衛生)	感染症対策、人口動態統計(公衆衛生)	5/12	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	化学療法、免疫療法の現状(呼内)	分子標的治療/ゲノム(腫内)	放射線治療の原則、放射線の影響(放腫)	5/13	感染症概論(感染症セン)	微生物概論と感染検査(微生物感染症)	抗菌化学療法総論(薬理)	シミュレーション講義(公衆衛生)	保健医療制度(公衆衛生)	医療保険制度(公衆衛生)	
22	5/16	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	抗腫瘍薬の分類/概要(薬理)	免疫学的腫瘍制御理論と免疫療法(免疫)	がんの危険因子と予防(疫予)	5/17	特別講演/心雑音・不整脈(小児)	小児の発熱と発疹(小児)	小児の黄疸(小児)	窒息(総論)(法医)	窒息(絞頸、扼頸)(法医)	窒息(溺死、その他)(法医)	5/18	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	癌の増殖と転移機序(内視鏡)	臨床病理学(病診)	微小環境における腫瘍/宿主(分病)	5/19	前置胎盤、常位胎盤早期剥離(産婦)	分娩時期の異常、胎盤早期剥離、羊水量の異常(産婦)	多胎妊娠、ハイリスク妊娠、妊婦高血圧症候群(産婦)	胎位・胎勢の異常、娩出力の異常、速達分娩、分娩停止(産婦)	産科出血、産道損傷、産科手術学(産婦)	周産期医療の実際(産婦)	5/20	職業感染ウイルス感染症(健康管理セン)	小児感染症(小児)	【自己学習時間】	内分泌学総論(腫内)	糖尿病の概念と病型分類、診断(医師患者)	糖尿病の治療(腫内)		
23	5/23	小児の咳、喘鳴、呼吸困難(小児)	小児の嘔吐・下痢・腹痛(小児)	小児の免疫機構(小児)	症候・緊急度判定(救急)	心肺停止(救急)	脊椎外傷(救急)	5/24	新生児学総論(新生児)	正常産褥、産褥期の異常(産婦)	胎児超音波診断、妊娠と薬(産婦)	産科感染症、母体保護法(産婦)	新生児仮死と成熟児の呼吸障害(新生児)	感染症、血液疾患(新生児)	5/25	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	視床下部下垂体(腫内)	下垂体前葉疾患(腫内)	脂質異常症の診断と治療(循内)	5/26	医師患者関係学 I 1						5/27	奈良県の衛生行政(公衆衛生)	実習オリエンテーション(公衆衛生)	癌の緩和ケア(緩和ケア)	サイコロジ(精神)	癌治療におけるIVR(放腫)			
24	5/30	小児の栄養と発育(小児)	小児の内分泌疾患(小児)	小児のアレルギー(小児)	総合診療総論(総診)	医療面接(総診)	身体診察(総診)	5/31	低出生体重児の特徴(新生児)	【自己学習時間】	【自己学習時間】	女性生殖器の解剖、機能、生殖系の先天異常(産婦)	性器脱、更年期障害、骨粗鬆症(産婦)	不妊症、不育症(産婦)	6/1	薬剤耐性菌総論(微生物感染症セン)	呼吸器感染症(感染症セン)	菌血症、敗血症(感染症セン)	糖尿病性腎症(腎内)	糖尿病と低血糖(小児)	下垂体後葉疾患、SIADH(腫内)	6/2	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	放射線治療の放射線物理学(放腫)	腫瘍学各論：肺/縦隔(放腫)	腫瘍学各論：婦人科/泌尿器(放腫)	6/3	腫瘍学各論：頭頸部/消化器(放腫)	腫瘍学各論：乳癌/皮膚(放腫)	医療経営(公衆衛生)	医の倫理・倫理審査委員会(公衆衛生)	医師と患者関係(公衆衛生)			
25	6/6	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	地域包括ケア・地域医療構想(公衆衛生)	【自己学習時間】	【自己学習時間】	6/7	中枢神経系救急(救急)	急性中毒および環境障害(救急)	外傷・救急医学【予備日】	病院総合診療(総診)	患者志向の総合診療(総診)	Rural Generalist(総診)	6/8	消化器・腹腔内感染症(病原体)	ワクチン(感染症セン)	新興再興感染症(感染症セン)	副腎1(腫内)	副腎2(腫内)	重金属代謝異常(消内)	6/9	医師患者関係学 I 2						6/10	卵巣機能障害と月経異常(産婦)	婦人科感染症、産科手術学(産婦)	子宮筋腫・子宮頸癌(産婦)	子宮頸部上皮異形成と子宮頸癌(産婦)	子宮内臓増殖症と子宮体癌(産婦)	産婦人科領域の画像診断MRIを中心に(放腫)		
26	6/13	卵巣腫瘍(産婦)	子宮内膜症(産婦)	産婦人科領域の病理学(病診)	家庭医療、患者中心の医療(総診)	地域医療(総診)	【自己学習時間】	6/14	感染管理(感染症セン)	皮膚軟部組織・骨関節感染症(感染症セン)	中枢神経系感染症・頭頸部感染症(感染症セン)	脂質異常症と動脈硬化(循内)	肥満とメタボリックシンドローム(腫内)	乳癌・内分泌疾患の病理(病診)	6/15	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	腫瘍学各論：骨軟部/緩和(放腫)	腫瘍マーカー(中検)	産業保健(公衆衛生)	産業医(公衆衛生)	精神保健福祉・麻薬・向精神薬(公衆衛生)	6/16	四肢外傷(整形)	循環器不全の病態と治療(胸外)	頭部外傷(脳外)	癌検診の意義(総画像診断)	反転授業1：局所進行期腫瘍(放腫)	反転授業2：進行期腫瘍(腫内)	6/17	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	成長ホルモン分泌不全性低身長症(小児)	Ca代謝異常、副甲状腺疾患、骨粗鬆症(腫内)	男性性腺機能低下症(腫内)
27	6/20	損傷(鈍器)(法医)	損傷(鋭器)(法医)	損傷(銃器)(法医)	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	6/21	HIV感染症/AIDS(感染症セン)	寄生虫感染症(病原体)	性器・尿路感染症(泌尿器)	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	6/22	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	乳幼児突然死症候群(法医)	頭部損傷(法医)	中毒(法医)	高齢者虐待(法医)	6/23	医師患者関係学 I 3						6/24	呼吸不全の急性期管理(集中治療)	腎不全の急性期管理(集中治療)	急性性腹症(救急)	NET、MEN、APS(腫内)	糖尿病と妊娠(産婦)	未知の病態に遭遇した時の考え方(腫内)	
28	6/27	焼死(法医)	凍死・感電死(法医)	内因性急死(法医)	食品保健・国民栄養(公衆衛生)	小児保健(母子保健)(公衆衛生)	6/28	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	6/29	口腔粘膜疾患(口腔)	口腔潜在的な悪性疾患と悪性腫瘍(口腔)	歯牙外傷を含む顎顔面外傷(口腔)	顎関節疾患(口腔)	唾液腺疾患(口腔)	【自己学習時間】	6/30	全身麻酔薬・麻酔鎮痛薬(薬理)	全身麻酔薬・麻酔鎮痛薬(薬理)	局所麻酔薬・筋弛緩薬(薬理)	麻酔について(麻酔)	伝達麻酔(麻酔)	気道管理(麻酔)	7/1	交通外傷(法医)	医事法学(法医)	物体検査(法医)	臨床推論(1)(総診)	臨床推論(2)・まとめ(総診)	【自己学習時間】		
29	7/4	術前患者管理(麻酔)	痛みとベタリック(麻酔)	術中モニタリング(麻酔)	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	7/5	糖尿病性神経症(脳内)	糖尿病性網膜症(眼科)	【自己学習時間】	生術期合併症(麻酔)	小児麻酔・産科麻酔(麻酔)	緩和医療(緩和ケア)	7/6	顎発育と異常(口腔)	口腔顎顔面再建I(口腔)	口腔顎顔面再建II(口腔)	腹部外傷(救急)	広範囲熱傷(救急)	集中治療医学総論(救急)	7/7	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	摂食と嚥下機能(口腔)	口腔疾患の病理(腫瘍・非腫瘍)(分病)	唾液腺疾患の病理(分病)	7/8	心臓血管麻酔(麻酔)	集中治療と急変対応(麻酔)	血管確保と安全管理(麻酔)	在宅医療と看取り(総診)	在宅医療と他職種連携(総診)	在宅医療と地域医療(総診)		
30	7/11	骨盤骨折(救急)	外傷・救急医学【予備日】	外傷・救急医学【予備日】	術後疼痛管理(麻酔)	心肺蘇生法(麻酔)	【自己学習時間】	7/12	保健・医療・福祉の資源(公衆衛生)	CBT対策講義(医療従事者の義務)(公衆衛生)	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	7/13	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	7/14	死体検案書の書き方(法医)	死体検案書の書き方(法医)	死体検案書の書き方(法医)	顎口腔領域の先天異常(口腔)	歯原性腫瘍、歯原性嚢胞(口腔)	口腔疾患まとめ反転講義(口腔)	7/15	【試験前自己学習時間】								
31	7/18	海の日						7/19	【試験前自己学習時間】						7/20	【試験前自己学習時間】						7/21	【試験前自己学習時間】						7/22	周産期医学試験	内分泌代謝栄養疾患試験						
32	7/25	臨床腫瘍学・放射線治療学試験		総合診療・在宅医療学試験				7/26	小児疾患試験		感染症試験				7/27	口腔疾患試験		外傷・救急医学試験				7/28	法医学試験		婦人疾患試験				7/29	衛生学・公衆衛生学II試験		麻酔・疼痛管理試験					

- 周産期医学  
 臨床腫瘍学・放射線治療学  
 衛生学・公衆衛生学II  
 小児疾患
- 法医学  
 外傷・救急医学  
 感染症  
 内分泌代謝栄養疾患
- 総合診療  
 婦人疾患  
 在宅医療学  
 口腔疾患
- 麻酔・疼痛管理  
 医師・患者関係学I

自己学習時間： 休講の補講や事前学習等に充てられる時間帯であり、休講日ではない

1時限目	9:00 ~ 10:00
2時限目	10:10 ~ 11:10
3時限目	11:20 ~ 12:20
4時限目	13:10 ~ 14:10
5時限目	14:20 ~ 15:20
6時限目	15:30 ~ 16:30

## 第4ブロックの時間割（大枠）

週	月						火						水						木						金									
	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5
33													9/1 CBT						9/2 CBT															
34	社会フィールド系実習（衛生学・公衆衛生学Ⅱ）（9月5日～9月9日）																																	
35	9/12 臨床手技実習1						9/13 臨床手技実習2						9/14 臨床手技実習3						9/15 臨床手技実習4						9/16 【自己学習時間】									
36	9/19 敬老の日						9/20 臨床手技実習5						9/21 臨床手技実習6						9/22 臨床手技実習7						9/23 秋分の日									
37	9/26 臨床手技実習8						9/27 臨床手技実習9						9/28 臨床手技実習10						9/29 臨床手技実習11						9/30 【自己学習時間】						Pre-CC OSCE 10/1・10/2			
38	10/3 実践的医療倫理Ⅰ					【自己学習時間】	10/4 実践的医療倫理Ⅱ					【自己学習時間】	10/5 社会フィールド系実習 報告会 （衛生学・公衆衛生学Ⅱ）						10/6 【自己学習時間】						10/7 【自己学習時間】									
39	10/10 スポーツの日						10/11 【自己学習時間】						10/12 【自己学習時間】						10/13 CBT再試						10/14 大学祭									
40	社会フィールド系実習（法医学）（10月17日～10月21日）																																	
41	10/24 病理学実習1			病理学実習2			10/25 病理学実習3			病理学実習4			10/26 病理学実習5			病理学実習6			10/27 病理学実習7			病理学実習8			10/28 【自己学習時間】						Pre-CC OSCE 予備日 10/29・10/30			
42	10/31 【自己学習時間】						11/1 【自己学習時間】						11/2 【自己学習時間】						11/3 文化の日						11/4 【自己学習時間】									
43	11/7 【自己学習時間】						11/8 【自己学習時間】						11/9 【自己学習時間】						11/10 【自己学習時間】						11/11 【自己学習時間】									
44	進級判定期間（11月14日～11月25日）																																	
45													11/23 勤労感謝の日																					
-	11/28 臨床実習前説明会（予定）						11/29 白衣授与式（予定）						11/30 BSLオリエンテーション（予定）						12/1 BSLオリエンテーション（予定）						12/2 BSLオリエンテーション（予定）									

- 実践的医療倫理Ⅰ
- 臨床手技実習
- 病理学実習
- 社会フィールド系実習（法医学）
- 社会フィールド系実習（衛生学・公衆衛生学Ⅱ）

自己学習時間： 休講の補講や事前学習等に充てられる時間帯であり、休講日ではない「社会フィールド系実習（法医学）」及び「病理学実習」は、組織実習室で実施します

1時限目	9:00 ~ 10:00
2時限目	10:10 ~ 11:10
3時限目	11:20 ~ 12:20
4時限目	13:10 ~ 14:10
5時限目	14:20 ~ 15:20
6時限目	15:30 ~ 16:30



令和4年度 統合臨床講義 試験日程

ブロック	科目名	担当講座(部門)	本試験日程		再試験日程
			日	時限	17:00~18:00
第1ブロック	肝・胆・膵疾患	消化器内科学	2月4日(金)	2	3月9日(水)
	消化器疾患	消化器・総合外科学	2月4日(金)	4	3月10日(木)
	循環器疾患	循環器内科学	2月7日(月)	2	3月14日(月)
	呼吸器疾患	呼吸器内科学	2月7日(月)	4	3月16日(水)
	腎疾患・尿路系疾患	泌尿器科学	2月8日(火)	2	3月17日(木)
	画像診断・IVR	放射線診断・IVR学	2月8日(火)	4	3月18日(金)
第2ブロック	膠原病・アレルギー疾患	腎臓内科学	4月22日(金)	2	6月6日(月)
	神経疾患	脳神経内科学/脳神経外科学	4月22日(金)	4	6月7日(火)
	東洋医学	教育開発センター	4月25日(月)	2	6月8日(水)
	耳鼻咽喉疾患	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	4月25日(月)	4	6月9日(木)
	運動器疾患	整形外科	4月26日(火)	2	6月10日(金)
	眼疾患	眼科学	4月26日(火)	4	6月13日(月)
	精神・行動疾患	精神医学	4月27日(水)	2	6月14日(火)
	血液疾患	呼吸器内科学	4月27日(水)	4	6月15日(水)
	移植・再生医学	胸部・心臓血管外科学	4月28日(木)	2	6月16日(木)
	皮膚疾患	皮膚科学	4月28日(木)	4	6月17日(金)
第3ブロック	周産期医学	産婦人科学	7月22日(金)	2	9月12日(月)
	内分泌代謝栄養疾患	糖尿病・内分泌内科学	7月22日(金)	4	9月13日(火)
	麻酔・疼痛管理	麻酔科学	7月25日(月)	2	9月14日(水)
	総合診療・在宅医療学	総合医療学	7月25日(月)	4	9月15日(木)
	小児疾患	小児科学	7月26日(火)	2	9月16日(金)
	感染症	感染症センター	7月26日(火)	4	9月20日(火)
	口腔疾患	口腔外科学	7月27日(水)	2	9月21日(水)
	外傷・救急医学	救急医学	7月27日(水)	4	9月22日(木)
	法医学	法医学	7月28日(木)	2	9月26日(月)
	婦人疾患	産婦人科学	7月28日(木)	4	9月27日(火)
衛生学・公衆衛生学Ⅱ	公衆衛生学	7月29日(金)	2	9月28日(水)	
臨床腫瘍学・放射線治療学	放射線腫瘍医学	7月29日(金)	4	9月29日(木)	

※再試験の日程について

週ごとに対面と遠隔を組み合わせて授業を実施する場合、遠隔週にあたる再試験日程については、対面週に変更となる可能性があります。

令和4年度 統合臨床講義 反転授業 一覧

日時	科目名	講義タイトル	担当教員
12月15日 4-5時限目	循環器疾患	先天性心疾患（1）・（2）	上村 秀樹
1月12日 5時限目	画像診断・IVR	脳神経画像診断	宮坂 俊輝
1月18日 6時限目	画像診断・IVR	IVR各論	西尾福 英之
1月24日 3時限目	循環器疾患	弁膜症・心臓腫瘍の外科的治療	早田 義宏
1月25日 1時限目	腎疾患・尿路系疾患	前立腺肥大症・下部尿路症	鳥本 一匡
1月25日 2時限目	腎疾患・尿路系疾患	女性泌尿器科	鳥本 一匡
1月26日 3時限目	呼吸器疾患	呼吸器疾患のまとめ	室 繁郎
1月26日 5時限目	循環器疾患	大動脈・末梢血管疾患の外科的治療	廣瀬 友亮
1月26日 6時限目	循環器疾患	腫瘍循環器学	中川 仁
2月9日 3時限目	精神・行動疾患	統合失調症	鳥塚 通弘
2月22日 3時限目	眼疾患	水晶体、白内障	西 智
3月1日 5時限目	運動器疾患	足関節疾患	谷口 晃
3月23日 3時限目	皮膚疾患	角化症、炎症性角化症	新熊 悟
4月8日 2時限目	膠原病・アレルギー疾患	膠原病の腎病変	鮫島 謙一
4月14日 2時限目	神経疾患	大脳と高次機能	七浦 仁紀
5月11日 4時限目	衛生学・公衆衛生学Ⅱ	シミュレーション講義	今村 知明
5月19日 5時限目	周産期医学	産科出血、産道損傷、産科手術学	川口 龍二
5月30日 2時限目	小児疾患	小児の内分泌疾患	長谷川 真理
6月1日 3時限目	感染症	菌血症・敗血症	福盛 達也
6月16日 5時限目	臨床腫瘍学・放射線治療学	局所進行期悪性腫瘍症例の鑑別診断、病期診断、治療、有害事象についてのまとめと発表	浅川 勇雄
6月16日 6時限目	臨床腫瘍学・放射線治療学	進行期悪性腫瘍症例の鑑別診断、病期診断、治療、有害事象についてのまとめと発表	武田 真幸
7月1日 4時限目	総合診療	臨床推論1	吉本 清巳
7月1日 5時限目	総合診療	臨床推論2	西尾 健治
7月8日 4-6時限目	在宅医療学	在宅医療と多職種連携、在宅医療と看取り、在宅医療と地域医療	吉本 清巳 (外部講師 朝倉健太郎、次橋幸男、明石陽介)
7月14日 1-3時限目	法医学	死体検案書の書き方	粕田 承吾
7月14日 6時限目	口腔疾患	口腔疾患まとめ反転講義	桐田 忠昭
10月24日 2-3時限目	病理学実習	肺・縦隔・胸膜	大林 千穂

# 授業科目紹介

(統合臨床講義)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：循環器内科学 関連担当講座：胸部・心臓血管外科学、先天性心疾患センター、放射線診断・IVR学、薬理学、病理診断学
概要	1) 循環器疾患の病態を理解するために、必要な検査(身体所見、心電図、心エコー図)を理解すると共に、心臓・血管の発生解剖、病理、生理を理解する。 2) 各循環器疾患の成因の理解と、診断法、治療法(内科的、外科的)を理解し、ベッドサイド学習における必要な医療能力を修得する。 3) 循環器疾患治療薬の原理、作用を理解する。
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>心不全治療薬の原理と作用が説明できる。</li> <li>降圧薬の原理と作用が説明できる。</li> <li>虚血性心疾患治療薬の原理と作用が説明できる。</li> <li>抗凝固薬・血栓溶解薬の原理と作用が説明できる。</li> <li>脂質異常症の原理と作用が説明できる。</li> <li>心臓聴診の基本的な事項を説明できる。</li> <li>心エコー図法の基本的な原理を説明できる。</li> <li>正常例での心エコー図を理解し、主な心疾患でのエコー図所見を述べる事ができる。</li> <li>ブラ法を用いた心機能評価法を説明できる。</li> <li>心電図の基本的な原理を理解し、系統的に所見を述べる事ができる。</li> <li>頻脈性不整脈について、その分類・機序・心電図所見と鑑別診断・臨床所見・薬物療法・非薬物療法(カテーテルアブレーション、植込み型除細動器)の適応、治療の原理につき説明できる。</li> <li>徐脈性不整脈について、その分類・病因・心電図所見・診療所見・ペースメーカー治療の適応やペースメーカーの作動のしくみにつき説明できる。</li> <li>心電図の基本的な読み方を理解し、代表的な異常波形の特徴を説明できる。</li> <li>本態性高血圧の診断、治療について説明できる。</li> <li>14-1. 高血圧の疫学、臓器合併症、予後について説明できる。</li> <li>14-2. 高齢者の高血圧の特徴と治療の注意点を説明できる。</li> <li>15. 二次性高血圧の原因を列挙し、診断と治療について概説できる。</li> <li>16. 心筋細胞収縮の分子機序を理解し、心不全発症の機序を理解する。</li> <li>17-1. 心不全の定義、疫学、病態生理(収縮不全、拡張不全)、代償機序、を説明できる。</li> <li>17-2. 心不全の身体的症候と兆候を説明できる。</li> <li>17-3. 心不全の分類(急性心不全、慢性心不全、左心不全、右不全、等)の病態を説明することができる。</li> <li>17-4. 心不全の内科的治療法の機序と適応を説明できる。</li> <li>17-5. 心不全のリハビリテーション、多職種チーム医療を概説できる。</li> <li>17-6. 高齢者心不全の特徴を説明できる。</li> <li>18. 心不全時の代償機序を説明できる(心臓内機序と心臓外機序)。</li> <li>19. 心不全の内科的治療法の機序と適応を説明できる。</li> <li>20. 重症心不全に対する外科的治療の種類と手技について説明できる。</li> <li>21. 重症心不全に対する外科的治療の適応とその限界について説明できる。</li> <li>22. 重症心不全に対する外科的治療の問題点について説明できる。</li> <li>23. 心筋症の分類を説明できる。</li> <li>24. 心筋症の原因となる遺伝子異常を理解する。</li> <li>25. 心筋症の症状・予後を理解する。</li> <li>26. 心筋症の診断法・鑑別診断を説明できる。</li> <li>27. 全身疾患に関連する二次性心筋症を理解する。</li> <li>28. 急性冠症候群についてその発症機序と病態を理解し、診断および治療について説明できる。</li> <li>29. 循環器画像診断法(CT, MRI, 核医学検査)のそれぞれの適応症例と禁忌症例を説明することができる。</li> <li>30. 心筋梗塞の病態、診断、治療法について説明できる。</li> <li>31. 急性冠症候群の病態と発症機序を理解し、安定狭心症との違いを説明できる。</li> <li>32. 急性心筋梗塞の病態、診断、治療法について説明できる。</li> <li>33. 急性心筋梗塞の機械的合併症を知り、その診断と治療について説明できる。</li> <li>34. 安定狭心症と不安定狭心症の違いを理解し、説明できる。</li> <li>35. 冠れん縮性狭心症についてその病態を理解し、説明できる。</li> <li>36. 狭心症の病態を理解し、診断に必要な検査について説明できる。</li> <li>37. 冠動脈疾患のインターベンション治療の適応と手技について説明できる。</li> <li>38. 虚血性心疾患に対するカテーテル検査と治療について、その方法を理解する。</li> <li>39. 虚血性心疾患のカテーテル治療(インターベンション治療)の適応と手技について説明できる。</li> <li>40. 虚血性心疾患に対するステント留置術時の薬物治療について理解し、説明できる。</li> <li>41. 虚血性心疾患の外科的治療の適応を知る。</li> <li>42. 急性心筋梗塞に伴う機械的合併症の病態を知る。</li> <li>43. 冠状動脈バイパス術の進歩について理解する。</li> <li>44. 炎症性心疾患(心内膜炎、心筋炎、心外膜炎)の原因と病理・病態について理解する。</li> <li>45. 主な弁膜症の原因、病態および診断を説明し、手術適応と治療法について概説できる。</li> <li>46. 心膜疾患の原因、病態および診断を説明し、治療法について概説できる。</li> <li>47. 弁膜症の外科治療の適応を知る。</li> <li>48. 弁膜症に対する弁修復術の意義について理解する。</li> <li>49. 大動脈弁狭窄症の症状と重症度評価法について理解する。</li> </ol>

	<p>50. 急性大動脈弁閉鎖不全症と慢性大動脈弁閉鎖不全症の原因、病態の違いについて説明できる。</p> <p>51. 僧帽弁狭窄症の診断と治療について説明できる。</p> <p>52. 一次性（器質性）、二次性（機能性）僧帽弁閉鎖不全症についてその違いを理解する。</p> <p>53. 弁置換術に用いられる置換弁の種類と問題点について説明できる。</p> <p>54. 正常心臓構造を理解し、先天性心疾患を形態的・血行動態的に把握する。</p> <p>55. 先天性心疾患の病態生理と診断を述べることができる。</p> <p>56. いろいろな先天性心疾患の病態（チアノーゼ性か非チアノーゼ性か、肺血流増加型か減少型か）を知る。</p> <p>57. 先天性心疾患の外科治療における姑息的手術とその意義を知る。</p> <p>58. 緊急に外科治療を必要とする先天性心疾患につき理解を深める。</p> <p>59. 大動脈疾患の種類と外科治療の適応につき説明できる。</p> <p>60. 緊急手術を必要とする大動脈疾患について理解する。</p> <p>61. 大動脈疾患の外科治療において問題となる合併症を考察できる。</p> <p>62. 閉塞性動脈疾患の画像診断について理解する。</p> <p>63. 大動脈瘤の画像診断について理解する。</p> <p>64. 急性大動脈解離の病態、診断、治療について理解する。</p> <p>65. 閉塞性動脈硬化症の病態、外科治療について理解する。</p> <p>66. 閉塞性動脈疾患に対するインターベンションの適応と手技、合併症を説明できる。</p> <p>67. 大動脈瘤・解離に対するインターベンションの適応と手技、合併症を説明できる。</p> <p>68. 静脈血栓症に対するインターベンションの適応と手技、合併症を説明できる。</p>
評価方法	<p>定期試験（100%）</p> <p>本試験予定：2022年2月7日（月）2時限目</p> <p>再試験予定：2022年3月14日（月）17:00～18:00</p>
教科書・参考書	<p>循環器内科学：内科学 杉本恒明 小俣政男総編集（朝倉書店）</p> <p>参考書：循環器内科学：Heart disease Braunwald (A Textbook of Cardiovascular Medicine W.B.Saunders Co.)</p> <p>The Heart Hurst (Mc Graw-Hill Co)</p> <p>胸部・心臓血管外科学：Cardiac Surgery kirklin/Barratt-Boyes</p> <p>先天性心疾患：臨床発達心臓病学 高尾篤良、他、編（中外医学社）</p> <p>薬理学：Goodman &amp; Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics, 13th Edition. (McGraw-Hill)</p> <p>カッティング・薬理学（原書8版）（丸善）</p> <p>New薬理学（南江堂）</p> <p>カラー 新しい薬理学（西村書店）</p> <p>病理診断学：Robbins Basic Pathology, 10th Edition (Elsevier)</p> <p>ルービン病理学 臨床医学への基盤（鈴木利光、他 監訳）（西村書店）</p>
授業計画	<p>2021年12月3日（金）</p> <p>1時限目 心エコー図（循環器内科学：妹尾絢子先生） 【D-5-2）-②】</p> <p>2時限目 心電図1（循環器内科学：中田康紀先生） 【D-5-1）-③, D-5-2）-①, D-5-2）-③】</p> <p>3時限目 心不全（循環器内科学：斎藤能彦先生） 【D-5-4）-（1）-①, D-5-1）-①②③④⑤, D-5-3）-②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿, D-5-4）-（1）-②, D-5-4）-（1）-③, D-5-4）-（1）-④, D-5-4）-（1）-⑤】</p> <p>2021年12月6日（月）</p> <p>1時限目 狭心症（循環器内科学：橋本行弘先生） 【D-5-4）-（2）】</p> <p>2時限目 高血圧（循環器内科学：中川 仁先生） 【D-5-4）-（9）-①, D-5-4）-（9）-⑥, D-5-4）-（10）-①②】</p> <p>3時限目 二次性高血圧（循環器内科学：中川 仁先生） 【D-5-4）-（9）-②】</p> <p>2021年12月10日（金）</p> <p>1時限目 心不全治療薬（薬理学：吉栖正典先生） 【D-5-1）-④⑬⑭, D-5-3）-②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿, D-5-4）-（1）-②③】</p> <p>2時限目 降圧薬（薬理学：吉栖正典先生） 【D-5-1）-⑬⑭, D-5-4）-（9）-①②③④⑤⑥, D-8-1）-⑦, D-8-4）-（3）-①②】</p> <p>2021年12月15日（水）</p> <p>4時限目 先天性心疾患（1）【反転授業】（先天性心疾患センター：上村秀樹先生） 【D-5-1）-①, D-5-1）-⑤, D-5-2）-⑥, D-5-3）-④, D-5-4）-（6）-①】</p> <p>5時限目 先天性心疾患（2）【反転授業】（先天性心疾患センター：上村秀樹先生） 【D-5-3）-④, D-5-3）-⑤, D-5-4）-（1）-②, D-5-4）-（6）-①】</p> <p>6時限目 弁膜症（循環器内科学：渡邊真言先生） 【D-5-4）-（4）-①, D-5-4）-（5）-④】</p> <p>2022年1月5日（水）</p> <p>1時限目 心筋梗塞（循環器内科学：上田友哉先生） 【D-5-4）-（2）-③④⑥】</p> <p>2時限目 不整脈（1）（循環器内科学：西田 卓先生） 【D-5-1）-③, D-5-3）-⑥⑧⑬⑭, D-5-4）-①⑤⑥】</p>

3時限目	不整脈(2) 【D-5-3)-⑥⑧⑬⑭, D-5-4)-②③④⑤⑥】	(循環器内科学: 西田 卓先生)
2022年 1月 7日(金)		
4時限目	抗不整脈薬・抗凝固薬 【D-5-1)-③, D-5-2)-①, D-5-3)-⑳, D-5-4)-(3)-①②③⑤⑥, D-1)-①)-⑧, D-1-3)-⑤, D-5-4)-(8)-①】	(薬理学: 吉栖正典先生)
5時限目	心筋症 【D-5-1)-②, D-5-2)-②④⑤⑥, D-5-3)-②④⑥⑨⑪⑭, D-5-4)-(5)-①②⑦】	(循環器内科学: 尾上健児先生)
6時限目	全身病と心臓 【D-5-1)-②, D-5-2)-②④⑤⑥, D-5-3)-①②④⑥⑨⑪⑭, D-5-4)-(5)-①②③⑦】	(循環器内科学: 尾上健児先生)
2022年 1月 21日(金)		
4時限目	虚血性心疾患治療薬・抗血小板薬 【D-1)-①)-⑧, D-5-1)-1 ⑥⑧, D-5-2)-③④⑤, D-5-3)-⑤⑪⑫⑳, D-5-4)-(2)-①②③⑤⑥】	(薬理学: 吉栖正典先生)
5時限目	血管疾患の画像診断とIVR(画像下治療) 【D-5-4)-⑦, F-2-5】	(放射線診断・IVR学: 市橋成夫先生)
6時限目	虚血性心疾患の外科的治療 【D-5-1)-①, D-5-2)-⑤, D-5-3)-⑤⑪⑫, D-5-4)-(2)-①②③④⑤⑥, F-1-5)-①, F-1-15)-①, F-1-16)-①, F-2-9)-(1)-⑥】	(胸部・心臓血管外科学: 山下慶悟先生)
2022年 1月 24日(月)		
1時限目	虚血性心疾患の非薬物治療 【D-5-4)-(2)-⑥】	(循環器内科学: 橋本行弘先生)
2時限目	重症心不全の外科的治療 【C-4-4), D-5-4)-(1), D-5-4)-(5)】	(胸部・心臓血管外科学: 武輪能明先生)
3時限目	弁膜症・心臓腫瘍の外科的治療【反転授業】 【D-5-4)-(4)-①, (5)-⑦】	(胸部・心臓血管外科学: 早田義宏先生)
2022年 1月 26日(水)		
4時限目	脂質異常症治療薬 【D-5-1)-⑥⑦, D-5-4)-①②③④, D-12-4)-(6)-①②】	(薬理学: 吉栖正典先生)
5時限目	大動脈・末梢血管疾患の外科的治療【反転授業】 【D-5-4)-(7)-①②③④】	(胸部・心臓血管外科学: 廣瀬友亮先生)
6時限目	腫瘍循環器学【反転授業】 【D-5-4)-(5)-②③】	(循環器内科学: 中川 仁先生)

学生へのメッセージ等

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：泌尿器科学 関連担当講座：腎臓内科学、透析部、小児科学、中央放射線部、病理診断学、薬理学
概要	1) 腎・尿路等の後腹膜腔臓器および男性性器の先天性および後天性疾患の正確な知識を得るために臓器の発生、局所解剖、機能および疾患の病態を理解する。 2) プライマリ・ケアとしての腎臓・泌尿器領域疾患に対する科学的な診断・治療指針をたてるために腎臓内科および泌尿器科領域疾患にみられる身体所見を正確に把握し、系統的な検査法とEBMに基づく治療を理解する。
目標	1) 蛋白尿の原因と病態生理を述べ、腎機能検査法の種類と意義について説明する。 2) 腎臓と酸塩基平衡の関わりについて述べ、アシドーシスとアルカローシスの定義、原因、および病態について説明する。 3) 尿管機能障害を分類し、その病態と診断について述べる。 4) 原発性糸球体疾患を分類し、その病理組織像について識別する。 5) 続発性糸球体疾患を分類し、その病理組織像について識別する。 6) 急速進行性腎炎症候群の病態、診断、および治療法について述べる。 7) 慢性腎臓病（CKD）の病態、診断、および治療法について述べる。 8) 間質性腎炎（薬剤性腎障害を含む）の原因を列挙し、診断と治療について述べる。 9) 成人におけるネフローゼ症候群の定義、原因、診断、および治療について述べる。 10) 腎疾患における高血圧の病態を説明し、治療法を具体的に述べる。 11) 小児の腎疾患、とくに急性糸球体腎炎と小児ネフローゼ症候群（先天性を含む）の定義、原因、診断、および治療について述べる。 12) 溶血性尿毒症症候群の原因と病態・治療について述べる。 13) 急性腎不全の定義、分類、および病態生理を説明する。 14) 慢性腎不全の定義、分類、および病態生理を説明し、血液透析や腹膜透析の原理と適応を説明する。 15) 尿路、性器、副性器および副腎等の局所解剖、構造、発生および生理機能を列記する。 16) 蓄尿と排尿機能を概説し、原因別に排尿障害の症状、診断および治療法を具体的に述べる。 17) 泌尿器科的疾患に起因する症状・症候の発症機転と病態解明のための理学的検査法、腎機能検査法、血液・尿臨床検査法を関係づける。《15～17 神経疾患で講義》 18) 泌尿器科領域の画像診断法と内視鏡検査・治療法の意義を説明する。 19) 尿転送機能を概説し、尿転送異常と尿路閉塞機転により生じる病態を分類する。 20) 尿路性器感染症の主な起炎菌、感染経路、感染防御機構、症状、診断法を説明する。《感染症で講義》 21) 尿路結石形成の機転を概説し、結石の性状別に臨床症状、診断、治療、予防法を述べる。 22) 尿路・男子生殖器の外傷の原因と症状を概説し、適切な診断法と治療方針を説明する。 23) 副腎に発生する腫瘍性病変の臨床像、診断法、治療法を類別する。 24) 腎細胞癌の疫学、臨床像、診断法、鑑別法、治療法、分子生物学的特性と予後を説明する。 25) 尿路上皮癌の疫学、臨床像、診断法、鑑別法、治療法、分子生物学的特性と予後ならびに尿路変向および下部尿路再建の適応を説明する。 26) 前立腺腫瘍（癌・肥大症）の疫学、臨床像、診断法、鑑別法、治療法、分子生物学的特性と予後ならびに男性ホルモン支配環境を説明する。 27) 精巣腫瘍の診断法、病理組織像、治療法、予後を概説し、癌化学療法基礎を説明する。 28) アン드로ロジー（性分化異常・男性不妊・勃起障害）の臨床像、分子生物学的所見と治療を説明する。 29) 腎移植の適応と移植手術成績を具体的に説明する。《移植・再生医学で講義》 30) 利尿薬ならびに泌尿器疾患治療薬、排尿障害治療薬の種類、作用機序、臨床適用について説明する。 31) 尿路・男子生殖器の新生物ならびに種々の疾患の病理組織像を供覧し、分子生物学的背景ならびに癌取り扱い規約を説明する。 32) 臨床実習（検尿法、手術介助、導尿法など）を通じて、泌尿器科領域のプライマリ・ケアに必要な基本的臨床実技を研鑽する。
評価方法	定期試験（100%） 本試験予定：2022年2月8日（火）2時限目 再試験予定：2022年3月17日（木）17:00～18:00
教科書・参考書	教科書 泌尿器科学：標準泌尿器科学 第9版（医学書院） 小児科学：小児腎臓病学 改訂第2版（診断と治療社） 病理診断学：解明 病理学 第3版（医歯薬出版）  参考書 泌尿器科学：ベッドサイド泌尿器科学 改訂第4版（南江堂） スネル臨床解剖学 第3版（メディカル・サイエンス・インターナショナル） ラングマン人体発生学 第11版（メディカル・サイエンス・インターナショナル） 実践的 泌尿器腫瘍病理診断（中山書店） 腎臓内科学：Disease of The Kidney (Little Brown) 小児科学：Pediatric Nephrology Volume1 7th ed (SPRINGER-VERLAG) 病理診断学：組織病理アトラス 第6版（文光堂） 薬理学：Goodman & Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics 13th Edition (MCGRAW-HILL EDUCATION) カッツング・薬理学 原書10版（丸善出版） New薬理学 改訂第7版（南江堂）

カラー 新しい薬理学 (西村書店)

授業計画

2021年12月3日 (金)		
4時限目	腎疾患総論 (腎臓内科学: 鶴屋和彦) 【D-8-1)-(1)~(7)、D-8-2)-(2)、D-8-3)-(3)-(1)~(3)】	
5時限目	原発性糸球体疾患の分類と組織像 (腎臓内科学: 鮫島謙一) 【D-8-2)-(3)、D-8-4)-(2)-(1)~(3)、(5)】	
6時限目	続発性糸球体疾患の分類と組織像 (腎臓内科学: 鮫島謙一) 【D-8-4)-(2)-(1)、D-8-4)-(6)-(1)~(5)】	
2021年12月8日 (水)		
1時限目	急性腎障害 (腎臓内科学: 岡本恵介) 【D-8-4)-(1)-(1)】	
2時限目	間質性腎炎 (腎臓内科学: 赤井靖宏) 【D-8-4)-(5)-(1)、(2)】	
3時限目	ネフローゼ症候群 (腎臓内科学: 赤井靖宏) 【D-8-4)-(2)-(3)、(5)】	
2021年12月10日 (金)		
4時限目	慢性腎臓病および慢性腎不全 (腎臓内科学: 鶴屋和彦) 【D-8-4)-(1)-(2)~(6)、D-8-4)-(3)-(1)、(2)】	
5時限目	腎と酸塩基平衡 (腎臓内科学: 江里口雅裕) 【D-8-1)-(6)、D-8-3)-(2)-(1)、(2)、D-8-4)-(4)】	
6時限目	尿細管機能障害 (腎臓内科学: 江里口雅裕) 【D-8-1)-(5)、D-8-3)-(1)-(1)~(4)、D-8-4)-(5)】	
2021年12月13日 (月)		
4時限目	急速進行性腎炎症候群 (腎臓内科学: 鮫島謙一) 【D-8-4)-(2)-(4)、D-8-4)-(6)-(4)】	
5時限目	小児における腎疾患 (小児科学: 石川智朗) 【D-8-4)-(2)-(1)~(5)】	
6時限目	溶血性尿毒症症候群 (小児科学: 石川智朗) 【D-1-4)-(2)-(5)、(7)】	
2021年12月15日 (水)		
1時限目	腎・尿路上皮疾患の病理 (病理診断学: 藤井智美) 【D-8-4)-(9)-(1)、(2)、E-3-5)-(8)】	
2時限目	男性生殖器疾患の病理 (病理診断学: 藤井智美) 【D-9-4)-(3)-(1)、(2)、D-12-4)-(4)-(1)~(4)、E-3-5)-(9)、(11)】	
3時限目	腎炎の病理 (病理診断学: 伊丹弘恵) 【D-8-4)-(2)-(1)~(3)、D-8-4)-(3)-(1)、D-8-4)-(5)-(1)、D-8-4)-(6)-(1)~(5)】	
2021年12月17日 (金)		
4時限目	排尿障害治療薬 (薬理学: 吉栖正典) 【D-8-1)-(8)、D-8-3)-(3)-(4)、D-8-4)-(8)-(3)、D-9-3)-(2)-(4)、D-9-4)-(1)-(2)】	
5・6時限目	【特別講義】腎生理・利尿薬 (香川大学医学部薬理学講座教授 西山 成 先生) 【D-8-1)-(3)~(5)、D-8-2)-(2)】	
2022年1月5日 (水)		
6時限目	血液浄化・腎移植 (透析部: 米田龍生) 【D-8-4)-(1)-(2)、(5)、(6)、F-2-13)-(6)~(8)】	
2022年1月18日 (火)		
1時限目	膀胱腫瘍 (泌尿器科学: 藤本清秀) 【D-8-4)-(9)-(2)】	
2時限目	上部尿路腫瘍 (泌尿器科学: 藤本清秀) 【D-8-4)-(9)-(2)】	
3時限目	陰茎・精巣・副腎・後腹膜腫瘍 (泌尿器科学: 三宅牧人) 【D-9-1)-(3)(4)(5)、D-9-3)-(1)-(2)、D-9-4)-(3)-(2)、D-12-4)-(4)-(1)、(2)】	
2022年1月25日 (火)		
1時限目	前立腺肥大症・下部尿路症状 (泌尿器科学: 鳥本一匡) 【D-8-2)-(4)、D-8-4)-(8)-(2)、D-9-4)-(1)-(2)】	
2時限目	女性泌尿器科 (泌尿器科学: 鳥本一匡) 【D-9-3)-(1)-(1)、D-9-3)-(4)-(4)、D-9-4)-(1)-(1)】	
3時限目	前立腺癌 (泌尿器科学: 田中宣道) 【D-9-4)-(3)-(1)、E-3-5)-(9)】	
4時限目	腎・尿路の画像診断 (中央放射線部: 丸上永晃) 【D-8-2)-(1)、D-9-2)-(1)-(1)】	
2022年1月27日 (木)		
1時限目	小児泌尿器科 (泌尿器科学: 青木勝也) 【D-8-4)-(7)-(1)、D-9-1)-(2)、D-9-4)-(1)-(3)】	
2時限目	腎腫瘍 (泌尿器科学: 穴井 智) 【D-8-4)-(9)-(1)】	
3時限目	尿路結石症 (泌尿器科学: 中井 靖) 【D-8-4)-(7)-(2)、D-8-4)-(8)-(1)、D-9-3)-(2)-(1)(2)(3)】	

学生へのメッセージ等



開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：消化器内科学 関連担当講座：消化器・総合外科学、放射線診断・IVR学、病理診断学
概要	肝臓・胆道・膵臓疾患について幅広く理解するために、肝・胆・膵の機能および肝・胆・膵疾患の病態、疫学、診断および治療法を学習する。
目標	<p>A. 肝疾患</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ウイルス肝炎の疫学、症候、診断、治療、経過と予後を理解する。</li> <li>2) 急性肝炎、急性肝不全と慢性肝炎の定義を述べ、病態・診断および治療法を理解する。</li> <li>3) 肝硬変の原因、病理、症候、診断と治療を理解する。</li> <li>4) 肝硬変の合併症（門脈圧亢進症、肝性脳症、腹水）を述べ、病態・診断および治療法を理解する。</li> <li>5) 原発性肝癌の原因、病理、症候、診断と治療を理解する。</li> <li>6) アルコール性肝障害・非アルコール性脂肪肝炎の病態・診断および治療法を理解する。</li> <li>7) 薬物性肝障害の病態・診断および治療法を理解する。</li> <li>8) 肝臓外科で取り扱う疾患の診断、手術適応、術前肝機能評価、術式を理解する。</li> <li>9) 肝疾患に対するIVRの適応、方法、効果を理解する。</li> </ol> <p>B. 胆道疾患</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 胆石症の成因、症候、診断と治療を理解する。</li> <li>2) 胆嚢炎と胆管炎の成因、病態、症候、診断、合併症と治療を理解する。</li> <li>3) 胆嚢・胆管癌の病理、症候、診断と治療を理解する。</li> <li>4) 胆嚢ポリープの病態・診断および治療法を理解する。</li> <li>5) 総胆管拡張症と膵胆管合流異常の病態・診断および治療法を理解する。</li> <li>6) 胆道疾患に対するIVRの適応、方法、効果を理解する。</li> </ol> <p>C. 膵臓疾患</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 急性膵炎（アルコール性、胆石性、特発性）の病態生理、症候、診断と治療を理解する。</li> <li>2) 慢性膵炎（アルコール性、特発性）の病態生理、症候、診断、合併症と治療を理解する。</li> <li>3) 膵癌の病理、症候と診断、治療を理解する。</li> <li>4) 重症急性膵炎の病態生理、診断基準と治療を理解する。</li> <li>5) 膵嚢胞性疾患の分類と病理・診断・治療を理解する。</li> <li>6) 膵臓疾患に対するIVRの適応、方法、効果を理解する。</li> </ol>
評価方法	定期試験（95％）、受講態度（5％）  本試験予定：2022年2月4日（金） 2時限目 再試験予定：2022年3月9日（水） 17:00～18:00
教科書・参考書	<p>教科書：</p> <p>杉本恒明・小俣政男 総編集 内科学 朝倉書店発行 高久史磨・尾形悦郎・黒川清・矢崎義雄 監修 新臨床内科学 医学書院発行 高橋陸正 編 必修放射線科医学 南江堂 出月康夫、古瀬 彰、杉町圭蔵 編 NEW外科学 南江堂</p> <p>参考書：</p> <p>Sherlock: Diseases of the Liver and Biliary System. Blackwell. Schiff, Sorrell, Maddrey: Diseases of the Liver. J.B. Lippincott 吉川公彦、荒井保明 監修 I V R のすべて メジカルビュー社 幕内雅敏、高山忠利 編 肝臓外科の要点と盲点 文光堂</p>
授業計画	<p>2021年12月6日（月）</p> <p>4時限目 肝疾患のみかた考えかた（消化器内科学：吉治仁志） 【D-7-1)-(6)、D-7-3)-(1)-①、②、D-7-3)-(2)-①】 内容：症候からどう考えるか、黄疸の鑑別、基礎から臨床へ</p> <p>5時限目 慢性膵炎（消化器内科学：澤田 保彦）【D-7-4)-(6)-②、③、D-7-1)-(9)】 内容：慢性膵炎の原因・病態生理・症候・診断・合併症・治療</p> <p>6時限目 肝硬変・肝硬変合併症の病態と治療（消化器内科学：鍛治 孝祐） 【D-7-4)-(5)-④、⑤、D-7-3)-(1)-⑥】 内容：日常の管理、門脈圧亢進症、肝性脳症、腹水</p> <p>2021年12月13日（月）</p> <p>2時限目 肝胆膵の画像診断（1）（放射線・核医学科：丸上 永晃）【D-7-2)-(3)】 内容：超音波検査、CT、MRI、MRCP、PTC、血管造影</p> <p>3時限目 肝胆膵の画像診断（2）（放射線・核医学科：丸上 永晃）【D-7-2)-(3)】 内容：超音波検査、CT、MRI、MRCP、PTC、血管造影</p> <p>2022年1月6日（木）</p> <p>1時限目 胆嚢・胆管癌（消化器・総合外科：高 濟峯）【D-7-4)-(8)-⑧】 内容：胆嚢・胆管癌の病理・症候診断・治療</p>

2時限目 膵腫瘍 (消化器・総合外科：庄 雅之) 【D-7-4)-(8)-(⑩, ⑪】  
内容：膵腫瘍の病理・診断・治療

3時限目 肝臓疾患の外科治療 (消化器・総合外科：北東 大督) 【D-7-4)-(8)-(⑨】  
内容：手術適応疾患、術前肝機能・評価・術式、術後管理

2022年1月7日 (金)

1時限目 膵疾患の診断、急性膵炎 (消化器内科学：美登路 昭) 【D-7-4)-(6)-(①, ③】  
内容：急性膵炎の原因・病態生理・症候・診断・治療、重症急性膵炎

2時限目 胆道疾患の診断、内視鏡的治療 (消化器内科学：美登路 昭)  
【D-7-4)-(4)-(①, ②, ③, ④, D-7-1)-(⑧】  
内容：超音波診断、胆嚢・胆管造影、CT、MRCP、ERCP、EST、EPBD、  
総胆管拡張症、膵胆管合流異常、胆石症、胆嚢炎、肝管炎

3時限目 ウイルス性・自己免疫性肝疾患・慢性肝疾患 (消化器内科学：浪崎 正)  
【D-7-2)-(①, ②, D-7-4)-(5)-(①, ②, ⑨, ⑩, ⑪】  
内容：非アルコール性脂肪肝炎の病像と診断

2022年1月12日 (水)

1時限目 肝胆膵のIVR (放射線・核医学科：田中 利洋) 【D-7-4)-(8)-(⑨, D-7-4)-(5)-(⑧】  
内容：動脈塞栓術、動注療法、ドレナージ術、アブレーション

2時限目 原発性肝細胞癌 (消化器内科学：瓦谷 英人) 【D-7-4)-(8)-(⑨, D-7-2)-(②】  
内容：疫学、病態、診断、治療

3時限目 アルコール性・薬物性肝障害 (消化器内科学：瓦谷 英人) 【D-7-4)-(5)-(⑥, ⑦】  
内容：アルコール性障害・薬物性肝障害の病態・診断・治療

2022年1月27日 (木)

4時限目 肝・胆・膵疾患の病理1 (病理診断学：森田 剛平) 【D-7-2)-(⑤】

5時限目 肝・胆・膵疾患の病理2 (病理診断学：森田 剛平) 【D-7-2)-(⑤】

6時限目 急性肝炎、急性肝不全 (消化器内科学：高谷 広章) 【D-7-4)-(5)-(②, ③】  
内容：肝機能検査、急性肝炎、急性肝不全、ウイルス肝炎のABC

学生へのメッセー  
ジ等

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	コース担当講座：呼吸器内科学講座 関連担当講座：胸部・心臓血管外科学、小児科学、放射線診断・IVR学、薬理学、病理診断学		
概要	呼吸器疾患患者の診療の基本を理解するために、呼吸器疾患の病態、診断法、治療法を習得する。		
目標	呼吸器疾患の主訴と症候を理解する。 呼吸器疾患と全身状態の関連について理解する。 呼吸機能の測定法とその解釈について理解する。 呼吸器領域の画像診断について理解する。 呼吸器疾患の治療薬についてその薬理学を理解する。 間質性肺疾患の病態・診断・治療法について説明できる。 閉塞性肺疾患の病態・診断・治療法について説明できる。 職業性肺疾患の病態について説明できる。 呼吸器感染症の病態・診断・治療法について説明できる。 気管支喘息・アレルギー性肺疾患の病態・診断・治療法について説明できる。 小児の気管支喘息の特徴・診断・治療法について説明できる。 呼吸不全の病態・治療法について説明できる。 肺循環障害の病態・診断・治療法について説明できる。 胸膜疾患について理解する。 腫瘍性肺疾患の病態・診断・内科的および外科的治療法について説明できる。 良性肺疾患の外科的治療法について理解する。		
評価方法	定期試験 90%、受講態度 10% 本試験予定：2022年2月7日(月) 4時限目 再試験予定：2022年3月16日(水) 17:00～18:00		
教科書・参考書	教科書： 標準呼吸器病学 泉 孝英 編 医学書院 図解 呼吸器内科学テキスト 長瀬隆英、永田泰自 編 中外医学社 チャートで学ぶ病態生理学 川上義和 編 中外医学社 内科鑑別診断学 杉本恒明、小俣政男 編 朝倉書店 小児科学新生児テキスト 改訂第3版 阿部敏明 他 診断と治療社 胸部のCT 池添潤平、村田喜代史 編著 医学書院 新版 胸部単純X線診断 画臓の成り立ちと読影の進め方 林 邦昭、中田 肇、編著 秀潤社 呼吸器外科学 正岡 昭 監修、藤井義敬 編集 南山堂 肺切除術一局所解剖と手術手技― 荒井他嘉司・塩沢正俊 著 朝倉書店  参考書： 呼吸器疾患最新の治療2016-2018 杉山幸比古、門田淳一、弦間昭彦 編 南江堂 呼吸調節のしくみ ベッドサイドへの応用 川上義和 編 文光堂 呼吸ケアハンドブック 木田厚瑞、久保恵嗣、木村 弘 編 医学書院 Nelson's Textbook of pediatrics (20th ed.) Robert M Heinzman's The Lung : Radiologic Pathologic Correlations 3rd ed. Stuart A. Groskin Mosby Goodman&Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics, 10th Edition. McGraw-Hill カッティング薬理学 (原書10版) 丸善 New薬理学 (改訂第6版) 南江堂		
授業計画	2021年12月7日(火) 1時限目 呼吸器疾患の総論(解剖、機能、症候群)(呼吸器内科：室 繁郎) 【D-6-1)①～⑧、D-6-3)-(2)①～⑤、D-6-4)-(7)②】 2時限目 睡眠時無呼吸症候群と生活習慣病(呼吸器内科：山内基雄) 【D-6-4)-(6)①～③】 3時限目 酸素療法と人工呼吸管理・ARDS(呼吸器内科：山内基雄) 【D-6-4)-(1)①・②、D-6-4)-(4)②】  2021年12月9日(木) 1時限目 呼吸器病治療薬(1)(薬理学：吉栖正典) 【E-3-3)④、F-2-8)④】 2時限目 呼吸器病治療薬(2)(薬理学：吉栖正典) 【E-3-3)④、F-2-8)④】 3時限目 良性肺疾患の外科治療(胸部・心臓血管外科：川口剛史) 【D-6-4)-(8)④】  2021年12月14日(火) 1時限目 慢性閉塞性肺疾患(呼吸器内科：室 繁郎) 【D-6-4)-(3)①・②】 2時限目 肺結核と非結核性抗酸菌症(呼吸器内科：吉川雅則) 【D-6-4)-(2)③・④】 3時限目 呼吸器疾患の診察法(済生会吹田病院：長 澄人) 【F-3-5)-(4)①・②】		

	<p>2021年12月16日(木)</p> <p>1時限目 呼吸器領域の画像診断(1) (放射線診断・IVR学：岡田博司) 【D-6-2)①】</p> <p>2時限目 呼吸器領域の画像診断(2) (放射線診断・IVR学：岡田博司) 【D-6-2)①】</p> <p>3時限目 小児の気管支喘息 (小児科学：荻原健一) 【D-6-4)-(3)③】</p> <p>2022年1月11日(火)</p> <p>4時限目 呼吸器疾患(病理)(1) (病理診断学：大林千穂) 【D-6-4)-(9)①】</p> <p>5時限目 呼吸器疾患(病理)(2) (病理診断学：大林千穂) 【D-6-4)-(9)①】</p> <p>6時限目 肺癌の外科治療(胸部・心臓血管外科：澤端章好) 【D-6-4)-(9)①～③】</p> <p>2022年1月13日(木)</p> <p>4時限目 肺癌の診断と治療(呼吸器内科：本津茂人) 【D-6-2)②、D-6-4)-(9)①～③】</p> <p>5時限目 呼吸器感染症の診断と治療(奈良医療センター：玉置伸二) 【D-6-4)-(2)①・②・⑤、D-6-4)-(3)-⑤、D-6-4)-(7)①】</p> <p>6時限目 肉芽腫性・アレルギー性肺疾患(南奈良総合医療センター：甲斐吉郎) 【D-6-4)-(5)①～③、D-6-4)-(7)④・⑤】</p> <p>2022年1月17日(月)</p> <p>4時限目 全身性疾患と肺病変(呼吸器内科：太田浩世) 【D-6-4)-(3)④、E-4-3)-(2)①～④、E-4-3)-(3)①～③、 E-4-3)-(4)①～④、E-4-3)-(5)①～③】</p> <p>5時限目 胸膜疾患(呼吸器内科：田崎正人) 【D-6-4)-(2)⑦、D-6-4)-(8)①～③、D-6-4)-(9)④】</p> <p>6時限目 肺血栓塞栓症と肺高血圧(奈良県総合医療センター：伊藤武文) 【D-6-4)-(4)①・③・④】</p> <p>2022年1月19日(水)</p> <p>1時限目 高齢者の肺疾患(吉野病院：福岡篤彦) 【D-6-4)-(2)⑤】</p> <p>2時限目 職業性肺疾患(済生会中和病院：徳山 猛) 【D-6-4)-(3)⑦】</p> <p>3時限目 気管支喘息(呼吸器内科：藤田幸男) 【D-6-3)-(1)①、D-6-4)-(3)③】</p> <p>2022年1月26日(水)</p> <p>2時限目 間質性肺疾患(呼吸器内科：山本佳史) 【D-6-4)-(3)④⑥、D-6-4)-(5)④】</p> <p>3時限目 呼吸器疾患のまとめ【反転授業】(呼吸器内科：室 繁郎) 【D-6-1)①～⑧、D-6-3)-(2)①～⑤、D-6-4)-(3)①・②】</p>
<p>学生へのメッセージ等</p>	<p>医師として最低限必要な呼吸器機能および呼吸器領域の疾患を理解し、知識を習得してほしい。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：消化器・総合外科学 関連担当講座：消化器内科学、小児科学、放射線診断・IVR学、分子病理学
概要	1) 消化管の臨床医学に必要な病態、疾病の基礎を理解する。 2) 診断法と内科的および外科的治療法を理解し、基礎知識を習得する。 3) 各疾患の治療法の選択およびその成績を臓器別に分類して理解する。
目標	<p>1) 消化器外科学、一般外科学、小児外科学、乳腺外科学 外科学総論 外科学の基本的な考え方を説明できる。</p> <p>消化管ポリポーシス 消化管ポリポーシスについて解説する。 Lynch症候群について解説する。</p> <p>腸管憩室症・薬剤性腸炎・虚血性大腸炎・上腸間膜動脈閉塞症 腸管憩室症（大腸憩室炎と大腸憩室出血）、薬物性腸炎、虚血性大腸炎、上腸間膜動脈閉塞症について、解説する。</p> <p>炎症性腸疾患の外科治療効果 炎症性腸疾患の外科治療について解説する。感染性腸炎を列挙し、鑑別法を解説する。</p> <p>腹壁・鼠径部ヘルニアの診断と外科治療 腹壁・鼠径部ヘルニアの概念、病態、手術治療につき解説する。</p> <p>大腸癌の診断・薬物療法 大腸癌の診断と全身化学療法につき解説する。</p> <p>大腸癌の内視鏡・手術治療 大腸癌の内視鏡的治療、手術治療につき解説する。</p> <p>腸閉塞・肛門疾患・腹膜炎の診断と治療 腸閉塞、肛門疾患、急性出血性直腸潰瘍、腹膜炎の診断と治療について述べる。</p> <p>胃癌の診断と治療 胃癌の疫学、病理、症候、肉眼分類と進行度分類を説明できる。 胃癌の診断法を列挙し、所見とその意義を説明できる。 胃癌の進行度に応じた治療を概説できる。</p> <p>胃癌の外科治療 胃切除の適応と術式について説明できる。 胃切除後症候群の病態を理解し、その対応を概説できる。</p> <p>周術期の全身管理 術前・術後管理について述べる。 術後合併症の予防と治療について説明できる。</p> <p>消化管の希少がん 消化管カルチノイドを含めた消化管神経内分泌腫瘍(neuroendocrine tumor (NET))について述べる。 消化管間質腫瘍(gastrointestinal stromal tumor (GIST))について述べる。 腹膜中皮腫について述べる。</p> <p>食道癌の診断と治療 食道癌の病理所見、肉眼分類と進行度分類について述べる。 食道癌の症候、診断、治療と予後について述べる。</p> <p>食道癌の外科治療 食道切除の適応と術式について説明できる。</p> <p>小児の食道・胃・十二指腸疾患 食道閉鎖症の病態・病型を理解し、術前管理、診断、手術および術後合併症とその予防や治療について述べる。 肥厚性幽門狭窄症について病態を理解し、術前管理、診断、手術および術後合併症とその予防や治療について述べる。</p> <p>小児の小腸大腸疾患 腸回転異常症および中腸軸捻転について病態を理解し、診断・手術および術後合併症について述べる。 鎖肛の病態・病型を理解し、術前管理、診断、手術および術後合併症とその予防や治療について述べる。 ヒルシュスプルング病の病態・病型を理解し、術前管理、診断、手術および術後合併症とその予防や治療について述べる。 急性虫垂炎の症状や診察、検査および手術や術後合併症について述べる。</p> <p>乳房腫瘍に対する診断と検査 乳房腫瘍に対する視触診、画像診断、細胞・組織診を概説する。</p> <p>乳房の腫瘍（良性・悪性） 乳房の良性腫瘍の種類、乳がんの危険因子、症候、診断、治療、予後に関して述べる。</p> <p>2) 消化器内科学 消化器内視鏡検査の基本 消化器内視鏡検査から得た情報をもとに主な疾患（隆起性病変、陥凹病変、平坦病変）の鑑別ができる。 Helicobacter pylori 感染症と胃潰瘍、十二指腸潰瘍（消化性潰瘍） Helicobacter pylori 感染症の診断を説明できる。Helicobacter pylori 感染症が関連する消化器疾患を理解し、除菌治療の有用性を説明できる。 胃潰瘍、十二指腸潰瘍（消化性潰瘍）の病因、症候、時相分類と治療を説明できる。 胃炎と機能性ディスペプシア</p>

	<p>急性胃炎（急性胃粘膜病変を含む）、慢性胃炎、機能性ディスぺプシア (functional dyspepsia (FD)) の疾患概念、治療法を概説できる。</p> <p>炎症性腸疾患および機能性消化管障害の診断と治療 炎症性腸疾患の病態把握に始まり、その鑑別診断および適切な治療法選択のあり方について解説する。併せて機能性消化管障害の疾患像に関する理解が深まるように概説する。</p> <p>食道・胃静脈瘤の診断と治療 食道・胃静脈瘤の病態生理を理解する。また、内視鏡分類や緊急・予防時の治療法を個別に説明できる。</p> <p>良性食道疾患 胃食道逆流症 (gastroesophageal reflux disease (GERD)) と逆流性食道炎の病態生理などを説明できる。 Mallory-Weiss 症候群の病態などについて説明できる。</p> <p>3) 放射線診断・IVR学 消化管画像診断の適応と読影の基本 消化管疾患について、各種画像検査の適応と意義および正常・異常所見の基本的読影法について説明する。</p> <p>胃癌の画像診断 胃癌について、画像検査の適応と意義および正常・異常所見の基本的読影法について説明する。</p> <p>4) 小児科学 小児の腸炎・消化不良症 小児科医療の現場で最もよく経験する疾患である腸炎、下痢症、便秘症について総論的に述べる。</p> <p>小児の消化器疾患 小児期に代表的な消化器疾患の一つである腸重積症と感染性腸炎について模擬症例検討を加えながら、病態・診断・治療法を述べる。</p> <p>5) 分子病理学 消化管癌の病理 食道・胃・大腸の病理学的特徴を理解し、説明できる。</p>
評価方法	<p>定期試験 (100%)</p> <p>試験予定 本試験：2022年2月4日 (金) 4時限目 再試験：2022年3月10日 (木) 17:00~18:00</p>
教科書・参考書	<p>1) 消化器外科学、一般外科学、小児外科学 教科書：標準小児外科、系統小児外科学 参考書： 潰瘍性大腸炎・クローン病 診断基準・治療指針 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」(鈴木班) 令和元年度分担研究報告書 炎症性腸疾患 (IBD) 診療ガイドライン2016</p> <p>2) 消化器内科学 教科書：食道・胃静脈瘤 改訂第3版 (日本メディカルセンター) 参考書：IBDを日常診療で診る 日比紀文、久松理一 (羊土社) 臨床食道学 (南江堂)</p> <p>3) 放射線診断・IVR学 参考書・教科書： 放射線医学 消化器 画像診断・IVR 廣田省三、村上桌道 (金芳堂) 胃X線診断の考え方と進め方 (第2版) 吉田裕司、市川平三郎 (医学書院) 上部消化管内視鏡 スタンダードテキスト 櫻井幸弘、多賀須幸男 (医学書院)</p> <p>4) 小児科学 教科書：ネルソン小児科学 原著第19版</p> <p>5) 分子病理学 教科書・参考書：特になし</p>
授業計画	<p>2021年12月7日 (火) 4時限目 消化管内視鏡検査の基本 (消化器内科学：美登路 昭) 【D-7-2)-④、D-7-4)-(2)-③】</p> <p>5時限目 消化管画像診断の適応と読影の基本 (放射線診断・IVR学：伊藤 高広) 【D-7-2)-③】</p> <p>6時限目 周術期の全身管理 (消化器・総合外科学：松本 壮平) 【F-2-9)-(1)-⑥、F-2-9)-(2)-①③④⑤⑦⑧⑨】</p> <p>2021年12月9日 (木) 4時限目 消化管癌の病理 (分子病理学：谷 里奈) 【D-7-4)-(8)-①③⑥】</p> <p>5時限目 Helicobacter pylori 感染症と胃潰瘍、十二指腸潰瘍 (消化性潰瘍) (消化器内科学：美登路 昭) 【D-7-3)-(2)-⑥、D-7-4)-(2)-①②】</p> <p>6時限目 胃炎と機能性ディスぺプシア (消化器内科学：美登路 昭) 【D-7-1)-④⑤⑦⑩、D-7-3)-(2)-①、D-7-4)-(2)-④⑤⑦】</p> <p>2021年12月14日 (火) 4時限目 大腸癌の診断・薬物療法 (消化器・総合外科学：久下 博之) 【D-7-4)-(8)-⑥⑦】</p> <p>5時限目 胃癌の診断と治療 (消化器・総合外科学：松本 壮平) 【D-7-4)-(8)-③④⑤】</p> <p>6時限目 外科学総論 (消化器・総合外科学 客員教授：山上 裕機) 【E-2-9)-(1)-①~⑥】</p>

2021年12月17日 (金) 1時限目 小児の消化器疾患 (小児科学: 古川 晶子) 【D-7-4)-(3)-(10)(12)】 2時限目 小児の食道・胃・十二指腸疾患 (消化器・総合外科学: 澤井 利夫) 【D-7-4)-(2)-(8)】 3時限目 乳房腫瘍に対する診断と検査 (消化器・総合外科学: 池田 直也) 【D-11-2)-(1)(2)、D-11-3)】  2022年1月6日 (木) 4時限目 腸管憩室症・薬剤性腸炎・虚血性大腸炎・上腸間膜動脈閉塞症 (消化器・総合外科学: 小山 文一) 【D-7-4)-(3)-(6)(7)(13)(15)】 5時限目 食道・胃静脈瘤の診断と治療 (消化器内科学: 瓦谷 英人) 【D-7-4)-(1)-(1)】 6時限目 胃癌の外科治療 (消化器・総合外科学: 松本 壮平) 【D-7-4)-(2)-(6)、F-2-9)-(1)-(6)】  2022年1月11日 (火) 1時限目 胃癌の画像診断 (放射線診断・IVR学: 伊藤 高広) 【D-7-4)-(8)-(4)】 2時限目 大腸癌の内視鏡・手術治療 (消化器・総合外科学: 久下 博之) 【D-7-4)-(8)-(6)(7)】 3時限目 消化管ポリポーシス (消化器・総合外科学: 小山 文一) 【D-7-4)-(3)-(8)】  2022年1月13日 (木) 1時限目 炎症性腸疾患および機能性消化管障害の診断と治療 (消化器内科学: 守屋 圭) 【D-7-1)-(15)、D-7-3)-(2)-(6)、D-7-4)-(3)-(3)(5)】 2時限目 炎症性腸疾患の外科治療効果 (消化器・総合外科学: 小山 文一) 【D-7-4)-(3)-(3)(12)】 3時限目 腸閉塞・肛門疾患・腹膜炎の診断と治療 (消化器・総合外科学: 中本 貴透) 【D-7-1)-(11)、D-7-3)-(2)-(5)(7)、D-7-4)-(3)-(2)(4)(14)、D-7-4)-(7)-(1)】  2022年1月17日 (月) 1時限目 腹壁・鼠径部ヘルニアの診断と外科治療 (消化器・総合外科学: 久下 博之) 【D-7-1)-(1)(2)(3)、D-7-4)-(7)-(2)(3)】 2時限目 良性食道疾患 (消化器内科学: 瓦谷 英人) 【D-7-4)-(1)-(2)(3)】 3時限目 食道癌の診断と治療 (教育開発センター: 若月 幸平) 【D-7-4)-(8)-(1)(2)】  2022年1月21日 (金) 1時限目 食道癌の外科治療 (消化器・総合外科学 客員教授: 北川 雄光) 【D-7-4)-(8)-(1)(2)、F-2-9)-(1)-(6)】 2時限目 小児の腸炎・消化不良症 (小児科学: 古川 晶子) 【D-7-4)-(3)-(11)】 3時限目 小児の小腸大腸疾患 (消化器・総合外科学: 澤井 利夫) 【D-7-4)-(3)-(1)(2)(9)】  2022年1月24日 (月) 4時限目 乳房の腫瘍 (良性・悪性) (消化器・総合外科学: 池田 直也) 【D-11-1)-(1)(2)(3)、D-11-4)-(1)-(1)(2)、D-11-4)-(2)-(1)、E-3-5)-(10)】 5時限目 消化管の希少がん (教育開発センター: 若月 幸平) 【D-7-4)-(3)-(16)(17)、D-7-4)-(8)-(12)】		
	学生へのメッセージ等	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			

教育スタッフ	<p>コース担当講座：放射線診断・IVR学（責任者：田中利洋）          准教授：田中利洋          非常勤講師：阪口 浩、田岡俊昭、穴井洋、高濱潤子          講師：伊藤高広、西尾福英之、市橋成夫          助 教：明珍 薫、越智朋子、岩越真一          関連担当講座：中央放射線部          准教授：丸上永晃          助 教：宮坂俊輝          関連担当講座：総合画像診断センター          病院教授：平井都始子          講師：岡田博司          助教：丸上亜希、佐藤健司、山内哲司</p>
概要	<p>1) 臨床における放射線診断の位置づけと価値を理解するために、診断学の基礎を理論的に把握する。          2) IVR(Interventional Radiology：放射線診断技術の治療的応用)の役割を習得する。</p>
目標	<p>1) 放射線医学の基本的事項を理解する。          2) 単純X線写真の画像の成り立ちと所見を説明できる。          3) 各種造影検査と造影剤の基本的事項を理解する。          4) CTの原理、画像診断における役割を理解する。          5) MRIの原理、画像診断における役割を理解する。          6) 血管造影・IVRの手技と有用性を理解する。          7) 超音波の原理、画像の成り立ちと所見を理解する。          8) 消化管造影の手技、画像診断における役割を理解する。          9) 核医学の原理、画像診断における役割を理解する。</p>
評価方法	<p>定期試験（100%）           本試験予定：2022年2月8日（火）4限目          再試験予定：2022年3月18日（金）17:00～18:00</p>
教科書・参考書	<p>教科書：          標準放射線医学 有水 昇 監修 医学書院          参考書：          Radiology Review Manual (wolfgang Dahnert)          Meyers' Dynamic Radiology of the Abdomen (Springer)          Osborn's Brain: Imaging, Pathology, and Anatomy (Lippincott Williams &amp; Wilkins)          Principles of chest Roentgenology(Felson)          IVRのすべて 監修 吉川公彦 荒井保明，編集 田中利洋 市橋成夫          金芳堂 放射線医学消化器 画像診断・IVR 監修 杉村和朗 編集 廣田省三 村上卓道</p>
授業計画	<p>2022年 1月12日（水）          4限目 画像診断・IVR総論 田中利洋                【E-6-2)②④⑤、E-6-3)①②、F-2-5)①②④⑤】           5限目 脳神経画像診断【反転授業】 宮坂俊輝                【F-2-5)①②④、D-2-2)①】           2022年 1月18日（火）          4限目 CT・MRI・超音波・核医学総論 丸上永晃                【E-6-1)⑤、E-6-2)②⑤、E-6-3)①②、F-2-5)①②④】           5限目 腹部画像診断 平井都始子                【F-2-5)①②④、F-2-7)①-⑦】           6限目 IVR各論【反転授業】 西尾福英之                【E-6-2)①②、F-2-5)④⑤】           2022年 1月19日（水）          4限目 消化管造影 伊藤 高広                【F-2-5)①②④、D-7-2)②】           5限目 胸部画像診断 岡田博司                【F-2-5)①②④、D-6-2)①】</p>
学生へのメッセージ等	



開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：精神医学講座
概要	1) 精神疾患の病態・診断・治療について、基本的な知識を習得する。 2) 精神疾患や精神障害者の本質的な問題について、生物学的、心理学的、および社会医学的な視点から理解する。 3) 虐待や高齢化、自殺など、現代社会と関わりの深い精神医療についての理解を深める。
目標	①精神科総論 1) 精神科医療の歴史を理解できる。 2) わが国の精神医療の現状を説明できる。 3) 精神保健福祉法の骨子と成立過程を説明できる。 4) 精神科の入院形態と、そのための手続きを述べることができる。 5) 地域精神保健活動のシステムを説明できる。 6) 精神障害者福祉、介護保険制度等について説明できる。 7) 精神医学における面接と、一般的な症候、鑑別を挙げるができる。 8) 心理検査や精神療法について概説できる。 9) コンサルテーションリエゾンを通じた他科との関わりについて述べるができる。 ②精神科と社会 1) 自殺の現状や精神疾患との関連について説明できる。 2) 高齢化における精神医学的課題およびシステムについて説明できる。 3) 各ライフサイクルにおける発達課題を説明できる。 4) 虐待等の幼少期体験とその影響について説明できる。 5) 触法精神障害者の処遇について説明できる。 6) ストレス社会における精神疾患を理解できる。 7) 精神疾患患者の社会復帰・リカバリーについて説明することができる。 ③精神科各論 1) 統合失調症の病態・診断・治療について説明することができる。 2) 気分障害（うつ病・躁うつ病）の病態・診断・治療について説明することができる。 3) アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症等の病態・診断・治療について説明することができる。 4) 器質性精神疾患、症状精神病の鑑別を挙げるができる。 5) せん妄の病態・診断・治療について説明することができる。 6) 依存症（アルコール、薬物、ギャンブル等）の病態・診断・治療について説明することができる。 7) てんかんの病態・診断・治療について説明することができる。 8) ストレス関連疾患、不安障害の病態・診断・治療について説明することができる。 9) パーソナリティ障害・性別違和の病態・診断・治療について説明することができる。 10) 摂食障害の病態・診断・治療について説明することができる。 11) 発達障害の病態・診断・治療について説明することができる。 ④精神疾患と脳科学 1) 精神科の神経科学病態について理解することができる。 2) 精神疾患の遺伝学について理解することができる。 3) 脳領域を起点とした行動の成り立ちについて理解することができる。 4) 画像を用いた精神科診断について説明することができる。 5) 脳内伝達物質と薬物療法について概説することができる。
評価方法	定期試験（80%）、受講態度（20%） 本試験予定：2022年4月27日（水）10:10～11:10 再試験予定：2022年6月14日（火）17:00～18:00
教科書・参考書	参考書：標準精神医学（医学書院） 現代臨床精神医学（金原出版） カプラン臨床精神医学テキスト 第3版（MEDSi） ストール精神薬理学エッセンシャルズ 神経科学的基礎と応用 第4版（MEDSi） 第4版 カールソン神経科学テキスト 脳と行動（丸善出版） 子どものための精神医学（医学書院） Kaplan & Sadock's Synopsis of Psychiatry
授業計画	2022年2月9日（水） 1時限目 精神医学の歴史と最先端（精神医学：牧之段 学）【A-8-1）-①～④、B-1-8）-⑬】 2時限目 精神科診断・面接・症候（精神医学：小森 崇史）【D-15-1）-①～②、D-15-2）-①～②】 3時限目 統合失調症【反転授業】（精神医学：鳥塚 通弘）【D-15-3）-④】 4時限目 アルツハイマー病と関連認知症（精神医学：安野 史彦） 【D-2-4）-（2）-①～②、D-15-3）-②、F-1-32）-①～③】 5時限目 老年精神医学（フレイル・介護保険等）、精神科画像研究（精神医学：高橋 誠人） 【B-1-8）-②～③、E-8-1）-①～⑫】

6時限目	気分障害 (精神医学：山内 崇平) 【D-15-3)-⑤～⑥、F-1-31)-①～③】
2022年3月2日(水)	
1時限目	てんかん (精神医学：山内 崇平) 【D-2-4)-(7)-①、F-1-8)-①～③】
2時限目	せん妄・睡眠関連疾患・コンサルテーションリエゾン (精神医学：後藤 晴栄) 【D-15-1)-④】
3時限目	嗜癮性障害 (アルコール、薬物、ギャンブル) (精神医学：鳥塚 通弘) 【B-1-5)-⑤、D-15-3)-③】
4時限目	器質性・症状性精神障害 (精神医学：中村 祐) 【D-15-3)-①】
5時限目	脳と精神症状 (精神医学：三村 将) 【C-5-1)-①～③】
6時限目	強迫性障害 (精神医学：中尾 智弘) 【C-5-4)-①～④、D-15-2)-③、D-15-3)-⑦、F-1-31) ①～③】
2022年3月9日(水)	
1時限目	自殺・産業保健・精神保健福祉法 (精神医学：小森 崇史) 【B-1-5)-④、B-1-8)-⑬、D-15-1)-③】
2時限目	精神科リハビリテーション・災害精神医学 (DPAT等) (精神医学：盛本 翼) 【A-7-1)-⑥、B-1-7)-⑥】
3時限目	心理検査・精神療法 (精神医学；岸本 直子) 【C-5-7)-①～⑧、C-5-8)-①～⑤、D-15-1)-⑤】
4時限目	パーソナリティー障害・性別違和 (精神医学：浦谷 光裕) 【C-5-6)-①～⑤、D-15-3)-⑩】
5時限目	不安障害・強迫性障害・身体表現性障害・転換性障害・解離性障害 (精神医学：山室 和彦) 【C-5-3)-①～④、C-5-4)-①～④、D-15-2)-③、D-15-3)-⑦～⑨、F-1-31)-①～③】
6時限目	摂食障害 (精神医学：岡崎 康輔) 【F-1-3)-①～③】
2022年3月16日(水)	
1時限目	児童の正常発達と児童虐待 (精神医学；浦谷 光裕) 【C-5-5)-①～③、E-7-3)-①、⑥、⑦、E-7-4)-①～③】
2時限目	児童・思春期精神医学 (精神医学：定松 美幸) 【D-15-3)-⑪～⑫、E-7-3)-⑧】
3時限目	発達障害 (精神医学；牧之段 学) 【C-5-5)-①～③、D-15-3)-⑪～⑫、E-7-3)-⑧】
4時限目	精神科薬物療法・薬物動態学 (精神医学；山室 和彦) 【C-3-3)-(1)-①～③、C-3-3)-(2)-①～③、C-3-3)-(3)-①】
5時限目	精神疾患の遺伝学 (精神医学；木村 大樹) 【C-4-1)-①～⑦】
6時限目	精神疾患の神経科学 (精神医学；紀本 創兵) 【C-2-3)-(1)-①～③、C-2-3)-(2)-①～③、C-5-2)-①～③】

学生へのメッセージ等

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：呼吸器内科学講座 関連担当講座：輸血部、小児科学、皮膚科学、がんゲノム・腫瘍内科学、病理診断学
概要	血液疾患患者の診療の基本を理解するために、血液疾患の病態、診断法、治療法を認識する。
目標	骨髄・造血器の機能について理解する。 血球の分化、血漿蛋白の種類・機能について理解する。 血液疾患の検査法を理解し、説明できる。 貧血の種類・病態・治療法について説明できる。 骨髄増殖性腫瘍の種類・病態・治療法について説明できる。 骨髄性白血病の種類・病態・検査法について説明できる。 リンパ球の機能について説明できる。 リンパ性白血病の種類・病態・治療法について説明できる。 悪性リンパ腫の種類・病態・治療法について説明できる。 血小板の分化・機能について理解する。 血液凝固・線溶系の病態について理解する。 出血性疾患の種類・病態・治療法について説明できる。 小児の血液疾患・固形腫瘍の種類・病態・治療法について説明できる。 輸血の適応と合併症を説明できる ABO, Rh, 血液型判定と交差適合試験について説明できる 血液製剤の種類と適応を説明できる 同種血輸血、自己血輸血、成分輸血を説明できる 造血幹細胞移植の種類と適応を説明できる 患者に対し、輸血の有効性と危険性を説明できる。
評価方法	定期試験 95%、受講態度 5% 本試験予定：2022年4月27日(水) 4時限目 再試験予定：2022年6月15日(水) 17:00～18:00
教科書・参考書	教科書： 血液疾患臨床マニュアル 松田保、中村忍 編 中外医学社 小児科学新生児テキスト 改訂第3版 阿部敏明 他 診断と治療社 あたらしい皮膚科学 清水宏 著 中山書店 標準皮膚科学 第9版 瀧川雅浩 監修 医学書院  参考書： 血液病学 三輪史朗、青木延雄、柴田昭 編 文光堂 血液疾患臨床ハンドブック 中村忍、中尾眞二 編著 中山書店 Newlon: Textbook of pediatrics (16th ed.) Saunders 最新内科学大系 第78巻 皮膚の疾患 中山書店 皮膚病理組織診断学入門 齊田俊明 著 南江堂 Mollison's blood transfusion in clinical medicine. Blackwell Pub. 輸血学 遠山博 編 中外医学社 Practical transfusion medicine Pamphilon Standards for blood banks and transfusion services. American Association of Blood Banks
授業計画	2022年2月10日(木) 1時限目 血液製剤の適応(自己血を含む)(輸血部：早川正樹) 【F-2-13】① 2時限目 血液疾患の皮膚病変(皮膚科学：宮川 史) 【該当なし】 3時限目 リンパ球腫瘍の血液病理学(日本パプテスト病院：中峯寛和) 【D-1-4)-(4)⑧】  2022年2月16日(水) 1時限目 出血性疾患(小児)(小児科学：野上恵嗣) 【D-1-4)-(2)③】 2時限目 血球と血漿蛋白(呼吸器内科：天野逸人) 【D-1-2)①・③】 3時限目 血小板と凝固因子(呼吸器内科：天野逸人) 【D-1-1)①～⑧】  2022年2月17日(木) 1時限目 血栓性疾患(DIC)(輸血部：早川正樹) 【D-1-4)-(2)④】 2時限目 リンパ球とリンパ組織(呼吸器内科：田中晴之) 【D-1-1)⑦】 3時限目 骨髄腫(呼吸器内科：田中晴之) 【D-1-4)-(4)⑨】  2022年2月18日(金) 4時限目 悪性リンパ腫(がんゲノム・腫瘍内科：吉井由美) 【D-1-4)-(4)⑧】

	<p>5時限目 貧血（呼吸器内科：天野逸人）【D-1-4)-(1)①～⑤】</p> <p>6時限目 出血性疾患（呼吸器内科：天野逸人）【D-1-4)-(2)①・②・⑥】</p> <p>2022年2月21日(月)</p> <p>4時限目 小児の白血病（小児科学：石原 卓）【D-1-4)-(4)⑥】</p> <p>5時限目 小児の固形腫瘍（小児科学：石原 卓）【該当なし】</p> <p>6時限目 小児の赤血球疾患（小児科学：石原 卓）【D-1-4)-(1)①～⑤】</p> <p>2022年4月6日(水)</p> <p>4時限目 輸血概論, 輸血副作用など（輸血部：松本雅則）【F-2-13)③】</p> <p>5時限目 骨髄異形成症候群（呼吸器内科：天野逸人）【D-1-4)-(4)④】</p> <p>6時限目 急性骨髄性白血病（呼吸器内科：天野逸人）【D-1-4)-(4)①・②】</p> <p>2022年4月13日(水)</p> <p>1時限目 造血幹細胞移植の基礎（奈良県総合医療センター：八木秀男）【F-2-13)⑤～⑧】</p> <p>2時限目 血栓性疾患(TTP+HIT)（輸血部：松本雅則）【D-1-4)-(2)⑦】</p> <p>3時限目 急性リンパ性白血病（呼吸器内科：天野逸人）【D-1-4)-(4)①・②】</p> <p>2022年4月14日(木)</p> <p>4時限目 CLL類縁疾患とATL（呼吸器内科：田中晴之）【D-1-4)-(4)⑤】</p> <p>5時限目 骨髄増殖性腫瘍（呼吸器内科：田中晴之）【D-1-4)-(4)③・⑦】</p> <p>6時限目 血液疾患の症候と検査（呼吸器内科：田中晴之）【D-1-2) ②、D-1-3) ①～⑦、D-1-4) (3)①】</p>
<p>学生へのメッセージ等</p>	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
脳神経外科担当医および脳神経内科担当医			
添付ファイル			

教育スタッフ	コース担当講座：脳神経外科学、脳神経内科学 関連担当講座：泌尿器科学、病理診断学		
概要	1) 神経疾患に関する正確な知識を得るために、神経系の発生、局所解剖、病態生理、神経症候学を理解する。 2) 主要な神経疾患の適切な診断と治療方針の決定ができる能力を獲得するために、系統的な神経診察法・補助検査法と、EBMに基づく治療法を理解し修得する。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 主要な神経症候の原因を列挙し病態と関連づけできる。</li> <li>2 神経疾患の画像所見が説明できる。</li> <li>3 脳ヘルニアの種類と症候を説明できる。</li> <li>4 虚血性脳脊髄血管障害の分類、病態、治療、予防を説明できる。</li> <li>5 出血性脳脊髄血管障害の分類、病態、治療、予防を説明できる。</li> <li>6 主な脳・脊髄腫瘍の臨床病理学的な病態を概説できる。</li> <li>7 頭部脊椎外傷の分類を説明できる。</li> <li>8 先天性脳脊髄奇形の症状と病態を説明できる。</li> <li>9 水頭症の種類、症候と診断を説明できる。</li> <li>10 変形性脊椎症の病態と神経症候を説明できる。</li> <li>11 脳、脊髄変性疾患（認知症、脱髄疾患を含む）の症候、診断、病態を概説できる。</li> <li>12 神経系感染症の分類、症候、診断、治療を説明できる。</li> <li>13 末梢神経障害の分類、症候、診断、治療を説明できる。</li> <li>14 筋疾患の分類、症候、診断を説明できる。</li> <li>15 神経筋接合部疾患の病態、症候、診断、治療を説明できる。</li> <li>16 痴呆性疾患の分類、病態、診断、治療を説明できる。</li> <li>17 てんかんの分類、診断と治療を説明できる。</li> <li>18 疾患の診断と治療を通じてインフォームドコンセントの必要性和リスクマネージメントの重要性を示すことができる。</li> </ol>		
評価方法	本試験予定：2022年4月22日（金）4限目 再試験予定：2022年6月7日（火） 評価方法と割合：定期テスト（95%）、受講態度（5%）		
教科書・参考書	<p>教科書：</p> <p>脳神経内科：臨床神経内科学（平山恵造 編 南山堂） Merritt's Textbook of Neurology (L. P. Rowland 編著) ベッドサイドの神経の診かた（斎藤佳雄、田崎義昭 編著 南山堂）</p> <p>脳神経外科：標準脳神経外科（山浦 晶、田中隆一、児玉南海雄 共著 医学書院） 病気が見える7 脳・神経（医療情報科学研究所）</p> <p>泌尿器科：Text 泌尿器科学、New 泌尿器科学 病理診断学：組織病理アトラス（小池盛雄 他 編分光堂）</p> <p>参考書：</p> <p>脳神経内科：特に指定しない。症例からよく学び、関連の書物文献を良く読むこと。 脳神経外科：同上</p>		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
1	2022年2月10日（木） 4限目 深部脳刺激療法 【D-2-4-2-3】		脳神経外科 平林秀裕（外部講師）
2	2022年2月10日（木） 5限目 良性脳腫瘍 【D-2-4-10-1】		脳神経外科 西村文彦
3	2022年2月10日（木） 6限目 悪性脳腫瘍 【D-2-4-10-1】		脳神経外科 松田良介
4	2022年2月14日（月） 1限目 脳神経内科概論 【D-2-1-1-1~5】		脳神経内科 杉江和馬
5	2022年2月14日（月） 2限目 筋疾患 【D-2-4-6-2~3】		脳神経内科 杉江和馬
6	2022年2月14日（月） 3限目 神経因性膀胱 【D-8-4-8-3】		泌尿器科 鳥本一匡
7	2022年2月17日（木） 4限目 パーキンソン病 【D-2-4-2-3】		脳神経内科 形岡博史

8	2022年2月17日（木） 脳血管障害 【D-2-4-1-1～2】	5限目		脳神経内科 斎藤こずえ
9	2022年2月17日（木） 脳血管障害 【D-2-4-1-1～2】	6限目		脳神経内科 斎藤こずえ
10	2022年2月21日（月） てんかんの外科 【D-2-4-7-1】	1限目		脳神経外科 田村健太郎
11	2022年2月21日（月） 脊髄小脳変性症 【D-2-4-2-5、E-1-1-1～2】	2限目		脳神経内科 江浦信之
12	2022年2月21日（月） 頭部外傷 【D-2-4-4-1～3】	3限目		脳神経外科 古家一洋平
13	2022年2月28日（月） 脳血管障害の外科 【D-2-4-1-1～2】	1限目		脳神経外科 木内博之（外部講師）
14	2022年2月28日（月） その他の腫瘍 【D-2-4-10-1】	2限目		脳神経外科 前岡良輔
15	2022年2月28日（月） 小児脳神経外科 【E-7-1～3-1～10】	3限目		脳神経外科 朴永鉄
16	2022年3月4日（金） 三叉神経痛、内頸動脈海綿静脈洞瘻 【D-2-4-5-4、D-2-4-1】	4限目		脳神経外科 岡本愛
17	2022年3月4日（金） 水頭症 【D-2-4-9-2】	5限目		脳神経外科 金泰均
18	2022年3月4日（金） 脳腫瘍の病理 【D-2-4-10-1】	6限目		病理診断科 廣瀬隆則（外部講師）
19	2022年3月18日（金） 動脈瘤とくも膜下出血 【D-2-4-1-1～2】	4限目		脳神経外科 中瀬健太
20	2022年3月18日（金） 血管内治療 【D-2-4-1-1～2】	5限目		脳神経外科 中川一郎
21	2022年3月18日（金） 脳出血 【D-2-4-1-1～2】	6限目		脳神経外科 山田修一
22	2022年3月25日（金） その他の血管障害 【D-2-4-1-1～2】	4限目		脳神経外科 木次将司
23	2022年3月25日（金） 脊椎疾患 【D-2-1-2-1～3】	5限目		脳神経外科 竹島靖浩
24	2022年3月25日（金） 最新脳神経外科 【D-2-1-1-1～5】	6限目		脳神経外科 中瀬裕之
25	2022年4月6日（水） 神経筋疾患のリハビリ 【D-2-3-2-1、D-2-4-1-2】	1限目		脳神経内科 眞野智生
26	2022年4月6日（水） 神経筋接合部疾患 【D-2-4-6-1】	2限目		脳神経内科 小林恭代
27	2022年4月6日（水） 認知症疾患 【D-2-4-2-1】	3限目		脳神経内科 小林恭代
28	2022年4月7日（木） 頭痛、神経系感染症 【D-2-4-8-1】	4限目		脳神経内科 形岡博史
29	2022年4月7日（木） 脳幹障害と脳神経障害 【D-2-3-2-1～3】	5限目		脳神経内科 桐山敬生
30	2022年4月7日（木）	6限目		脳神経内科 桐山敬生

		脱髄疾患 【D-2-4-3-2】		
	31	2022年4月12日（火） 4限目 不随意運動 【D-2-3-1-2】		脳神経内科 泉哲石
	32	2022年4月12日（火） 5限目 末梢神経障害 【D-2-4-5-1】		脳神経内科 泉哲石
	33	2022年4月14日（木） 1限目 運動ニューロン疾患 【D-2-4-2-4】		脳神経内科 岩佐直毅
	34	2022年4月14日（木） 2限目 大脳と高次機能【反転授業】 【D-2-1-4-1】		脳神経内科 七浦仁紀
学生へのメッセージ等				

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：眼科学
概要	眼科疾患の診断、治療を行うために視機能および視覚系の病態について理解する。
目標	<p>視覚情報の制御機構を知るために視覚系の構造、機能を理解し、視覚検査の基本的知識を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 全身疾患の検査や治療で視覚異常に対して配慮する。</li> <li>2) 視力の概念について説明できる。</li> <li>3) 屈折異常について説明できる。</li> <li>4) 調節異常について説明できる。</li> <li>5) 視野の概念について説明できる。</li> <li>6) 視野から疾患を推定できる。</li> <li>7) ERG と VEP の波形について説明できる。</li> <li>8) 色覚異常の検査法を列挙できる。</li> <li>9) 色覚異常の遺伝について説明できる。</li> <li>10) 眼球運動の種類について説明できる。</li> <li>11) 外眼筋の作用について説明できる。</li> <li>12) 瞳孔運動の種類について説明できる。</li> <li>13) 対光反射の神経経路について説明できる。</li> <li>14) 視覚情報の伝達系路について説明できる。</li> <li>15) 視神経炎の原因疾患と治療法を説明できる。</li> <li>16) 複視の原因疾患と所見を列挙できる。</li> <li>17) 弱視の概念について説明できる。</li> <li>18) 弱視の原因を列挙できる。</li> <li>19) 斜視と斜位の違いについて説明できる。</li> <li>20) 外眼部疾患の診断法と治療法を説明できる。</li> <li>21) スティーブンスジョンソン症候群の眼病変について説明できる。</li> <li>22) 角結膜の炎症性疾患の診断と治療法について説明できる。</li> <li>23) 角膜炎の分類と診断について説明できる。</li> <li>24) 強膜炎の原因疾患を列挙できる。</li> <li>25) ぶどう膜炎の自覚症状を列挙できる。</li> <li>26) ぶどう膜炎の眼合併症を説明できる。</li> <li>27) 原田病の病期と自覚症状について説明できる。</li> <li>28) ベーチェット病の眼病変と診断基準を説明できる。</li> <li>29) 水晶体疾患の診断と治療法について説明できる。</li> <li>30) 水晶体偏位・脱臼の原因疾患を列挙できる。</li> <li>31) 白内障種々津ん概略と合併症を説明できる。</li> <li>32) 緑内障の分類を説明できる。</li> <li>33) 緑内障の視野変化を図示できる。</li> <li>34) 網膜の血管病変と合併症について説明できる。</li> <li>35) 眼底写真をみて糖尿病網膜症の病期を判断できる。</li> <li>36) 高血圧性網膜症の分類について説明できる。</li> <li>37) 網膜剥離の分類について説明できる。</li> <li>38) 硝子体出血の原因疾患を列挙できる。</li> <li>39) 網膜色素変性症の ERG、視野、眼底変化を説明できる。</li> <li>40) 眼底写真をみて加齢性黄斑変性症と判定できる。</li> <li>41) 未熟児網膜症の病変を説明できる。</li> <li>42) 全身疾患に伴う眼病変について説明できる。</li> <li>43) 屈折矯正手術の種類と概要が説明できる。</li> <li>44) 角膜幹細胞、内皮細胞、水晶体上皮細胞の性質を説明できる。</li> </ol>
評価方法	<p>定期試験（100%）</p> <p>本試験予定：2022年4月26日（火）4時限目 再試験予定：2022年6月13日（月）17：00～18：00</p>
教科書・参考書	<p>教科書： 標準眼科学 医学書院 現代の眼科学 金原出版</p> <p>参考書： General Ophthalmology Lange, Maruzen System of Ophthalmology, Duke Elder The Eye, Davson Basic and clinical science course, American academy of Ophthalmology 新臨床眼科全書 全11巻 金原出版 眼科Mook 40巻 金原出版 眼科器械の使い方 医学書院 眼光学の基礎 金原出版 エッセンシャル眼科学 医歯薬出版 小眼科書 金芳堂 眼科学辞典 メディカル葵出版</p>



<p>授業計画</p>	<p>2022年2月15日（火）</p> <p>【担当：上田 哲生】 1時限目 視機能検査Ⅰ・Ⅱ 【D-13-1)-④、D-13-2)-①、D-13-4)-(1)-①, ②, ③, ④】 分光感度色覚、光覚、視力、屈折、視野、眼位、 細隙灯顕微鏡、隅角検査、眼圧、眼底検査、蛍光眼底撮影、網膜電図、超音波、CT</p> <p>【担当：後岡 克典】 2時限目 遺伝性眼疾患 【D-13-4)-(2)-①】 網膜色素変性、網膜芽細胞腫、家族性角膜変性症、遺伝性視神経疾患、色覚異常</p> <p>3時限目 眼科再生医療 【D-13-1)-①, ②, ③, ④、D-13-2)-①】</p> <p>【担当：治村 寛信】 4時限目 外眼筋疾患、眼窩疾患、眼外傷、前眼部疾患Ⅱ 【D-13-4)-(1)-⑨、D-13-2)-①】 外眼筋疾患、眼窩疾患、眼外傷、涙器の構造と生理、検査、涙道疾患、涙腺疾患、 涙器の外傷</p> <p>【担当：辻中 大生】 5時限目 前眼部疾患Ⅰ 【D-13-3)-(1)-①】 眼瞼疾患（眼瞼の構造、形態の異常、眼瞼の炎症、眼瞼の腫瘍）</p> <p>6時限目 前眼部疾患Ⅲ 【D-13-4)-(1)-②】 角膜・強膜・結膜疾患</p> <p>2022年2月16日（水）</p> <p>【担当：宮田 季美恵】 4時限目 脈絡膜、ぶどう膜炎 【D-13-4)-(1)-④, ⑦、D-13-4)-(2)-①】 脈絡膜、ぶどう膜炎、眼内炎、続発緑内障、脈絡膜腫瘍</p> <p>5時限目 緑内障 【D-13-4)-(1)-④】 緑内障の定義、眼圧の検査、緑内障の分類、治療</p> <p>【担当：水澤 裕太郎】 6時限目 斜視弱視、屈折矯正、ロービジョンケア 【D-13-2)-①、D-13-3)-(1)-①】 斜視弱視の診断と治療、屈折異常の手術的矯正</p> <p>2022年2月22日（火）</p> <p>【担当：西 智】 2時限目 神経眼科 【D-13-4)-(1)-⑧】 視覚路、眼球運動、瞳孔、視神経疾患、眼球運動障害、複視、脱髄疾患、鬱血乳頭</p> <p>3時限目 水晶体、白内障【反転授業】 【D-13-4)-(1)-③】 白内障、水晶体脱臼、白内障手術、後発白内障</p> <p>【担当：平井 宏昌】 4時限目 解剖、発生、全身疾患と眼 【D-13-1)-①, ②, ③, ④、D-13-3)-(2)-①, ②, ③】 視覚器の構成、眼球、視路、眼球付属器、眼の器官発生</p> <p>【担当：緒方 奈保子】 5時限目 網膜疾患Ⅰ 【D-13-4)-(1)-⑥, ⑩】 網膜血管（糖尿病）、高血圧網膜症、加齢性黄斑変性</p> <p>6時限目 網膜疾患Ⅱ 【D-13-4)-(1)-⑤】 網膜剥離、ウイルス感染、未熟児網膜症</p>
<p>学生へのメッセージ等</p>	<p>私たちは外界情報の8割以上を視覚情報として得ています。“見る”ことは生活に欠かせない要素であり、眼科は未熟児から高齢者まで広く対象としています。高齢化が進むなか眼科の役割はより重要になってきており、全身疾患との関わりも深く、基本的な眼科知識は医師としての能力を高めます。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
澤端章好、福場遼平、天野逸人、伊藤利洋、面川庄平、稲垣有佐、辻中大生、金廣裕道、桑原理充、柳生貴裕、米田龍生、栗本一基、石原卓			
添付ファイル			

教育スタッフ	コース担当講座：胸部・心臓血管外科学 関連担当講座：呼吸器内科学、消化器・総合外科学、整形外科、眼科学、小児科学、皮膚科・形成外科学、免疫学、透析部、口腔外科学、発生・再生医学
概要	移植・再生医学は、細胞・組織および臓器の移植、細胞・組織の再生分化、そして、生態適合性素材にある人工器官・人工臓器の技術を個別的あるいは統合的に応用し、不可逆的あるいは一過性障害を有する疾患に対する細胞・組織・器官の修復、再生と置換制御をめざす医学・医療といえる。そこで、達成すべき学習目標を下記に挙げる。 ① 移植・再生医学について、講義、症例をとおして理解し説明できる ② 移植・再生医療に関する基礎的技能を臨床実習により習得する ③ 移植・再生医療の対象患者に対する治療方法の有効性と危険性を理解する ④ 移植の免疫学的分類、臓器（肝臓、腎臓、心臓、肺、皮膚、骨髄、角膜）移植における免疫学的特徴を理解する
目標	1) 輸血・造血幹細胞移植 ① 細胞調整施設（CPC）の機能と役割について説明できる ② CPCで調整される細胞の臨床応用について理解する ③ iPS細胞の作成方法を説明できる ④ iPS細胞を用いた医療の利点と欠点を理解する ⑤ 造血幹細胞移植の種類、適応を説明できる ⑥ 造血幹細胞移植の基礎的な技能を習得する ⑦ 患者に接し、造血幹細胞移植による治療の有効性と危険性を理解する 2) 臓器・組織移植 ① 臓器移植組織適合性の関係を説明できる ② 臓器移植後の拒絶反応の病態と発生時の病態を説明できる ③ 臓器移植の種類と適応を説明できる ④ 細胞移植の種類と適応を説明できる ⑤ 免疫抑制剤の種類、適応と副作用を説明できる ⑥ 臓器移植の社会的システムを説明できる ⑦ 臓器・細胞移植の基礎的な技能を習得する ⑧ 患者に接し、臓器・組織移植治療による有効性と危険性を理解する ⑨ 拒絶反応の機序、ドナー選択法について解説できる Snel1の法則、GVH、HVG、HLA判定法、MLR、免疫抑制剤の作用機序を解説できる 3) 生体材料・人工臓器 ① 生体材料の種類と適応を説明できる ② 生体材料の生体適合性を説明できる ③ 主な医用機器の種類と原理を説明できる ④ 主な人工器官・人工臓器の種類と原理を説明できる ⑤ 生体材料、医用機器、人工臓器の基礎的な技能を習得する ⑥ 患者に接し、生体材料・人工器官・人工臓器治療による有効性と危険性を理解できる
評価方法	定期試験（80%）、受講態度（20%）  本試験予定：2022年4月28日（木）2時限目 再試験予定：2022年6月16日（木）17：00～18：00
教科書・参考書	教科書： 輸血・造血幹細胞移植学：特に指定なし 臓器・細胞移植学：標準形成外科（医学書院） 生体材料・人工臓器学：小野尊睦 著 口腔外科学 1994（金芳堂） 第4版  参考書： 輸血・造血幹細胞移植学 ○全国国立大学附属病院輸血部会議 輸血医学カリキュラム委員会編 輸血医学（金芳堂） ○月本一郎 他著 小児輸血療法（南江堂） ○森下剛久 他著 造血幹細胞移植マニュアル（日本医学館） 臓器・細胞移植学 ○厚生省保健医療局臓器移植対策室 監修 脳死判定・臓器移植ハンドブック 1998/1999 ○日本移植学会、日本病理学会 編 ヒト移植臓器拒絶反応の病理組織診断基準：鑑別診断と生検標本の取扱（図譜）1998 ○Thomas E. Starzl, Ron Shapiro, Richard L. Simmons. Atlas of organ transplantation, over 1992 ○S. Thirn & H. Waldmann. Pathology and Immunology of Transplantation and Rejection. Blackwell Science 2001 ○B. D. Kahan & C. Ponticelli. Principle and Practice of Renal Transplantation. Martin Dunitz 2000 ○Ronald W. Busuttil, Goran B. Klintmalm. Transplantation of the liver, 1996 ○Howard, Idezuki, Ihse, Prinz. Surgical Diseases of the Pancreas. 3rd ed. Williams & Wilkins 1998 ○William A. Baumgartner, Bruce A. Reitz, Stephen C. Achuff. Heart and heart-lung transplantation, 1990 ○泌尿器科 Gabriel M. Danovitch. Handbook of Kidney Transplantation. 4th ed. Lippincott Williams & Wilkins

	<p>○高橋公太 編：腎移植のすべて、2009（メディカルビュー社・東京）  ○眼科診療プラクティス51巻 角膜移植とアイバンク（文光堂）  ○形成外科手術書（南江堂）  ○標準形成外科（医学書院）  生体材料・人工臓器学  ○上田 実 編：ティッシュ・エンジニアリング 初版 1999（名古屋大学出版会）  ○奥津芳夫、磨田裕 編：改訂新版 図説ICU 呼吸管理編 真興交易医書出版部2007年  ○3学会（日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔学会）合同呼吸療法認定士認定委員会編集 呼吸療法テキスト改訂第2版 克誠堂出版 2005  移植免疫学  ○Basic Medical Science 2nd Yearで推薦した本</p>
授業計画	<p>2022年2月18日（金）  1 時限目 造血幹細胞移植の臨床（呼吸器内科学：天野 逸人）  【C-1-1)-(1)-①-⑧、C-1-1)-(2)-①-⑥、C-3-2)-(1)-①-④、C-3-2)-(2)-①-④、C-3-2)-(3)-①-③、C-3-2)-(4)-①-④、D-1-1)-②】  2 時限目 移植免疫Ⅰ（免疫学：伊藤 利洋）  【C-3-2)-(2)-①、C-4-5)-②】  3 時限目 移植免疫Ⅱ（免疫学：伊藤 利洋）  【C-3-2)-(2)-④、C-3-2)-(3)-③】</p> <p>2022年3月3日（木）  1 時限目 整形外科領域における各種移植術の基礎と臨床（整形外科学（手の外科学講座）：面川 庄平）  【D-4-1)-④-⑥】  2 時限目 整形外科領域における再生医療の基礎と臨床（整形外科学：稲垣 有佐）  【D-4-1)-①-③】  3 時限目 角膜移植、人工角膜など（眼科学：辻中 大生）  【D-13-1)-①-③】</p> <p>2022年3月4日（金）  1 時限目 肝移植、小腸移植、膵島移植：概念、適応と術式（消化器・総合外科学：金廣 裕道）  【D-7-1)-⑥、⑩、D-7-4)-(5)-④、D-12-4)-(5)-④】  2 時限目 皮膚移植：概念、適応と術式（皮膚科・形成外科学：桑原 理充）  【F-2-9) - (1) -④】  3 時限目 皮膚及び外表異常における形成再建外科：概論（皮膚科・形成外科学：桑原 理充）  【D-3-4) - (8) -⑦】</p> <p>2022年3月8日（火）  1 時限目 口腔疾患における移植・再生Ⅰ（口腔外科学：柳生 貴裕）  【D-14-1)-③】  2 時限目 口腔疾患における移植・再生Ⅱ（口腔外科学：柳生 貴裕）  【F-2-12)-①-②】  3 時限目 心移植：概念、適応と術式（胸部・心臓血管外科学：福場 遼平）  【D-5-3)-②、⑨、⑪、D-5-4)-(1)-①】</p> <p>2022年3月17日（木）  4 時限目 腎臓移植：概念、適応と術式（透析部：米田 龍生）  【D-8-4)-(1)-⑥、F-2-13) -⑤-⑧】  5 時限目 臓器移植と社会システム（透析部：米田 龍生）  【F-2-13)-⑤-⑥】  6 時限目 E S細胞と組織幹細胞の生物学（発生・再生医学：栗本 一基）  【C-1-1)-(1)-②、C-2-3)-(1)-①、③、C-2-3)-(4)-①、D-1-1)-②】</p> <p>2022年4月4日（月）  1 時限目 肺移植：概念、適応と術式（胸部・心臓血管外科学：澤端 章好）  【D-6-1)-①-③】  2 時限目 小児の造血幹細胞移植（小児科学：石原 卓）  【D-1-1)-②、④、D-2-1)-③】 D-14-4) - (2) -①-②】</p>
学生へのメッセージ等	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			

教育スタッフ	コース担当講座：整形外科学
概要	1) 運動器疾患の原因の知識を得るため、機能解剖に精通し、病因および病態を理解して診断を組み立てる。 2) 整形外科疾患の診断をたてるため、系統的な検査方法や治療方法を理解する。
目標	1) 骨筋肉、神経血管の構造を理解する。 2) 骨筋肉、神経血管の非観血及び観血的治療の種類や方法を説明する。骨折や捻挫、脱臼さらに筋挫傷や、神経血管損傷に対する診断や保存的あるいは観血的治療について理解する。 3) 変形性関節症の病態と鑑別疾患について理解し、関節鏡を用いた手術や骨切り術、人工関節等の治療適応について説明出来る。 4) 脊椎疾患と末梢神経疾患の鑑別ができ、治療法を述べる事が出来る。 5) リハビリテーションの方法とその目的や有用性を述べる事が出来る。 6) 先天異常や小児整形外科疾患を分類し、理解する。 7) 関節リウマチの概念、症状、それに対する治療について説明出来る。 8) 四肢・脊椎外傷についての診断と対処方法が適切かつ迅速に行える知識を取得する。 9) スポーツ傷害の診断と治療について理解し、説明出来る。
評価方法	定期試験（90％）、受講態度（10％） 本試験予定：2022年4月26日（火）2時限目 再試験予定：2022年6月10日（金）17：00-18：00
教科書・参考書	教科書：標準整形外科学（医学書院）  参考書： 整形外科クルズス（南江堂） 整形外科シラバス（南江堂） 新図説臨床整形外科講座（メジカルビュー社） 図解整形外科診察の進め方（医学書院） 最新整形外科学大系（中山書店） Edmonson and Crenshaw : Campbell's Orthopaedics (Mosby) 足の臨床（メジカルビュー社） 肩の臨床（メジカルビュー社）
授業計画	2022年3月1日（火）  1時限目 膝関節・スポーツ傷害疾患 小川宗宏【B-1-6、D-4-3-2、D-4-4-1-2, 7】 2時限目 整形外科概論 田中康仁【D-4-1-1, 2, 3, 4, 5, 6、D-4-3-3】 3時限目 整形外科診断学 田中康仁【D-4-1-1, 2, 3, 4, 5, 7, 8、D-4-2-1, 2、D-4-3-1, 2】 4時限目 骨軟部腫瘍 朴木寛弥【D-4-4-3-1, 3】 5時限目 足関節疾患【反転授業】 谷口 晃【D-4-4-1-2, 7】 6時限目 小児整形 藤井宏真【D-4-3-1、D-4-4-1-2, 6】  2022年3月7日（月）  1時限目 リハビリテーション医学と運動器・骨系統疾患 城戸 顕【D-4-3-1、D-4-4-1-15、E-3-5-4】 2時限目 上肢1 面川庄平【D-4-4-1-2, 6, 7】 3時限目 上肢2 面川庄平【D-4-4-1-1, 8】  2022年3月8日（火）  4時限目 骨髄炎、骨端症 河村健二【D-4-4-2-1】 5時限目 末梢神経 清水隆昌【D-4-4-1-8】 6時限目 人工関節の現況 稲垣有佐【D-4-4-1-7、D-4-4-2-1、F-2-12-2】  2022年3月22日（火）  1時限目 股関節疾患 内原好信【D-4-4-1-5, 7】 2時限目 脊椎・脊髄疾患（1） 重松英樹【D-4-2-1, 2、D-4-3-1、D-4-4-1-9, 14】

	<p>3時限目 脊椎・脊髄疾患（2） 重松英樹【D-4-2-1, 2、D-4-3-1, 3、D-4-4-1-11, 12, 13、D-4-4-2-2、D-4-4-3-2】</p> <p>2022年4月4日（月）</p> <p>4時限目 関節リウマチ 原 良太【D-4-4-1-6】</p>
<p>学生へのメッセージ等</p>	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			

教育スタッフ	コース担当講座：耳鼻咽喉・頭頸部外科学 関連担当講座：放射線診断・IVR学
概要	1. 耳鼻咽喉科で取り扱う領域に関する基礎的知識を習得し、境界領域との関連性を理解する。 2. 感覚器を中心とした神経学について理解し、コミュニケーション障害の重要性を認識する。 3. 機能ならびに形態の修復を目的とした頭頸部外科学としての耳鼻咽喉科学を理解する。
目標	1. 耳の発生・構造と機能について把握し、整理する。 2. 耳疾患の一般症状を述べる。 3. 耳の検査法を分類、整理する。 4. 外耳、中耳、内耳、神経疾患について述べる。 5. 鼻の発生・構造と機能について把握し、整理する。 6. 鼻の一般症状を述べる。 7. 鼻の検査法を分類、整理する。 8. 鼻・副鼻腔疾患について述べる。 9. 口腔・咽頭の発生・構造と機能について把握し、整理する。 10. 口腔・咽頭の一般症状を述べる。 11. 口腔・咽頭の検査法を分類、整理する。 12. 口腔・咽頭疾患、唾液腺疾患について述べる。 13. 喉頭と気管・食道の発生・構造と機能について把握し、整理する。 14. 喉頭と気管・食道の一般症状を述べる。 15. 喉頭と気管・食道の検査法を分類、整理する。 16. 喉頭疾患、気管・食道疾患について述べる。 17. 顔面・頸部の解剖を理解し、疾患について把握し、整理する。 18. 音声言語障害に関し、検査法を整理し、リハビリテーションの重要性を認識する。
評価方法	定期試験（90%）、受講態度（10%）  本試験予定：2022年4月25日（月）4時限目 再試験日時：2022年6月9日（木）17：00～18：00
教科書・参考書	教科書：特に指定しない  参考書： ① 野村恭也 編著：新耳鼻咽喉科学 南山堂 ② 八木聰明ら編：新図説耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 Vol.1, 2, 3, 4, 5 メジカルビュー社 ③ Byron J. Bailey：Head and Neck Surgery—Otolaryngology 2nd ed volume 1, 2 Lippincott—Raven
授業計画	2022年3月7日（月） 4時限目 耳鼻咽喉科総論とめまい救急トリアージ（耳鼻咽喉科：北原 紘） 【D-14-3】-(1)-①② 【D-14-3】-(1)-① 【D-14-3】-(2)-①】  5時限目 耳鼻咽喉科から見ためまいの検査と治療（耳鼻咽喉科：北原 紘） 【D-14-1】-(1)-②⑤ 【D-14-1】-(2)-①】  6時限目 耳鼻咽喉科と音声言語医学（耳鼻咽喉科：望月 隆一） 【D-14-1】-(4) 【D-14-4】-(1)-⑩】  2022年3月14日（月） 4時限目 めまい疾患について（耳鼻咽喉科：山中 敏彰） 【D-14-3】-(2)-①】  5時限目 平衡生理と検査法（耳鼻咽喉科：山中 敏彰） 【D-14-2】-(1)】  2022年3月22日（火） 4時限目 甲状腺疾患（耳鼻咽喉科：榊井 貴史） 【D-12-3】-(2)-①】  5時限目 鼻・副鼻腔疾患（耳鼻咽喉科：山下 哲範） 【D-14-4】-(5)⑥⑦】  6時限目 頭頸部の画像診断（放射線・核医学科：宮坂 俊輝） 【D-14-4】-(2)-①②】  2022年4月5日（火） 1時限目 聴覚生理と検査法（耳鼻咽喉科：西村 忠己） 【D-14-2】-(1)】

	<p>2時限目 難聴疾患とその治療 (耳鼻咽喉科：西村 忠己) 【D-14-4)-(1)-①②】</p> <p>3時限目 口腔・咽頭・唾液腺疾患、顔面神経麻痺 (耳鼻咽喉科：岡安 唯) 【D-14-4)-(1)-⑧】</p> <p>4時限目 喉頭疾患と音声障害 (耳鼻咽喉科：上村 裕和) 【D-14-4)-(1)-⑩】</p> <p>5時限目 頭頸部腫瘍1 (耳鼻咽喉科：上村 裕和) 【D-14-4)-(2)-②】</p> <p>6時限目 頭頸部腫瘍2 (耳鼻咽喉科：木村 隆浩) 【D-14-4)-(2)-①】</p>
学生へのメッセージ等	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
浅田秀夫、新熊 悟、宮川 史、小川浩平、正嶋千夏、西村友紀、光井康博			
添付ファイル			

教育スタッフ	コース担当講座：皮膚科学
概要	皮膚科学は、皮膚に変化をきたす疾患をすべて扱う臨床医学であり、基礎とする領域は広く、解剖学、生理学、薬理学、衛生学、微生物学、免疫学、生化学、並びに内科、外科等の基礎的臨床医学の知識の上に成り立っている。特徴は、視覚に訴える点が多く、文字や言語でこれを伝達するには不向きな学問であるので、講義には臨床スライドを多用し、各皮膚疾患の特徴を解説するとともに、原因、病態についての理解を促す。
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 皮膚の構造について理解する</li> <li>2) 発疹、とくに原発疹の形態的特徴とその名称を把握する</li> <li>3) 自己免疫水疱症の種類・病態・治療法について説明できる</li> <li>4) 上皮系腫瘍・皮膚悪性腫瘍の種類・病態・治療法について説明できる</li> <li>5) 湿疹・蕁麻疹・薬疹の種類・病態・治療法について説明できる</li> <li>6) 角化症の種類・病態・治療法について説明できる</li> <li>7) 紅斑症・血管炎の種類・病態・治療法について説明できる</li> <li>8) 色素異常症・皮膚付属器疾患の種類・病態・治療法について説明できる</li> <li>9) 皮膚感染症の種類・病態・治療法について説明できる</li> <li>10) 皮膚感染症・アレルギーなどの皮膚科検査について理解する</li> <li>11) 外用療法・レーザー療法・光線療法など皮膚科治療について理解する</li> </ol>
評価方法	<p>定期試験（80％）、受講態度（20％）</p> <p>本試験予定：2022年4月28日（木）4時限目 再試験予定：2022年6月17日（金）17：00～18：00</p>
教科書・参考書	<p>教科書： 標準皮膚科学（第10版）（富田 靖 監修、医学書院） あたらしい皮膚科学（第3版）（清水 宏 著、中山書店）</p> <p>参考書： 最新皮膚科学大系（全20巻、中山書店） 皮膚科臨床アセット（全20巻、中山書店） 皮膚病理組織診断学入門（斎田 俊明 著、南江堂） Fitzpatrick's Dermatology in General Medicine, The McGraw-Hill Companies</p>
授業計画	<p>2022年3月10日（木）</p> <p>1時限目 皮膚の構造と発疹の見方（正嶋千夏） 【D-3-1）-①、D-3-1）-②、D-3-1）-③、D-3-3）-①】</p> <p>2時限目 紫外線と皮膚（光井博康） 【D-3-4）-（9）-①、D-3-4）-（9）-②】</p> <p>3時限目 皮膚科診断学（浅田秀夫） 【D-3-2）-①、D-3-2）-②、D-3-2）-③】</p> <p>2022年3月17日（木）</p> <p>1時限目 自己免疫性水疱症（新熊 悟） 【D-3-4）-（5）-①、D-3-4）-（5）-②、D-3-4）-（5）-③】</p> <p>2時限目 蕁麻疹、内臓疾患と皮膚病変（宮川 史） 【D-3-4）-（2）-①、D-3-4）-（2）-②、D-3-4）-（2）-③、D-3-4）-（3）-①】</p> <p>3時限目 美容皮膚科・美容外科（衣笠哲雄） 【F-2-9）-（1）-④、F-2-9）-（1）-⑥】</p> <p>2022年3月23日（水）</p> <p>3時限目 角化症、炎症性角化症【反転授業】（新熊 悟） 【D-3-4）-（6）-①、D-3-4）-（6）-②】</p> <p>4時限目 非上皮系腫瘍（小川浩平） 【D-3-4）-（8）-①、D-3-4）-（8）-②、D-3-4）-（8）-③、D-3-4）-（8）-⑥】</p> <p>5時限目 湿疹群（西村友紀） 【D-3-4）-（1）-①、D-3-4）-（1）-②】</p> <p>6時限目 上皮系腫瘍（福本隆也） 【D-3-4）-（8）-②、D-3-4）-（8）-④】</p>



学生へのメッセージ等

講義には皮膚科学の最新のエッセンスが凝縮されています。必ず出席してください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
鶴屋和彦			
添付ファイル			
教育スタッフ	コース担当講座：腎臓内科学 関連担当講座：腎臓内科学、呼吸器内科学、整形外科、脳神経内科学、小児科学、皮膚科学、耳鼻咽喉科学、総合医療学		
概要	膠原病・リウマチ性疾患とアレルギー疾患とを対象に、免疫システムの正常状態からの逸脱について具体例を挙げながら概説し、代表的な疾患の病態・診断・治療に関して、最近の知見を織り交ぜながら解説する。		
目標	臨床免疫学（免疫学の中で臨床医学の理解に必要な項目、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型アレルギー、自然免疫と獲得免疫など）を理解する。 膠原病：膠原病の疾患概念とその代表的な疾患（全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎/皮膚筋炎）や類縁疾患について理解する。 膠原病の多彩な症状について理解する。 抗核抗体の出現する疾患と代表的な抗体についての臨床的意義を知る。 膠原病類縁疾患の病態・診断法・治療法について理解する。 皮膚・腎臓・呼吸器・循環器・神経領域からの膠原病の症候と病態に基づく治療法について理解する。 関節リウマチ：代表的な膠原病で患者数が多い関節リウマチの病態と近年導入された生物学製剤による治療および整形外科による手術療法について理解する。 小児期に発症する若年性特発性関節炎の病態と治療を理解する。 関節炎を呈する多彩な疾患の鑑別診断について理解する。 血管炎：自己免疫によって惹き起こされる血管炎の成り立ちを理解する。 血管炎と血管炎に伴う腎障害の代表的なものについて、臨床症状、検査所見、経過、予後、治療を理解する。 アレルギー疾患：アレルギー性疾患の検査・治療法について理解する。 代表的なアレルギー疾患として気管支喘息を例に概念や病態生理に基づく治療法について理解する。 皮膚科・耳鼻科領域のアレルギー性疾患について理解する。		
評価方法	定期試験（100%） 本試験予定：2022年4月22日（金）2時限目 再試験予定：2022年6月6日（月）17:00～18:00		
教科書・参考書	教科書： 杉本恒明 編 内科学(第9版) 朝倉書店 阿部敏明 他 小児科学新生児テキスト(第3版) 診断と治療社 平山恵造 編 臨床神経内科学 南山堂 Rowland L. P. ed. Merritt's Textbook of Neurology 医学書院 瀧川雅浩 監修 標準皮膚科学(第10版) 中山書店 清水宏 著 あたらしい皮膚学(第3版) 中山書店  参考書： 上野征夫 著 リウマチ・膠原病診療ビジュアルテキスト 医学書院 Roitt Roitt's Essential Immunology. Blackwell Science Nelson Textbook of pediatrics (16th ed.) Saunders 月刊眼科診療プラクティス56巻 眼アレルギーの診療 文光堂 最新内科学大系(第78巻 皮膚の疾患) 中山書店 宮川幸子編 カラーアトラス「皮膚病変から診る膠原病」 全日本病院出版界 宮地良樹、竹原和彦編 膠原病・皮膚から内臓へ 診断と治療社		
授業計画	2022年3月11日（金） 1時限目 タイトル：関節リウマチとその他の膠原病 【E-4-3)-(1)①②③, E-4-3)-(2)①②③, E-4-3)-(3)①②③④, E-4-3)-(4)①②③④, E-4-3)-(5)①②③】 担当科：総合診療科 藤本 隆 内 容：関節リウマチ、およびその他の膠原病・膠原病類縁疾患の概要  2時限目 タイトル：関節リウマチと膠原病の治療 【E-4-3)-(2)①③, E-4-3)-(3)①③④, E-4-3)-(4)①②③, E-4-3)-(5)①②③】 担当科：総合診療科 藤本 隆 内 容：関節リウマチ治療薬の進歩と各免疫抑制薬の概説  2022年3月18日（金） 1時限目 タイトル：若年性特発性関節炎 【E-4-2) ②、E-4-2)①①, E-4-3)-(1) ②, E-4-3)-(1) ③, E-4-3)-(2) ④】 担当科：小児科学 石川 智朗 内 容：小児期に発症する膠原病の病態・診断・治療  2時限目 タイトル：耳鼻咽喉科のアレルギー疾患 【E-4-3)-(6) ①, E-4-3)-(6) ②, E-4-3)-(6) ③】 担当科：耳鼻咽喉科 太田一郎 内 容：耳鼻咽喉科領域のアレルギー疾患の病態・診断・治療  3時限目 タイトル：膠原病の肺病変 【E-4-2) ⑧, E-4-2) ⑨, E-4-3)-(2) ①, E-4-3)-(3) ②, E-4-3)-(4) ①,		

E-4-3)-(4) ②, E-4-3)-(4) ④, E-4-3)-(5) ①】  
担当科：呼吸器内科学 友田 恒一  
内 容：膠原病に合併する肺病変の症候・診断・治療

2022年3月25日(金)

1時限目 タイトル：薬疹

【E-4-2)-(4)、E-4-3)-(6)-①、E-4-3)-(6)-②、D-3-4)-(4)-①、D-3-4)-(4)-②】  
担当科：皮膚科学 浅田 秀夫  
内 容：皮膚科領域のアレルギー疾患の病態・診断・治療

2時限目 タイトル：膠原病の皮膚病変

【E-4-2) ④, E-4-3)-(1) ③, E-4-3)-(3) ②, E-4-3)-(4) ①, E-4-3)-(4) ②,  
E-4-3)-(5) ①, E-4-3)-(5) ②, E-4-3)-(5) ③】  
担当科：皮膚科学 小川 浩平  
内 容：膠原病に認められる皮膚病変の病態・診断・治療

3時限目 タイトル：膠原病と神経症状

【E-4-3)-(2) ④, E-4-3)-(3) ②, E-4-3)-(4) ②, E-4-3)-(4) ④, E-4-3)-(5) ①,  
E-4-3)-(5) ②】  
担当科：脳神経内科学 江浦 信之  
内 容：膠原病に合併する神経病変の症候・病態・治療

2022年4月8日(金)

1時限目 タイトル：関節リウマチの整形外科的診断と治療

【E-4-2) ⑩, E-4-3)-(1) ②, E-4-3)-(2) ①, E-4-3)-(2) ②】  
担当科：整形外科 原 良太  
内 容：整形外科の観点から、関節リウマチの診断および治療を概説

2時限目 タイトル：膠原病の腎病変【反転授業】

【E-4-2) ⑩, E-4-3)-(3) ①, ②, E-4-3)-(4) ①, ④, E-4-3)-(5) ①】  
担当科：腎臓内科学 鮫島 謙一  
内 容：膠原病に合併する腎病変についての病理学的診断・治療

学生へのメッセージ等

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	コース担当講座：教育開発センター、泌尿器科学 関連担当講座：大和漢方医学薬学センター、麻酔科学、産婦人科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科学		
概要	現代医療で必要とされる和漢薬について理解するため、漢方の考え方、基本用語、診断法、処方と漢方の副作用に関する基本的知識および技能を習得し、漢方処方の適正な漢方処方を行うことができる。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 漢方の歴史について概説できる。</li> <li>2) 現代医療の中での漢方の役割について説明できる。</li> <li>3) 漢方処方と「証」の関係について概説できる。</li> <li>4) 陰陽、虚実、寒熱、表裏、六病位、気血水について概説できる。</li> <li>5) 四診を理解し、実践できる。</li> <li>6) 主な方剤の構成生薬を説明できる。</li> <li>7) 漢方薬の主な副作用について説明できる。</li> <li>8) 漢方薬とEBMについて説明できる。</li> <li>9) 内科疾患における漢方療法を概説できる。</li> <li>10) 外科疾患における漢方療法を概説できる。</li> <li>11) 婦人科疾患における漢方療法を概説できる。</li> <li>12) 慢性疼痛疾患における漢方療法を概説できる。</li> <li>13) 泌尿器科疾患における漢方療法を概説できる。</li> </ol>		
評価方法	定期試験（80％）、受講態度（20％） 本試験予定：2022年4月25日（月）2時限目 再試験予定：2022年6月8日（水）17：00～18：00		
教科書・参考書	教科書： 学生のための漢方医学テキスト 編集：日本東洋医学会（南江堂）  参考書： 漢方医学 大塚敬節著（創元社） 漢方医学のABC 編集：日本医師会（医学書院）		
授業計画	2022年3月24日（木） 2限 漢方医学 基礎1（大和漢方医学薬学センター 三谷和男）【F-2-8）-⑬】  3限 漢方医学 基礎2（大和漢方医学薬学センター 三谷和男）【F-2-8）-⑬】  2022年3月24日（木） 4限 漢方医学 応用1（耳鼻咽喉・頭頸部外科学 岡安唯）【F-2-8）-⑬】 5限 漢方医学 応用2（耳鼻咽喉・頭頸部外科学 岡安唯）【F-2-8）-⑬】  2022年4月8日（金） 4限 漢方医学 発展1 泌尿器科疾患と漢方（泌尿器科学 鳥本一匡）【F-1-28）-①, ②, ③】 反転授業を行う。詳細については別途通知。 5限 漢方医学 発展2 婦人科疾患と漢方（産婦人科学講座教員）【F-2-8）-⑬】  6限 漢方医学 発展3 疼痛疾患と漢方（麻酔科学 木本勝大）【F-2-8）-④, ⑧】		
学生へのメッセージ等	コアカリキュラムの中にも「漢方薬の特徴や使用の現状について概説できる」が入っています。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：産婦人科 関連担当講座：総合周産期母子医療センター新生児集中治療部門
概要	1) 女性は新しい生命を育む性であるとの認識のもとに、その尊厳を守るために健全な生殖現象の成立に必要な生理機能とこれを阻害する因子を理解する。 2) 次世代を担う新しい生命の健やかな成長を守るために、妊娠・分娩・産褥という一連の生殖過程における母体および胎児・新生児の生理・病理を理解する。
目標	1) 視床下部-下垂体-卵巣系の内分泌学的調節機構について説明する 2) 妊娠成立に必要な要素を説明する 3) 月経周期による子宮内膜変化について説明する 4) 排卵のしくみを説明する 5) 妊娠反応について説明する 6) 分娩予定日あるいは妊娠週数の決定方法を述べる 7) 妊娠期間におこる母体生殖器の変化を説明する 8) 妊娠期間にみられる母体の全身性変化を説明する 9) 胎盤の機能を述べる 10) 初期胚の発生および胎児器官形成期について説明する 11) 妊婦の超音波断層法検査において得られる正常所見と代表的な異常所見を妊娠時期毎に列挙する 12) 超音波断層法以外の産科的画像診断法について説明する 13) 出生前診断の目的、方法および医学的・社会的問題点を列挙する 14) 胎児心拍モニタリングの評価方法およびそれに基づいた管理方針を説明する 15) 分娩第一期、第二期および第三期の定義を述べる 16) 分娩の三要素と正常分娩機転を説明する 17) 流産、子宮外妊娠および胎状奇胎の症状、病態、診断法、治療につき述べる 18) 多胎妊娠の種類、妊娠・分娩・産褥期それぞれに起こりやすい異常を述べる 19) 妊娠悪阻の病態、治療法を説明する 20) 妊娠高血圧症候群の病態、合併症、治療につき述べる 21) 主な内科疾患合併妊娠の病態と妊婦管理上の留意点を列挙する 22) 前期破水、切迫早産、早産の病態、診断法、治療につき述べる 23) 前置胎盤、常位胎盤早期剥離およびD I Cの病態、診断法、治療につき述べる 24) 胎位・胎勢の異常、診断法、分娩時の留意点を列挙する 25) 遷延分娩、分娩停止の原因、診断法、治療を列挙する 26) 分娩時出血、産道損傷の種類と診断法、治療法につき列挙する 27) 過期産における問題点を説明する 28) 正常産褥の経過を説明する 29) 乳汁分泌機序、乳汁の成分ならびに母乳哺育の意義を説明する 30) 産褥期における主な異常の病態、治療を列挙する 31) 胎児成熟度ならびに胎児生理機能検査を列挙する 32) 胎児循環の特殊性を説明する 33) 胎児主要臓器の胎内における形成過程について説明する 34) 新生児成熟徴候を述べる 35) 新生児の出生後の生理的变化を述べる 36) 低出生体重児の原因、管理法、予後について説明する 37) 新生児の主な病的症状を挙げ、その治療・管理法を説明する 38) 主な先天異常を列挙し、病態を説明する 39) 手術分娩（帝王切開、鉗子分娩、吸引分娩）の適応、方法、起こりうる障害を説明する 40) 妊婦に対する麻酔の留意点を説明する 41) 母体保護法に規定されている人工妊娠中絶術の適応を説明する 42) 超音波検査の原理および実際の手順を学習する 43) 妊婦に対する薬物投与上の注意点を理解する 44) 周産期医療の実態を理解する 45) 耐糖能が低下した妊婦である妊娠糖尿病に関して概説する
評価方法	定期試験（80%）、レポート（15%）、受講態度（5%） 本試験予定：2022年7月22日（金）2時限目 再試験予定：2022年9月12日（月）17：00～18：00
教科書・参考書	教科書： 病気がみえる 産科 医療情報科学研究所（編集）メディックメディア（発行） ウィリアムス臨床産科マニュアル メジカルビュー社  参考書： Williams Obstetrics, 24th ed. F. G. Cunningham他 著 McGrawhill社
授業計画	2022年5月6日（金） 1時限目 性周期と女性生殖内分泌・排卵（産婦人科学：川口龍二） 【D-9-1）-⑧、D-9-2）-(2)-①】  2時限目 妊娠の成立と維持・妊娠時の母体の変化（産婦人科学：川口龍二） 【D-10-1）-①②、D-10-2）-③、D-10-3）-①】

- 3時限目 胎児胎盤ユニット・分娩の三要素 (産婦人科学：川口龍二)  
【D-10-3)-②⑥】
- 4時限目 正常分娩の機序 (産婦人科学：川口龍二)  
【D-10-2)-①②、D-10-3)-④】
- 5時限目 妊娠初期の異常 (産婦人科学：川口龍二)  
【D-10-2)-①②、D-10-4)-①】
- 6時限目 胎児機能不全、胎児発育遅延、胎児胎盤機能診断法 (産婦人科学：川口龍二)  
【D-10-1)-③、D-10-4)-①、E-7-1)-④】

2022年5月19日(木)

- 1時限目 前置胎盤、常位胎盤早期剥離 (産婦人科学：市川麻祐子)  
【D-10-4)-②】
- 2時限目 分娩時期の異常、前期破水、羊水量の異常 (産婦人科学：市川麻祐子)  
【D-10-4)-②】
- 3時限目 多胎妊娠、ハイリスク妊娠、妊娠高血圧症候群 (産婦人科学：市川麻祐子)  
【D-10-4)-①】
- 4時限目 胎位・胎勢の異常、娩出力の異常、遷延分娩、分娩停止 (産婦人科学：竹田善紀)  
【D-10-4)-②】
- 5時限目 産科出血、産道損傷、産科手術学 (産婦人科学：川口龍二)  
【D-10-4)-④、D-10-5)-①②】
- 6時限目 周産期医療の実際 (産婦人科学：竹田善紀)  
【D-10-1)-④】

2022年5月24日(火)

- 1時限目 新生児学総論 (新生児集中治療部門：西久保敏也)  
【E-7-1)】
- 2時限目 正常産褥、産褥期の異常 (産婦人科学：山田有紀)  
【D-10-3)-⑤、⑥、D-10-4)-③】
- 3時限目 胎児超音波診断、妊娠と薬 (産婦人科学：岩井加奈)  
【D-10-1)-③、D-10-3)-⑧】
- 4時限目 産科感染症、母体保護法 (産婦人科学：長安実加)  
【D-10-3)-⑦、D-10-4)-⑤】
- 5時限目 新生児仮死と成熟児の呼吸障害 (新生児集中治療部門：釜本智之)  
【E-7-1)-⑤⑧】
- 6時限目 感染症、血液疾患 (新生児集中治療部門：西久保敏也)  
【D-1-4)-②④、D-10-4)-⑤】

2022年5月31日(火)

- 1時限目 低出生体重児の特徴 (新生児集中治療部門：内田優美子)  
【E-7-1)-⑦⑩】

学生へのメッセージ等

次世代を担う新しい生命の健やかな成長を守るためには必須な知識となる周産期の学習を、学生の皆様に解かりやすく、ご提供します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
浅川、三浦、若井、井上、八巻、玉本、穴井、武田（真）、吉井、本津、庄、小山、京谷、伊藤、佐伯、武田（麻）、國安、四宮、浦谷、山崎、平井			
添付ファイル			

教育スタッフ	コース担当講座： 放射線腫瘍医学 関連担当講座・部門： がんゲノム・腫瘍内科学、呼吸器内科学、医療情報部、放射線診断・IVR学、消化器・総合外科学、中央内視鏡部、薬理学、免疫学、疫学・予防医学、病理診断学、分子病理学、緩和ケアセンター、精神医学、中央臨床検査部、総合画像診断センター
概要	悪性腫瘍の診断、治療等、臨床における腫瘍学を総論的および各論的に修得するために、関連する分野の基礎医学から臨床医学までの広範な領域において、腫瘍を系統的に理解することを目標として、腫瘍に関する疫学、病理・病態、分子生物学、検診、検査、診断、外科療法、放射線療法の概要と適用、薬物療法（殺細胞性抗癌薬、分子標的治療薬、他）、ゲノム医療、免疫療法、緩和ケア、サイコオンコロジー、その他について総合的に学習する。
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 悪性腫瘍の診断から治療までの概要を理解して説明できる。</li> <li>2) 悪性腫瘍の集学的治療の概要、有用性を理解して説明できる。</li> <li>3) 悪性腫瘍の代表的な治療（外科療法、放射線療法、薬物療法等）の原則と概要を理解して説明できる。</li> <li>4) 放射線治療の基礎（物理学、生物学等）、原則、適用を理解して説明できる。</li> <li>5) 放射線の生体への影響と障害の概要を理解できる。</li> <li>6) 悪性腫瘍の治療におけるInterventional Radiology (IVR)の役割と実際を理解できる。</li> <li>7) 悪性腫瘍の薬物療法全般の原則と適用を理解して説明できる。</li> <li>8) 悪性腫瘍の化学療法（特に殺細胞性抗癌薬）の基礎、特徴、方法を理解し、代表的な疾患への適用を説明できる。</li> <li>9) 腫瘍の分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬の概要を理解して代表的な疾患への適用を説明できる。</li> <li>10) ゲノム医療の概要と適用の現状、遺伝子パネル検査の概要を理解できる。</li> <li>11) 腫瘍関連の緩和ケアの原則、歴史を理解し、症状マネジメントの基礎的知識を習得して説明できる。</li> <li>12) サイコオンコロジーの概要、不安・抑うつといった癌患者によくみられる精神症状と意識障害のひとつであるせん妄を理解して説明できる。</li> <li>13) 主要な悪性腫瘍の危険因子と予防に関する疫学的知見を理解して説明できる。</li> <li>14) 癌検診の目的、方法、現状、問題点等を理解して説明できる。</li> <li>15) 腫瘍マーカーの概要と臨床における有用性を理解し、選択法、評価法を習得して説明できる。</li> <li>16) 腫瘍の病理診断の概要、方法を理解して説明できる。</li> <li>17) 腫瘍の生物学、分子生物学、病理学の特徴と病態の概要を理解して説明できる。</li> <li>18) 腫瘍発生に関わる遺伝的要因の概要を理解して臨床への応用を説明できる。</li> <li>19) 腫瘍の生物学的悪性度に腫瘍-宿主相互作用が果たす役割を理解できる。</li> <li>20) 腫瘍に対する免疫の統合的制御機構を理解できる。</li> <li>21) 腫瘍の増殖進展と転移機転について理解して説明できる。</li> <li>22) 代表的な悪性腫瘍の標準的な治療方法全般（特に放射線治療等）について理解して概要を説明できる。</li> <li>23) 頭頸部癌、消化器癌の標準的な治療方法全般（特に放射線治療）を理解して概要を説明できる。</li> <li>24) 肺癌、乳癌、皮膚癌の標準的な治療方法全般（特に放射線治療）を理解して概要を説明できる。</li> <li>25) 婦人科腫瘍、泌尿器科腫瘍の標準的な治療方法全般（特に放射線治療）を理解して概要を説明できる。</li> <li>26) 脳腫瘍、血液腫瘍、骨軟部腫瘍の標準的な治療方法全般（特に放射線治療）を理解して概要を説明できる。</li> <li>27) 代表的な悪性腫瘍症例の画像診断、病期診断、治療方針決定等を自ら検討してまとめて発表できる。</li> </ol>
評価方法	試験による客観的評価（100%） 本試験予定：2022年7月25日（月）2時限目 再試験予定：2022年9月29日（木）17：00～18：00
教科書・参考書	教科書：特になし  参考書： 放射線腫瘍医学 ・やさしくわかる放射線治療学 日本放射線腫瘍学会 秀潤社 ・放射線治療計画ガイドライン2020年版 日本放射線腫瘍学会 金原出版 ・がん・放射線療法2017 大西洋、他 秀潤社 ・放射線基礎医学 第12版 青山喬、他 金芳堂 がんゲノム・腫瘍内科学 ・新臨床腫瘍学 改定第6版 日本臨床腫瘍学会編 南江堂 ・がん診療レジデントマニュアル 第8版、国立がん研究センター内科レジデント編 医学書院 薬理学 ・ラング・デール薬理学 丸善 ・New薬理学（改定第7版） 田中千賀子、他 南江堂 疫学・予防医学 ・科学的根拠にもとづく最新がん予防法 津金昌一郎 祥伝社新書 中央臨床検査部 ・腫瘍マーカーハンドブック（改訂版） 石井勝 医薬ジャーナル社
授業計画	2022年度  5月9日（月） 1時限目 悪性腫瘍の診断から治療までの概要と集学的癌治療（放射線腫瘍医学：三浦幸子1） 【C-4-6）-⑤、E-3-1）-①②③、E-3-2）-①②、E-3-3）-①】

- 2時限目 癌の外科治療の原則（消化器・総合外科学：庄 雅之） 【E-3-3)-②】
- 3時限目 薬物療法の原則・適用と支持療法（がんゲノム・腫瘍内科学：吉井由美）  
【E-3-3)-④⑥、F-2-8)-⑥】
- 5月12日（木）
- 4時限目 化学療法、免疫療法の現状と併用療法（呼吸器内科学：本津茂人）  
【D-6-4)-(9)-①、E-3-3)-④、E-3-5)-⑥、F-2-8)-⑥】
- 5時限目 分子標的治療、ゲノム医療の現状と展開（がんゲノム・腫瘍内科学：武田真幸1）  
【C-3-2)-(4)-⑤、D-6-4)-(9)-①、E-3-3)-④、F-2-8)-⑫】
- 6時限目 放射線治療の原則・適用、放射線の生体への影響・障害（放射線腫瘍医学：浅川勇雄1）  
【E-3-3)-③、E-6-1)-①②③④⑥⑦、E-6-2)-③④、E-6-4)-①、F-2-5)-③④】
- 5月16日（月）
- 4時限目 抗腫瘍薬の分類と概要（薬理学：京谷陽司） 【C-4-1)-⑦、E-3-3)-④、F-2-8)-⑥】
- 5時限目 免疫学的腫瘍制御理論と免疫療法（免疫学：伊藤利洋） 【C-3-2)-(3)-①③、C-3-2)-(4)-⑤】
- 6時限目 がんの危険因子と予防（疫学・予防医学：佐伯圭吾） 【B-1-4)-⑤、B-1-5)-①⑤】
- 5月18日（水）
- 4時限目 癌の増殖進展と転移機転（中央内視鏡部：小山文一） 【C-4-6)-⑥】
- 5時限目 臨床腫瘍学における臨床病理学の役割（病理診断学：武田麻衣子）  
【C-4-2)-①②③、C-4-6)-③、E-3-2)-③、F-2-3)-⑩、F-2-4)-①②】
- 6時限目 微小環境における腫瘍-宿主相互作用（分子病理学：國安弘基） 【C-4-6)-②】
- 5月27日（金）
- 4時限目 癌の緩和医療（緩和ケアセンター：四宮敏章）  
【E-3-3)-⑦、E-3-4)-②③、E-9-1)-⑦⑨⑩、F-2-8)-⑦、F-2-16)-①②③④⑤⑥】
- 5時限目 サイコオンコロジー（精神医学：浦谷光裕） 【D-15-2)-①】
- 6時限目 癌治療におけるIVR（放射線診断・IVR学：穴井 洋）  
【D-7-4)-(8)-⑧・⑨、D-8-4)-(9)-①、E-6-2)-①、E-3-3)-⑦、F-2-5)-④⑤、F-2-7)-④、F-2-16)-④】
- 6月3日（金）
- 1時限目 腫瘍学各論（治療全般～放射線治療）：脳、造血器（放射線腫瘍医学：八巻香織1）  
【D-1-4)-(4)-⑧⑨、D-2-4)-(10)-①、E-3-5)-①②】
- 2時限目 腫瘍学各論（治療全般～放射線治療）：頭頸部、消化器（医療情報部：玉本哲郎）  
【D-7-4)-(8)-①②⑥⑨⑩、D-14)-(2)-①②、E-3-5)-⑦⑬】
- 3時限目 腫瘍学各論（治療全般～放射線治療）：乳腺、皮膚（放射線腫瘍医学：八巻香織2）  
【D-3-4)-(8)-③④⑤、D-11-4)-(2)-①、E-3-5)-③⑩】
- 6月9日（木）
- 4時限目 放射線治療における放射線物理学と治療機器（放射線腫瘍医学：若井展英）  
【E-3-3)-③、F-2-5)-③】
- 5時限目 腫瘍学各論（治療全般～放射線治療）：肺、縦隔（放射線腫瘍医学：三浦幸子2）  
【D-6-4)-(9)-①③、E-3-5)-⑥】
- 6時限目 腫瘍学各論（治療全般～放射線治療）：婦人科、泌尿器（放射線腫瘍医学：浅川勇雄2）  
【D-8-4)-(9)-①②、D-9-4)-(3)-①②③、E-3-5)-⑧⑨】
- 6月15日（水）
- 2時限目 腫瘍学各論（治療全般～放射線治療）：骨軟部、緩和（放射線腫瘍医学：井上和也）  
【D-4-4)-(3)-①②③、E-3-5)-②、E-3-5)-④】
- 3時限目 腫瘍マーカー（中央臨床検査部：山崎正晴） 【E-3-2)-①】
- 6月16日（木）
- 4時限目 癌検診の意義（総合画像診断センター：平井都始子） 【B-1-4)-⑤】
- 5時限目 《反転授業1》 局所進行期悪性腫瘍症例の鑑別診断、病期診断、治療、有害事象についてのまとめと発表  
(放射線腫瘍医学：浅川勇雄3)  
【C-4-6)-⑤、E-3-1)-①②③、E-3-2)-①②③、E-3-3)-①③④、F-2-5)-②③④】
- 6時限目 《反転授業2》 進行期悪性腫瘍症例の鑑別診断、病期診断、治療、有害事象についてのまとめと発表



(がんゲノム・腫瘍内科学：武田真幸 2)  
【C-4-6)-⑤、E-3-1)-①②③、E-3-2)-①②③、E-3-3)-①④⑥⑦、F-2-2)-⑦、  
F-2-5)-②、F-2-8)-⑥⑫】

学生へのメッセージ等

特になし

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	<p>コース担当講座：公衆衛生学（責任者：今村 知明）</p> <p>教授：今村 知明            准教授：野田 龍也            講師：岡本 左和子            助教：西岡 祐一</p> <p>非常勤講師：甲田 勝康、康永 秀生、町田 宗仁、神奈川 芳行、小川 俊夫、赤羽 学、林 修一郎、佐野 友美</p>
概要	<p>1) 個体および集団を取りまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響を把握するため、社会と健康・疾病との関係や地域医療について学ぶ。</p> <p>2) 保健統計の意義と現状、疫学とその応用、疾病の予防について学ぶ。</p> <p>3) 生活習慣に関連した疾病の種類、病態と予防治療について学ぶ。</p> <p>4) 保健・医療・福祉と介護の制度の内容を学ぶ。</p> <p>5) 健康政策、医療政策について学ぶ。</p> <p>6) 医療経済・医療経営について学ぶ。</p> <p>7) 医療と医学研究における倫理の重要性を学ぶ。</p>
目標	<p>1) 健康、障害と疾病の概念を説明できる。</p> <p>2) 人口静態統計と人口動態統計を説明できる。</p> <p>3) 疾病の定義、分類と国際疾病分類（ICD）を説明できる。</p> <p>4) 疾病・有病・障害統計、年齢調整率を説明できる。</p> <p>5) 疫学の概念と疫学の諸指標について説明できる。</p> <p>6) 予防医学の考え方を理解でき、一、二、三次予防について概説できる。</p> <p>7) 生活習慣に関連した疾病を列挙できる。</p> <p>8) 生活習慣と肥満・高脂血症・動脈硬化の関係を説明できる。</p> <p>9) 生活習慣と糖尿病の関係を説明できる。</p> <p>10) 生活習慣と高血圧の関係を説明できる。</p> <p>11) 喫煙、飲酒など生活習慣と疾病の関係を説明できる。</p> <p>12) 医師の麻薬および向精神薬の取り扱いに関する法規を説明できる。</p> <p>13) 感染症の原因を知り、適切な処置法を述べることができ、その予防方法・対策方法を立案できる。</p> <p>14) 地域保健（母子保健、老人保健、精神保健、学校保健）を概説できる。</p> <p>15) 老人保健法に基づく保健事業を列記できる。</p> <p>16) 産業保健を概説でき関連法規（労働基準法、労働安全衛生法、労災保険法）を挙げるができる。産業医の職務を説明できる。</p> <p>17) 医師法と医療法の概説および医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。</p> <p>18) 保健・医療・福祉と介護の制度の内容について説明できる。</p> <p>19) 健康政策、医療政策についてについて説明できる。</p> <p>20) 医療経済・医療経営についてについて説明できる。</p> <p>21) 日本人の食事摂取基準と健康指標の関係を説明できる。</p> <p>22) 生態系の変化（生態循環、生物濃縮など）が健康と生活に与える影響（食品および有害物質、環境発癌物質、内分泌攪乱物質）を概説できる。</p> <p>23) 地球環境の変化と健康・疾病との関係（環境と適応、主体環境系、原因と保健行動、環境基準と環境影響評価、公害と環境保全）を概説できる。</p> <p>24) 生と死に関わる倫理的問題を列挙できる。</p> <p>25) 医の倫理と生命倫理に関する規範、ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言などを概説できる。</p> <p>26) インフォームド・コンセントの定義と必要性を説明できる。</p>
評価方法	<p>定期試験（75%）、受講態度（5%）、実習（20%）</p> <p>注）試験、実習の両方合格することを必須とする</p> <p>本試験予定 2022年7月29日（金）2時限目</p> <p>再試験予定 2022年9月28日（水）17:00~18:00</p>
教科書・参考書	<p>教科書：厚生統計協会編、『国民衛生の動向』最新版（毎年9月頃発行）</p> <p>参考書：</p> <p>1. 今村知明、康永秀生、井出博生 医療経営学（第2版）、東京：医学書院、2011</p> <p>2. 今村知明ら監修、公衆衛生がみえる 2022-2023、メディックメディア</p> <p>3. 中西 康裕、今村 知明 中堅どころ”が知っておきたい医療現場のお金の話：イラストでわかる病院経営・医療制度のしくみ メディカ出版</p> <p>その他、当教室指定図書（本学図書館）</p>
授業計画	<p>2022年5月11日（水）</p> <p>4時限目 公衆衛生概論（今村知明）</p> <p>○健康・疾病・障害の概念と社会環境、社会環境の変動と国民の健康について</p> <p>○日本の保健・医療、福祉・介護制度の特徴や地域保健・地域医療と医師の役割について</p> <p>【A-7-1）-①-⑤、⑦、B-1-1）-①-④、B-1-3）-①-⑦、B-1-7）-①-④】</p> <p>5時限目 社会と医療・衛生行政（今村知明）</p> <p>○行政の役割としくみ</p> <p>○衛生行政の光と影（薬害エイズやBSE問題）</p> <p>○医療圏、基準病床数、資源の有効利用と国民皆保険、全国保健所</p>

○人口構造の変化、疾病構造の変化  
【A-7-1）-③、A-8-1）-①-④、B-1-4）-①-⑤、B-1-8）-①-⑩、B-4-1）-⑧-⑨】

6 時限目 感染症対策、人口動態統計（今村知明）

- 感染症の疫学と流行状況について
- 1類感染症、2類感染症、3類感染症、4類感染症、5類感染症、指定感染症、新感染症
- 結核や主な感染症の疫学と流行状況、感染源・感染経路対策、感染者の人権への配慮
- 学校等における感染症、予防接種
- 感染症発生動向調査（サーベイランス）

【B-1-4）-①-⑤、B-1-8）-⑪-⑫】

2022年5月13日（金）

4 時限目 シミュレーション講義（今村知明）【反転授業】

- 公衆衛生上の重要な判断
- 個人による意見の相違
- 公人としての判断と私人としての判断

【A-1-3）-①-⑤、A-4-1）-①-③、A-4-2）-①-⑦】

5 時限目 保健医療論（今村知明）

- わが国における医療に関係する団体や医師としての関わりについて
- 社会保障制度のしくみについて
- 診療報酬の仕組みやこれがどのようにして決まるのかについて
- 混合診療の禁止と選定療養、先進医療

【B-1-8）-①、⑨-⑩】

6 時限目 医療保険制度（厚生労働省 林修一郎）

- 社会保障の概念、社会福祉、社会保険、公衆衛生と医療受給について
- 医療保険の種類と対象、公費医療の種類と対象
- 医療経済について
- 国民医療費、医療費負担と給付、医療の包括評価

【B-1-8）-②、⑧-⑩】

2022年5月18日（水）

1 時限目 福祉政策と医療・在宅医療、へき地医療、災害医療（野田龍也）

- 障害者福祉について（制度と障害者認定）
- 生活保護について（制度と生活保護での医療）
- 児童相談書の役割と児童虐待防止法
- 在宅医療、へき地医療、災害医療について

【A-7-1）-①-⑦、B-1-7）-①、④-⑥】

2 時限目 医療・衛生関係法規、診療録（西岡祐一）

- 医師法、医療法
- 刑法（秘密漏示の禁止、堕胎の禁止、虚偽私文書作成の禁止）
- 診療録、医療記録

【B-1-8）-⑤-⑦、⑩、B-2-1）-①-③、B-2-2）-①-③】

3 時限目 国際保健、国際疾病分類と様々な分類（厚生労働省 町田宗仁）（元WHO西太平洋地域事務局 渉外担当医官）

- 世界の保健・医療問題、国際保健・医療協力
- 国際連合（UN）、世界保健機関（WHO）、国際労働機関（ILO）、国連食糧農業機関（FAO）、国際協力機構（JICA）、政府開発援助（ODA）、非政府機関（NGO）
- 国際疾病分類
- ICD10と11
- 国際生活機能分類
- 他の国際分類やユニバーサルデザイン

【A-7-2）-②-⑤、B-1-4）-①、B-1-9）-①-②】

2022年5月27日（金）

1 時限目 奈良県の衛生行政（奈良県郡山保健所所長 水野文子）

- 衛生行政の体系と法律
- 結核対策にみる公衆衛生行政
- 奈良県の現状と取り組みなど

【A-7-1）-①-⑦、B-1-8）-⑪-⑫】

2 時限目 医療行政と地域医療・病院経営（地域での公立病院での立場から）（公立野辺地病院 一戸和成先生）

3 時限目 実習オリエンテーション（全教官）

○県内保健所、保健センター、保健研究センター・景観環境総合センターおよび厚生行政機関における実習内容と事前学習および実習諸注意

2022年6月3日（金）

4 時限目 医療経営（今村知明）

- 病院経営の現状、DPC制度、原価管理、減価償却
- 病院経営のポイント、社会制度と病院経営

【B-1-8）-⑨、B-4-1）-⑪】

5 時限目 医の倫理、倫理審査委員会（生命倫理管理室 伊藤雪絵）

- 医の倫理、インフォームドコンセント、倫理審査委員会

【A-1-1）-①-③、A-4-1）-①-②、B-3-1）-①-③】

6 時限目 医師と患者関係・末期患者への対応（医療事故、医事紛争も含む）（岡本左和子）

○医師と患者および家族との関係、末期患者への対応

【A-1-2）-①、④、A-5-1）-①、A-6-1）-①、B-1-8）-⑤、B-3-1）-①-⑤、B-4-1）-④-⑥、B-4-1）-⑧-⑩、⑬-⑭】

2022年6月15日（水）

4 時限目 産業保健（疫学・予防医学講座 教授 佐伯圭吾）

○現状と動向、業務上疾病の発生状況

○産業医と労働安全衛生管理

○管理体制、産業医の資格と職務、健康管理、作業環境管理、作業管理

○労働災害

【B-1-6）-④、B-1-8）-④、E-5-3）-（2）-③】

5 時限目 産業医（J R 東日本健康推進センター労働衛生科 担当部長 神奈川芳行）

○産業医について、産業衛生の目的

○産業保健分野における現状、産業保健現場における課題

○四管理一教育

【B-1-6）-④、B-1-7）-③、B-1-8）-④】

6 時限目 精神保健福祉、麻薬・向精神薬（野田龍也）

○現状と動向

○精神保健福祉相談、地域精神保健福祉活動

○精神障害者の保健・医療・福祉

○医師の麻薬および向精神薬の取り扱いに関する法規を説明できる

【A-7-1）-③、B-1-4）-⑤、B-1-5）-④-⑤、B-1-8）-⑬、B-3-1）-④】

2022年6月23日（木）

4 時限目 介護保険と地域包括ケアシステム（西岡祐一）

○保健・医療・福祉・介護の施設と機能

○在宅ケア、在宅医療、在宅介護

○地域包括ケアシステムについて

【B-1-7）-③-④、B-1-8）-②】

5 時限目 高齢者保健、生活習慣病（西岡祐一）

○高齢化・少子化社会・障害児（者）への対応

○廃用症候群、高齢者虐待

○高齢者の保健・福祉・介護

○地域保健福祉活動

○生活習慣とリスク

○ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善

【A-7-1）-③、B-1-5）-⑥、B-1-6）-④、B-1-7）③-④、B-1-8）-③】

6 時限目 環境保健（岡本左和子）

○公害健康被害補償制度

○環境基準、排出規制、環境モニタリング、環境影響評価（アセスメント）

○一般廃棄物、産業廃棄物、感染性廃棄物、リサイクル

【B-1-6）-①-③】

2022年6月27日（月）

4 時限目 食品保健・国民栄養（岡本左和子）

○国民栄養の現状と対策について

○国民健康・栄養調査など統計情報について

○食品の安全性や機能性、食生活指針などについて

【B-1-5）-②-④、B-1-8）-⑪】

5-6 時限目 小児保健（母子保健・学校保健）（関西医科大学 教授 甲田勝康）

○現状と動向

○出生、妊産婦死亡、死産、周産期死亡、新生児・乳児死亡、人工妊娠中絶

○母性保健

○小児の保健、新生児マスキリーニング、小児期のスクリーニング

○母子保健・学校保健の現状と動向

【A-7-1）-③、B-1-6）-④、B-1-7）-③】

2022年7月12日（火）

1 時限目 保健・医療・福祉の資源（西岡祐一）

○保健、医療、福祉の各種の社会資源

○施設：医療施設の数と役割、老人福祉施設の数と役割、障害福祉施設の数と役割

○従事者：各専門職の数と役割

【B-1-7）-②、B-1-8）-①-②】

2-3 時限目 C B T 対策講義（医療従事者の義務）（野田龍也）

○社会・環境と健康（健康概念、母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健）

○保健・医療・福祉・介護の制度（社会保障制度と医療経済、医療保険、介護保険、公費医療、医療関連法規、感染症法、予防接種、食中毒）

○国際保健

○診療情報と諸証明書（診断書、検案書、診断書、出生証明書、死産証書、死胎検案書、死亡診断書、死体検案書）

【A-7-1）-③、A-7-2）-②-⑤、B-1-4）-①、B-1-6）-①-④、B-1-7）-③、B-1-8）-①-②、④-⑩、B-1-9）-①-②、B-2-1）-①-③、B-2-2）-①-③】

	<p>実習オリエンテーション 2022年9月5日（月）  実習 2022年9月6日（火）－9月9日（金）  実習発表会 2022年10月5日（水） 出席必須</p>
学生へのメッセージ等	<p>医療や衛生行政の最前線で戦っておられる先生方を招いて、できるだけ現場での臨場感あふれる話をしておうと思っています。  他の大学ではこのような多様な人々の話を聞く機会さえ少ないと思っています。また、それら講師の方々の人間性も見所です。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
野上 恵嗣			
添付ファイル			

教育スタッフ	コース担当講座：小児科学
概要	小児科は単一臓器に関わる診療科ではなく、子ども全体を対象とする診療科である。小児科学講座では、知識としての小児科学だけではなく、実際に小児医療の現場に必要な基本的実践能力の修得を目指している。そこで、当講座では、日本小児科学会が提唱する「小児科専門医の医師像」を基盤に、学部学生に必要な到達目標を設定し、実践的な教育を行う。
目標	1、小児の特性(バイタルサイン等)、小児疾患の特性(先天の素因等)、小児診療の特性を理解し、説明できる。 2、患児―保護者―医療者関係を理解し、良好なコミュニケーションが築くことができる。 3、小児疾患に関わる社会的な問題(小児保健、虐待等)を理解し、説明できる。 4、多職種(看護、臨床心理士、ソーシャルワーカー等)によるチーム医療を実践できる。 5、リサーチマインドを持ち、小児科で遭遇する希有な難治疾患や確定診断のついていない疾患へアプローチできる。 6、子どもの保護者と協力して、子どもの発育・発達を総合的に支援できる。
評価方法	定期試験(100%) 本試験予定：2022年7月26日(火) 2時限目 再試験予定：2022年9月16日(金) 17:00-18:00
教科書・参考書	教科書：特に指定しない  参考書： NELSON: Textbook of Pediatrics (21th edition) (SAUNDERS) 内山 聖 他：標準小児科学 第8版(医学書院) 加藤 裕久 他：ベッドサイドの小児の診かた(南山堂) 小児内科編集委員会 他：小児疾患診療のための病態生理1、2、3(東京医学社)
授業計画	2022年5月10日(火) 1時限目 小児科学入門 (小児科：野上 恵嗣) 【E-7-2)-①④、E-7-3)-⑥⑦、E-7-4)-①③、F-3-5)-(8)⑥⑦】  2時限目 小児の神経疾患 (小児科：榎原 崇文) 【D-2-4)-(7)-①、D-2-4)-(9)-①、E-7-3)-⑦】  3時限目 小児の発達の遅れと発作症状 (小児科：榎原 崇文) 【E-7-2)-②、E-7-3)-①⑤⑧、F-1-7)-①②】  2022年5月17日(火) 1時限目 特別講演 (小児科)  2時限目 小児の発熱と発疹 (小児科：野上 恵嗣) 【E-2-4)-(1)-②③④⑦、E-2-4)-(2)-②、E-7-3)-⑦、F-1-1)-①②③、F-1-12)-①②③】  3時限目 小児の黄疸 (小児科：野上 恵嗣) 【E-7-1)-⑦、E-7-3)-⑦、F-1-24)-①②③】  2022年5月23日(月) 1時限目 小児の咳、喘息、呼吸困難 (小児科：荻原 建一) 【D-6-4)-(3)-③、E-7-3)-⑦、F-1-13)-①②③、F-1-15)-①②③】  2時限目 小児の嘔吐・下痢・腹痛 (小児科：田中 一郎(八尾市立病院副院長)) 【D-7-4)-(2)-⑧、D-7-4)-(3)-⑩⑫、E-7-3)-⑦、F-1-20)-①②③、F-1-21)-②③、F-1-22)-②③】  3時限目 小児の免疫機構・免疫不全症 (小児科：石原 卓) 【E-7-3)-③④】  2022年5月30日(月) 1時限目 小児の栄養と発育 (小児科：長谷川 真理) 【E-7-2)-①③、E-7-3)-②、F-2-11)-⑤、F-3-5)-(8)-⑤】  2時限目 小児の内分泌疾患【反転授業】 (小児科：長谷川 真理) 【D-12-4)-(2)-①②③、D-12-4)-(4)-④、E-7-3)-⑦】  3時限目 小児のアレルギー (小児科：長谷川 真理) 【E-4-3)-(6)-②③、E-7-3)-⑦】  注意：小児科各論の内容に関しては、他の領域別講義でも講義をおこなう。

	<p>内分泌：成長障害・成長ホルモン分泌不全性低身長、糖原病と低血糖（小児科：野上 恵嗣、長谷川 真理）          感染症：小児感染症・予防接種（小児科：武山 雅博）          消化器：小児の腸炎・消化不良症、小児の消化器疾患（小児科：古川 晶子）          呼吸器：小児の気管支喘息（小児科：荻原 建一）          血液：小児の赤血球系疾患、小児の白血病、小児の固形腫瘍、出血性疾患、血栓性疾患（小児科：野上 恵嗣、石原 卓）          腎・尿路系：小児における腎疾患、溶血性尿毒症症候群（小児科：石川 智朗）          移植・再生医学：小児の造血幹細胞移植（小児科：石原 卓）</p> <p>など</p>
<p>学生へのメッセージ等</p>	<p>医師として最低限必要な小児科領域の疾患及び小児期特有の発達を加味した治療の重要性を理解し、知識を習得してほしい。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
粕田承吾			
添付ファイル			

教育スタッフ	コース担当講座：法医学
概要	1) 社会における医療と法医学の位置づけ，医師の職業上の義務，医療事故が発生した場合の対処の仕方を修得するために，法医学にかかわる医師法，死体解剖保存法，刑事訴訟法などに関する法的な知識を理解する。 2) 死体検案とは何か，死因の判定，死亡時刻の推定の仕方，創傷の判別を修得し，死体現象について理解し，死体検案の仕方を理解する。 3) 異状死体とは何かを理解する。 4) 正しい死亡診断書および死体検案書の書き方を修得する。
目標	1) 医師の法的義務を列挙し，例示できる。 2) 医療事故に関連した基本的事項（行政処分，民事事件，刑事事件，司法解剖）を説明できる。 3) 死斑，死後硬直，体温の冷却などの死体現象および検案の仕方を説明できる。 4) 異状死体とは何か説明できる。 5) 様々な異状死体（溺死，焼死，窒息死，中毒など）の死体所見を説明できる。 6) 鋭器損傷や鈍器損傷など創傷の特徴を説明できる。 7) 死亡診断書と死体検案書の違いを説明でき，正確に記載することができる。
評価方法	記述試験の点数（80%），実習の評価（15%）および受講態度（5%）  本試験予定：2022年7月28日（木） 2時限目 再試験予定：2022年9月26日（月） 17:00～18:00
教科書・参考書	参考書： 死体検案ハンドブック 第4版 近藤稔和・木下博之 著 金芳堂 現代の法医学 改訂第3版増補 永野 耐造・若杉 長英 編集 金原出版
授業計画	2022年5月10日(火) 粕田 承吾 4時限目 法医学総論 【B-1-8）-⑥、B-2-1）-①②⑤、E-9-1）-①②】  5時限目 早期死体現象 【B-2-1）-②】  6時限目 後期死体現象 【B-2-1）-②】  2022年5月17日(火) 羽竹 勝彦 4時限目 窒息（縊頸） 【B-2-1）-②】  5時限目 窒息（絞頸、扼頸） 【B-2-1）-②】  6時限目 窒息（溺死、その他） 【B-2-1）-②】  2022年6月20日(月) 粕田 承吾 1時限目 損傷（鈍器） 【F-1-37）-①】  2時限目 損傷（鋭器） 【F-1-37）-①】  3時限目 損傷（銃器） 【F-1-37）-①】  2022年6月22日(水) 粕田 承吾 1時限目 嬰兒殺 【E-7-3）-⑥】  2時限目 児童虐待 【E-7-3）-⑥】  3時限目 乳幼児突然死症候群 【E-7-2）-④、E-9-1）-④】  2022年6月22日(水) 羽竹 勝彦 4時限目 頭部損傷 【D-2-4）-（4）-①②】  5時限目 中毒 【E-5-3）-（1）-③④⑤⑥】  6時限目 高齢者虐待 【E-8-1）-①】  2022年6月27日(月) 粕田 承吾 1時限目 焼死 【E-5-3）-（1）-②、E-5-3）-（2）-①、 E-5-3）-（3）-①】  2時限目 凍死、感電死 【E-5-3）-（2）-②、E-5-3）-（2）-④】



	<p>3時限目 内因性急死 【E-9-1）-③、E-9-1）-④】</p> <p>2022年7月1日(金)</p> <p>1時限目 交通外傷 (粕田 承吾) 【F-1-37）-①】</p> <p>2時限目 医事法学 (粕田 承吾) 【A-1-3）-⑤、A-6-2）-①②③、B-1-8）-⑥⑦、E-9-1）-⑤】</p> <p>3時限目 物体検査 (工藤 利彩) 【B-2-1）-④】</p> <p>2022年7月14日(木) 粕田 承吾</p> <p>1時限目 死体検案書の書き方【反転授業】 【B-2-1）-③、B-2-2）-③】</p> <p>2時限目 死体検案書の書き方【反転授業】 【B-2-1）-③、B-2-2）-③】</p> <p>3時限目 死体検案書の書き方【反転授業】 【B-2-1）-③、B-2-2）-③】</p> <p>実習期間 2022年10月17日(月)～10月21日(金)  アルコール検査、CO測定、死体検案書の作成等の実習を行う。  その評価を法医学統合試験の点数に反映する。</p>
学生へのメッセージ等	法医学は臨床医にとっても必要な知識です。将来必ず役に立つときが来ます。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：救急医学 関連担当講座：脳神経外科学、胸部・心臓血管外科学、整形外科、集中治療部
概要	1) 外傷・救急医学は内因・外因を問わず、緊急度判定を軸に救命と機能予後の向上を目的として救急病態に対応する医学であり、既存の臨床医学と比較して多様かつ時間依存性の高い学問体系であることを理解する。 2) 様々な救急病態に陥った患者に対して、治療優先順位を決定し、蘇生・初期治療から根治的治療までの時間をいかに短縮して治療効果をあげるかを理論的に説明でき、基本的な救急処置の技能を修得する。 3) 医療機関のみならず、現場から救急搬送されてくるまでの病院前救急を含めた救急医療体制を理解する。 4) 救急集中治療学の概念とその内容について理解を深める。
目標	<p>1. 救急医学総論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本邦での救急医学および救急医療システムの成り立ちから現状までの歴史を理解する。</li> <li>2) 重症度と緊急度の違いについて理解し、述べることができる。</li> <li>3) プレホスピタルケア、メディカルコントロール、救急救命士制度、救急告示医療機関、救急輪番制などの救急医療体制を理解する。</li> </ol> <p>2. 心肺停止および心肺蘇生法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 心肺停止状態について理解し、その病態を説明することができる。</li> <li>2) 心肺蘇生法の手順、電気ショック、器具を用いた気道確保、救急医薬品の使用法を理解する。</li> </ol> <p>3. 災害医療</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平時の医療と災害医療の違いについて述べるができる。</li> <li>2) 本邦での災害医療の歴史について理解する。</li> <li>3) トリアージについて理解し、述べるができる。</li> <li>4) 本邦での災害医療の成り立ちから現状について述べるができる。</li> </ol> <p>4. 集中治療医学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 集中治療の概要について理解し、述べるができる。</li> <li>2) 集中治療を要する病態について理解し、述べるができる。</li> <li>3) 多臓器不全の病態と診断、治療について理解する。</li> <li>4) 敗血症の病態把握・集中管理を理解する。</li> <li>5) 各種ショックの病態と治療について理解し、述べるができる。</li> </ol> <p>5. 内因性救急</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 循環器救急疾患の診断・治療・病態管理を理解する。</li> <li>2) 呼吸器救急疾患の診断・治療・病態管理を理解する。</li> <li>3) 腹部救急疾患の診断・治療・病態管理を理解する。</li> <li>4) 意識障害の診断・治療・病態管理を理解する。</li> </ol> <p>6. 外傷学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本邦の外傷学が欧米と比較して遅れた理由を理解し、今日における外傷学の必要性を理解することができる。</li> <li>2) 重症外傷に対する初期治療について理解し、述べるができる。</li> <li>3) 防ぎ得た外傷死:Preventable Trauma Death(PTD)について説明できる。</li> <li>4) 外傷の重症度を解剖学および生理学的に分けて説明できる。</li> <li>5) 出血性ショックの病態を説明できる。</li> <li>6) Japan Coma Scale、Glasgow Coma Scale を用いて意識状態を正しく判定できる。</li> <li>7) 重症頭部外傷の診断、治療を理解し、述べるができる。</li> <li>8) 頭蓋内圧亢進症状の把握と治療について理解する。</li> <li>9) 脳死状態を正しく説明できる。</li> <li>10) 顎顔面外傷の特徴を理解し、診断、治療について理解する。</li> <li>11) 耳鼻咽喉気道損傷の特殊性を理解する。</li> <li>12) 胸部領域の主な外傷とその病態・診断・初期治療を述べるができる。</li> <li>13) 腹部領域の主な外傷とその病態・診断・初期治療を述べるができる。</li> <li>14) 泌尿・生殖器外傷について理解する。</li> <li>15) 緊急を要する整形外科領域の外傷を列記できる。</li> <li>16) 頸髄損傷の病態、診断、治療を述べるができる。</li> <li>17) 重篤な骨盤外傷に対する治療戦略を理解し、骨盤骨折の重症度、死亡率、予後について理解する。</li> <li>18) 四肢主要動脈損傷・四肢切断の病態、診断、治療を述べるができる。</li> <li>19) コンパートメント症候群について病態・診断基準とその対処法を述べるができる。</li> <li>20) 開放性骨折の初期治療とその分類による治療方針について述べるができる。</li> <li>21) 脂肪塞栓症候群について理解することができる。</li> <li>22) 多発外傷の定義について理解し、述べるができる。</li> <li>23) 多発外傷患者における治療優先順位決定の重要性について理解する。</li> <li>24) 多発外傷患者の予後予測について理解する。</li> </ol> <p>7. 広範囲熱傷</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 広範囲熱傷の重症度(熱傷深度、熱傷面積)の判定方法を理解する。</li> <li>2) 広範囲熱傷における病態と治療について理解し、述べるができる。</li> <li>3) 熱傷創処置法、植皮術を理解し、コメディカルとの連携の必要性を理解する。</li> <li>4) 機能的予後を予測し、リハビリテーションの必要性を理解する。</li> </ol> <p>8. 急性中毒および他の外因救急</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 急性中毒の原因となる主要な薬物を述べるができる。</li> <li>2) 急性中毒の初期治療の適応と限界について理解することができる。</li> <li>3) 小児、高齢者に多い家庭用品誤飲について理解し、対処法を述べるができる。</li> </ol>

	4) 熱中症の病態と診断、治療について理解する。 5) 偶発性低体温症の病態と診断、治療について理解する。 6) 減圧症の病態と診断、治療について理解する。
評価方法	定期試験 (100%) 本試験予定: 2022年7月27日 (水) 4時限目 再試験予定: 2022年9月22日 (木) 17:00~18:00
教科書・参考書	参考書: ●救急診療指針:へるす出版(日本救急医学会編集) ●Emergency Medicine—A comprehensive study guide—5th Edition:Tintinalli JE 編著 McGraw-Hill (図書館指定参考書)
授業計画	2022年5月11日(水) 1時限目 救急医学総論(救急医学:福島 英賢) 【A-7-1)-⑤ A-7-1)-⑥ B-1-7)-5 B-1-7)-⑥ E-8-1)-⑫】  2022年5月11日(水) 2時限目 外傷学総論(救急医学:川井 廉之) 【F-1-37)-①, ②, ③】  2022年5月11日(水) 3時限目 胸部外傷(救急医学:小延 俊文) 【F-1-37)-①, ②, ③】  2022年5月23日(月) 4時限目 症候・緊急度判定(救急医学:福島 英賢) 【D-6-4)-① E-2-3)-①, ② E-4-3)-(6)-②, F-1-1)-(1), (5), F-3-5)-(2)-②, ④, ⑥, F-3-6)-(4)-①, ②】  2022年5月23日(月) 5時限目 心肺停止(救急医学:福島 英賢) 【D-5-4)-⑩ E-9-1)-④, F-1-1)-(6) F-3-6)-(4)-②】  2022年5月23日(月) 6時限目 脊椎外傷(救急医学:奥田 哲教) 【D-4-4)-(1)-①, ③, ⑩】  2022年6月7日(火) 1時限目 中枢神経系救急(救急医学:古家一 洋平) 【D-2-3)-①, ②, ③, ④, ⑤ D-2-3)-(2), (4) D-2-4)-(1) D-5-3)-⑥, ⑦, ⑧, ⑱ E-2-3)-③, ④, ⑯ F-1-7) F-1-8) F-1-9) F-1-33)】  2022年6月7日(火) 2時限目 急性中毒および環境障害(救急医学:福島 英賢) 【E-5-1) E-5-2) E-5-3)-(1) E-5-3)-(2)-①, ②, ④】  2022年6月16日(木) 1時限目 四肢外傷(四肢外傷センター:河村 健二) 【D-4-4)-(1)-①, ③, ④】  2022年6月16日(木) 2時限目 循環不全の病態と治療(胸部・心臓血管外科学:平賀 俊) 【C-4-4)-③ D-5-4)-(7)-②, ③】  2022年6月16日(木) 3時限目 頭部外傷(脳神経外科学:朴永銖) 【D-4-4)-(4)-②】  2022年6月24日(金) 1時限目 呼吸不全の急性期管理(集中治療部:恵川 淳二) 【D-6-4)-(1)-①, ② D-6-4)-(4)-②】  2022年6月24日(金) 2時限目 腎不全・肝不全の急性期管理(麻酔科学:西和田 忠) 【D-7-4)-(5)-③ D-8-3)-(1)-①, ② D-8-3)-(2)-①, ② D-8-4)-(4)-①】  2022年6月24日(金) 3時限目 急性腹症(救急医学:畑 倫明) 【D-7-4)-(3)-①, ②, ⑮ D-7-4)-(4)-② D-7-4)-(6)-1 D-7-4)-(7) F-1-20) F-1-22)】  2022年7月6日(水) 4時限目 腹部外傷(救急医学:瓜園 泰之) 【F-1-37)-①, ②, ③】  2022年7月6日(水) 5時限目 広範囲熱傷(救急医学:浅井 英樹) 【E-5-3)-(3), F-1-37)】  2022年7月6日(水) 6時限目 集中治療医学総論(集中治療部:後藤 安宣) 【C-4-4)-⑤ E-2-1)-①, ③, ④, ⑤, ⑥ E-2-4)-(2)-①, ②, ③ F-2-9)-(2)-⑩】

	<p>2022年7月11日(月)  1時限目 骨盤骨折 (救急医学:前川 尚宜)  【D-4-4)-(1)-①, ③】</p> <p>2022年6月 7日(火) 3時限目 予備  2022年7月11日(月) 2時限目 予備  2022年7月11日(月) 3時限目 予備</p>
学生へのメッセージ等	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
笠原 敬			
添付ファイル			

教育スタッフ	コース担当講座：感染症センター 関連担当講座：小児科学、泌尿器科学、健康管理センター、薬理学、病原体・感染防御医学、微生物感染症学
概要	感染症診療および感染対策の基本的考え方と実際を基礎的・臨床的に理解する。
目標	1. 感染症の三角形（患者背景、原因微生物、感染臓器）について理解し、考察できる。 2. 各種原因微生物（細菌、ウイルス、抗酸菌、真菌、寄生虫）による感染症の特徴と診断、治療を理解する。 3. 内科、小児科、皮膚科、泌尿器科などの各領域の感染症の病態と診断、治療を理解する。 4. 新興・再興感染症の疫学、病態、診断、および治療について理解する。 5. 各種抗微生物薬の特徴と使い方を理解する。 6. 医療関連感染症や職業感染の疫学と防止、ワクチンの有効性について理解し、実践できる。
評価方法	定期試験（100%） 本試験予定：2022年7月26日（火） 4時限目 再試験予定：2022年9月20日（火） 17：00～18：00
教科書・参考書	教科書 【感染症全般】UpToDate(R) <a href="http://www.uptodate.com">http://www.uptodate.com</a> （言わずと知れたUpToDate. 学生レベルならこれを読めばほぼ十分です） 【感染症全般】Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases, 8th ed Saunders John E. Bennett 他（編集）（英語ですが、臨床感染症の教科書の王様です） 【感染症全般】レジデントのための感染症診療マニュアル（第3版）医学書院 青木眞（著）（日本語の臨床感染症の教科書のバイブル的存在です） 【抗菌薬】抗菌薬の考え方、使い方 ver.4 中外医学社 岩田健太郎（著）（抗菌薬を学ぶ教科書のバイブル的存在です） 【小児科】小児科学新生児テキスト改訂（第3版）診断と治療社 阿部敏明 他 【小児科】小児感染症マニュアル 東京医学社 日本小児感染症学会 【小児科】小児感染免疫学 朝倉書店 日本小児感染症学会 【泌尿器科】TEXT泌尿器科（第3版）南山堂 奥山明彦（編集） 【泌尿器科】New 泌尿器科 改訂（第2版）南江堂 西沢理（著） 【薬理学】ラング・デール薬理学 丸善 渡邊直樹（著） 【薬理学】New 薬理学改訂（第7版）南江堂 田中千賀子（編集） 【寄生虫学】図説人体寄生虫学改訂（第10版）南山堂 寄生虫学会（編集） 【寄生虫学】寄生虫薬物治療の手引き 2020年改訂版 <a href="https://www.nettai.org">https://www.nettai.org</a>  参考書 【感染症全般】感染症専門医テキスト 南江堂 日本感染症学会（編集） 【感染症全般】感染症の診断・治療ガイドライン 日本医師会 厚生労働省健康局結核感染症課（監修） 【感染症全般】抗菌薬適正使用生涯教育テキスト 杏林舎 日本化学療法学会（編集） 【感染症全般】シュロスバーグの臨床感染症学 メディカル・サイエンス・インターナショナル David Schlossberg（著）、岩田健太郎（翻訳）（2018年に出版された比較的新しい教科書です） 【感染対策】ねころんで読めるCDCガイドライン 矢野邦夫 メディカ出版（シリーズ物で、No.1～No.4まであります。名前の通り、ねころんで読みましょう） 【感染対策】感染対策40の鉄則 坂本史衣 医学書院（聖路加国際病院で感染対策を実践している著者による力作です。読み応えがあります） 【抗菌薬】日本語版サンフォード感染症治療ガイド2020 ライフサイエンス株式会社（教科書というよりは、マニュアル的な存在です） 【抗菌薬】感染症プラチナマニュアル2021-2022 メディカル・サイエンス・インターナショナル 岡秀昭（著）（名前通り、マニュアルとしてかなり広い範囲をコンパクトに網羅しています） 【感染対策】ICDテキスト メディカ出版 ICD制度協議会（監修） 【小児科】Nelson Textbook of Pediatrics, 20th ed Elsevier Robert M. Kliegman 他（編集） 【泌尿器科】Campbell-Walsh Urology, 11th ed Elsevier Alan J. Wein 他（編集） 【泌尿器科】ベッドサイド泌尿器科学改訂（第4版）南江堂 吉田 修（監修） 【泌尿器科】JAID/JSC感染症治療ガイド2019 【泌尿器科】性感染症 診断・治療ガイドライン2020 【寄生虫学】寄生虫薬物治療の手引き 熱帯病治療薬研究班HP ( <a href="http://trop-parasit.jp">http://trop-parasit.jp</a> ) 【細菌学】Bacterial pathogenesis: a molecular approach ASM Press Abigail A. Salyers 他（編集） 【渡航医学】診療所で診るトラベルメディスン 日本医事新報社 大越裕文（著） 【渡航医学】キーストンのトラベル・メディスン メディカルサイエンスインターナショナル 岩田健太郎（監訳/訳） 【熱帯感染症】Atlas of Tropical Medicine and parasitology 6th Mosby Wallace Peters MD(London)（著） 【呼吸器感染症】呼吸器感染症治療ガイドライン 杏林舎 JAID/JSC感染症治療ガイド・ガイドライン作成委員会（編集） 【健康管理】医療機関における産業保健活動ハンドブック 公益財団法人産業医学振興財団 相澤好治（監修） 和田耕治（編著） 【新興再興感染症】輸入感染症 A to Z ver2 中外医学社 忽那賢志（著） 【HIV】HIV診療の『リアル』を伝授します 丸善出版 青木眞（協力） 福武勝幸・山元泰之（監修） 【HIV】抗HIV治療ガイドライン2021年3月. HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究班 <a href="https://www.haart-support.jp/pdf/guideline2021.pdf">https://www.haart-support.jp/pdf/guideline2021.pdf</a> 【HIV】HIV感染症治療の手引き 2020年11月発行 <a href="http://www.hiv.jp.org/guidebook/hiv_24.pdf">http://www.hiv.jp.org/guidebook/hiv_24.pdf</a>
授業計画	2022年5月13日（金）

	<p>1時限目 感染症概論（感染症センター：笠原 敬） 【E-2-1)-①～⑦、E-2-2)-①～⑧、E-2-3)-①～③、E-2-4)-(1)-①～⑩、E-2-4)-(2)-①～⑬、E-2-4)-(3)-①～④、E-2-4)-(4)-①～④、E-2-4)-(5)-①～③】</p> <p>2時限目 微生物概論と感染症検査（微生物感染症学：矢野 寿一） 【E-2-2)-②、E-2-2)-③、E-2-2)-④】</p> <p>3時限目 抗菌化学療法薬総論（薬理学：京谷 陽司） 【E-2-2)-⑤】</p> <p>2022年5月20日（金）</p> <p>1時限目 職業感染、ウイルス感染症（健康管理センター：古西 満） 【A-6-3)-①～⑤、E-2-4)-(1)-①～⑩】</p> <p>2時限目 小児感染症（小児科学：武山 雅博） 【E-7-3)-③、E-7-3)-④】</p> <p>2022年6月1日（水）</p> <p>1時限目 薬剤耐性菌総論（微生物感染症学：中野 竜一） 【E-2-1)-④】</p> <p>2時限目 呼吸器感染症（感染症センター：福盛 達也） 【D-6-4)-(2)-①～⑦】</p> <p>3時限目 菌血症・敗血症【反転授業】（感染症センター：福盛 達也） 【E-2-1)-①】</p> <p>2022年6月8日（水）</p> <p>1時限目 消化器・腹腔内感染症（病原体・感染防御医学：西村 知子） 【D-7-4)-(3)-⑫、D-7-4)-(4)-①～④、D-7-4)-(7)-①】</p> <p>2時限目 ワクチン（大阪医科薬科大学：小川 拓） 【E-2-2)-⑦】</p> <p>3時限目 新興再興感染症，新型コロナウイルス感染症（大阪大学大学院医学系研究科・医学部 感染制御学講座：忽那 賢志） 【E-2-1)-⑦、E-2-4)-(2)-⑫】</p> <p>2022年6月14日（火）</p> <p>1時限目 感染管理（感染症センター：今北 菜津子） 【A-6-1)-①～⑧、E-2-1)-③、E-2-4)-(5)-①～③】</p> <p>2時限目 皮膚軟部組織・骨関節感染症（感染症センター：今北 菜津子） 【D-3-4)-(7)-①～⑥、D-4-4)-(2)-①，②】</p> <p>3時限目 中枢神経系感染症・頭頸部感染症（堺市立総合医療センター：小川 吉彦） 【D-2-4)-(3)-①，②】</p> <p>2022年6月21日（火）</p> <p>1時限目 HIV感染症／AIDS（南奈良総合医療センター：宇野 健司） 【E-2-4)-(1)-⑥】</p> <p>2時限目 寄生虫感染症（病原体・感染防御医学：吉川 正英） 【E-2-4)-(3)-③、E-2-4)-(3)-④】</p> <p>3時限目 性器・尿路感染症（泌尿器科学：田中 宣道） 【D-8-4)-(5)-①、D-8-4)-(8)-②】</p> <p>学生へのメッセージ等 「感染症」は、微生物学や免疫学、薬理学や内科学などの知識と経験を総動員して「臓器横断的に」患者を診る学問です。手技は少ないですが、その分「アタマ」をフル回転して目の前の患者を診察します。また「感染対策」は、皆さんがどの診療科に行っても必要な知識と技能です。学生の皆さんの積極的な講義への参加と取り組みを期待しています！</p>
--	---

講義科目名称： 内分泌代謝栄養疾患

授業コード：

英文科目名称： Endocrinology, metabolism, and nutrition

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：糖尿病・内分泌内科学 関連担当講座：医師・患者関係学、腎臓内科学、循環器内科学、脳神経内科学、産婦人科学、眼科学、消化器内科学、小児科学、病理診断学
概要	1) 内分泌・代謝系の意義、調節機構を理解するために、恒常性維持における役割、内分泌腺とホルモンの調節機構並びに受容体の作用機構についての知識を修得する。 2) 内分泌疾患代謝疾患の病態、診断と治療について理解するために、内分泌・代謝系の破綻を来たす原因と診断に必要な検査法、治療についての知識を修得する。 3) 代謝・栄養疾患(糖尿病、肥満、脂質代謝異常、痛風その他)の病因と病態、及び診断と治療についての知識を修得する。 4) 代謝異常と栄養障害による疾患の診断と治療、並びに予防のための生活習慣について患者に指導ができる知識を修得する。
目標	1) 全身の恒常性維持における内分泌系の役割、意義について述べるができる。 2) 視床下部・下垂体系の調節機構について述べるができる。 3) 下垂体機能低下症の概念と病因ならびに診断と治療について述べるができる。 4) 先端巨大症、クッシング病など下垂体腫瘍の診断と治療について述べるができる。 5) 下垂体腫瘍の術前・術後の評価ができ、手術法が説明できる。 6) 下垂体後葉とバソプレシンの調節機構を概説し、尿崩症の診断と治療について述べるができる。 7) ADH分泌不適合症候群の病因と診断ならびに治療について述べるができる。 8) 低身長の原因と成長ホルモン分泌不全性低身長の診断と治療について述べるができる。 9) 甲状腺機能亢進症の鑑別診断と治療について述べるができる。 10) 甲状腺機能低下症の鑑別診断と治療について述べるができる。 11) 副甲状腺の機能、原発性副甲状腺機能亢進症、特発性副甲状腺機能低下症の診断と治療について述べるができる。 12) 甲状腺と副甲状腺疾患に対する外科的治療の適応と実際について述べるができる。 13) 副腎皮質におけるステロイド合成について概説し、副腎皮質機能低下症の診断と治療について述べるができる。 14) クッシング症候群、原発性アルドステロン並びに二次性アルドステロン症の診断と治療について述べるができる。 15) 副腎髄質のカテコールアミン調節機構、褐色細胞腫の診断と治療について述べるができる。 16) 副腎の腫瘍性疾患に対する外科的治療の適応とその実際について述べるができる。 17) 男子性腺機能低下症の鑑別診断と治療について述べるができる。 18) 糖尿病の概念と病型分類、診断基準を述べるができる。 19) 糖尿病の病型に応じた治療の実際を述べるができる。 20) 妊娠糖尿病の診断と糖尿病妊婦の血糖コントロールについて述べるができる。 21) 糖尿病網膜症の病期分類とその診断と眼科的治療について述べるができる。 22) 糖尿病性腎症の病態と予防および治療について述べるができる。 23) 糖尿病性神経合併症の診断から治療を述べるができる。 24) 脂質代謝異常症の病型分類と脂質代謝異常についてその病因から臨床症状、治療を述べるができる。 25) 脂質代謝異常症と動脈硬化の関連、虚血性心疾患および脳血管障害の予防を目的とした治療について述べるができる。 26) 肥満、メタボリックシンドロームの病態と治療について述べるができる。 27) 高尿酸血症と痛風の診断と治療について述べるができる。 28) 糖原病の病態、分類と病因について述べるができる。 29) 低血糖の病態、分類と診断について述べるができる。
評価方法	定期試験 (80%)、受講態度 (20%)  本試験予定：2022年7月22日 (金) 4時限目 再試験予定：2022年9月13日 (火) 17:00~18:00
教科書・参考書	参考書： Williams Textbook of Endocrinology 14th Ed. (Willson & Foster : Saunders) Endocrinology 3rd Ed. (Leslie J. DeGroot : Saunders) 内分泌代謝科専門医研修ガイドブック (日本内分泌学会編 診断と治療社) 糖尿病学－基礎と臨床 (門脇孝他 西村書店) 内科学 I・II (金澤一郎他編 医学書院) Harrison's Principles of Internal Medicine 20th Ed. Joslin's Diabetes Mellitus 13th Ed. (Kahn & Weir : Lea & Febiger) 糖尿病専門医研修ガイドブック (日本糖尿病学会編 診断と治療社)
授業計画	2022年5月20日 (金) 4限目 内分泌学総論 (糖尿病・内分泌内科学：高橋 裕) 【D-12-1)-①②⑥、D-12-2)-①②③④、D-12-3)-(3)-②】  5限目 糖尿病の概念と病型分類・診断 (医師・患者関係学：石井 均) 【D-12-1)-⑨、D-12-4)-(5)-①】  6限目 糖尿病の治療 (糖尿病・内分泌内科学：岡田 定規) 【D-12-4)-(5)-②③④】  2022年5月25日 (水)

	<p>4限目 視床下部・下垂体 (糖尿病・内分泌内科学：高橋 裕) 【D-12-1)-③】</p> <p>5限目 下垂体前葉疾患 (糖尿病・内分泌内科学：高橋 裕) 【D-12-4)-(1)-①②③④⑥】</p> <p>6限目 脂質異常症の診断と治療 (循環器内科：中田 康紀) 【D-12-4)-(6)-①②、D-12-1)-⑨】</p> <p>2022年5月26日 (木)</p> <p>4限目 甲状腺機能亢進症 (糖尿病・内分泌内科学：中島 拓紀) 【D-12-1)-④、D-12-3)-(2)-②、D-12-4)-(2)-①】</p> <p>5限目 甲状腺機能低下症 (糖尿病・内分泌内科学：中島 拓紀) 【D-12-4)-(2)-②③】</p> <p>2022年6月1日 (水)</p> <p>4限目 糖尿病性腎症 (腎臓内科：鮫島 謙一) 【D-8-4)-(6)-①】</p> <p>5限目 糖尿病と低血糖 (小児科：長谷川 真理) 【D-12-1)-⑨、D-12-4)-(5)-⑤】</p> <p>6限目 下垂体後葉疾患、SIADH (糖尿病・内分泌内科学：高橋 裕) 【D-12-4)-(1)-⑦】</p> <p>2022年6月8日 (水)</p> <p>4限目 副腎1 (糖尿病・内分泌内科学：高橋 裕) 【D-12-1)-⑤、D-12-4)-(4)-①②③④】</p> <p>5限目 副腎2 (糖尿病・内分泌内科学：高橋 裕) 【D-12-1)-⑤、D-12-1)-⑦】</p> <p>6限目 重金属代謝異常 (消化器内科：赤羽 たけみ) 【D-12-4)-(8)-①、D-12-4)-(9)-①②③】</p> <p>2022年6月14日 (火)</p> <p>4限目 脂質異常症と動脈硬化 (循環器内科：妹尾 絢子) 【D-5-4)-(7)-①】</p> <p>5限目 肥満とメタボリックシンドローム、痛風 (糖尿病・内分泌内科学：岡田 定規) 【D-12-1)-⑧⑨、D-12-2)-⑤、D-12-3)-(3)-①、D-12-4)-(7)-①②】</p> <p>6限目 乳腺・内分泌疾患の病理 (病理診断学：武田 麻衣子) 【D-12-4)-(10)-①②③】</p> <p>2022年6月17日 (金)</p> <p>4限目 成長障害、成長ホルモン分泌不全性低身長症 (小児科：野上 恵嗣) 【D-12-3)-(1)-①、D-12-4)-(1)-⑤】</p> <p>5限目 Ca代謝異常、副甲状腺疾患、骨粗鬆症 (糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子) 【D-4-4)-(1)-⑤、D-12-1)-④、D-12-4)-(3)-①②③④】</p> <p>6限目 男性性腺機能低下症 (糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子) 【D-9-1)-①、D-12-1)-⑦】</p> <p>2022年6月24日 (金)</p> <p>4限目 NET、MEN、APS (糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子) 【D-12-1)-⑥】</p> <p>5限目 糖尿病と妊娠 (産婦人科：長安 美加) 【D-10-4)-⑤】</p> <p>6限目 未知の病態に遭遇した時の考え方 (糖尿病・内分泌内科学：高橋 裕) 【一】</p> <p>2022年7月5日 (火)</p> <p>1限目 糖尿病性神経症 (脳神経内科：岩佐 直毅) 【D-2-4)-(5)-①】</p> <p>2限目 糖尿病性網膜症 (眼科：上田 哲生) 【D-13-4)-(1)-⑥】</p>
学生へのメッセージ等	<p>糖尿病・内分泌学では、インスリンをはじめとするホルモンによる全身の恒常性維持機構とその破綻による疾患について学びます。</p> <p>内分泌臓器から分泌されるホルモンには極めて精緻な制御機構があり内外のストレスに適切に応答することによって、心と体を調節しています。そして適切なホルモン分泌が起これなくなると様々な内分泌疾患が生じます。また種々の代謝栄養疾患、特に糖尿病の病態・合併症・治療について解説します。</p> <p>内分泌代謝学はロジックな学問ですので、知性と感性を磨いて楽しんでください。</p>



開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
吉本清巳			
添付ファイル			

教育スタッフ	教授：西尾健治 地域医療学教授：赤井靖宏 講師：吉本清巳 講師：大野史郎 非常勤講師：明日香村国民健康保険診療所 武田以知郎
概要	総合診療は、幅広い医療ニーズに対応する医療であり、新専門医制度から総合診療専門医が新設される。総合診療、総合内科として、どの診療科でも共通する医療面接、身体診察、臨床推論の理論と実践を理解する。家庭医療、在宅医療、災害医療、病院総合診療、感染症、Shared Decision Making (SDM)、Social Determinants of Health (SDH) など、総合診療に関わる医療について理解し、患者中心の医療・全人的医療について理解する。
目標	総合診療総論 1) 日本と世界の総合内科医、総合診療医、家庭医の現状について理解する。 総合診療各論 2) 医療面接、身体診察を理解し実践できる。 3) 頻度、重症度、緊急度を意識した臨床推論ができる。 4) 主訴、症状に応じて、頻度、重症度、緊急度を意識した鑑別診断が挙げられる。 5) 複雑、複数の臨床問題を抱える症例の対応について理解する。 6) 医療保険制度について理解する 家庭医療概論 7) 患者中心の医療の方法について、その考え方と技法について理解し、説明できる。 8) 家族志向のケア、生物心理社会的モデルについて理解する。 9) Shared Decision Making (SDM)について理解する。 10) Social Determinants of Health (SDH) について理解する 病院総合診療・感染症・海外支援 11) 総合診療でよく遭遇する感染症、その他熱帯感染症、旅行者感染症等について理解する。 12) 海外支援について理解する。 13) 災害現場での医療の特徴について説明できる。 14) 日本のDMAT活動について説明できる。 まとめ 15) 全人的医療の実際について理解する。
評価方法	評価方法 定期試験（85%）、受講態度（15%）  本試験予定：2022年7月25日（月）4限目 再試験予定：2022年9月15日（木）17:00～18:00
教科書・参考書	教科書 特に指定しない 参考書 新・総合診療医学(家庭医療学編) 藤沼康樹 カイ書林 新・総合診療医学(病院総合診療医学編) 徳田安春 カイ書林
授業計画	5月30日(月) 4限 総合診療総論 (総合医療学 西尾健治) 【A-1-1)①医の倫理と生命倫理、A-3-1)①～⑧全人的実践的能力、G-4-1)-(6)①～⑥総合診療科】  5限 医療面接 (総合医療学 吉本清巳) 【A-4-1)①～③コミュニケーション、C-5-7)①～⑧対人関係と対人コミュニケーション、F-3-2)①～⑤医療面接、F-3-3)①～④診療録(カルテ)】  6限 身体診察 (総合医療学 吉本清巳) 【F-3-1)①～④問題志向型システムと臨床推論、F-3-4)①②臨床判断、F-3-5)-(2)①～⑦身体診察、F-3-5)-(3)身体診察、F-3-5)-(4)身体診察、F-3-5)-(5)身体診察、F-3-5)-(6)身体診察、F-3-5)-(7)身体診察】  6月7日(火) 4限 病院総合診療について (総合医療学 吉本清巳) 【A-3-1)全人的実践的能力、A-5-1)①～④患者中心のチーム医療、G-4-1)-(6)①～⑥総合診療科、F-2-1)①～⑧臨床推論】  5限 「患者志向の総合診療をより充実させる新たな診療概念」 (地域医療学 赤井靖宏) 【A-1-2)①～④患者中心の視点、A-5-1)①～④患者中心のチーム医療、B-1-6)①～④社会・環境と健康】  6限 総合診療と感染症、Rural Generalist (総合医療学 大野史郎) 【A-7-1)①～⑦地域医療への貢献、A-7-2)①～⑤国際医療への貢献、E-2-2)①～⑧診断・検査・治療の基本、B-1-7)①～⑦地域医療・地域保健】

	<p>6月13日（月）</p> <p>4限 家庭医療、患者中心の医療、医療保険・介護保険制度（総合医療学 吉本清巳）  【A-1-2)①～④患者中心の視点、A-4-2)①～⑦患者と医師の関係、A-5-1)①～④患者中心のチーム医療、B-1-8①～⑬保健・医療・福祉・介護の制度、C-5-7)①～⑧対人関係と対人コミュニケーション学、G-4-1)-(6)①～⑥総合診療科】</p> <p>5限 地域医療について（明日香村国民健康保険診療所 武田以知郎）  【A-7-1)①～⑦地域医療への貢献、B-1-6)①～④社会・環境と健康、B-1-7)①～⑦地域医療・地域保健、G-4-1)-(6)①～⑥総合診療科、B-4-1)①～⑭医師に求められる社会性】</p> <p>7月1日（金）</p> <p>4限 臨床推論（1）【反転授業】（総合医療学 吉本清巳）  【A-9-1)①～⑤生涯学習への準備、F-2-1)①～⑧臨床推論、F-3-1)①～④問題志向型システムと臨床診断推論】</p> <p>5限 臨床推論（2）まとめ【反転授業】（総合医療学 西尾健治）  【A-9-1)①～⑤生涯学習への準備、F-2-1)①～⑧臨床推論、F-3-1)①～④問題志向型システムと臨床診断推論】</p>
<p>学生へのメッセージ等</p>	<p>外部講師の先生方の講義は、忙しい中来ていただきますので、積極的に出席してください。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：産婦人科学 関連担当講座：放射線診断・IVR学、病理診断学
概要	1) 女性が一生を通じて生活の質（QOL）を維持できるよう支援するために、女性生殖器の解剖と機能、および女性特有の内分泌生理、さらにはこれらに生ずる機能的ならびに器質的疾患について、思春期前期、思春期、性成熟期、閉経前期、閉経期、老年期という女性のライフサイクル毎に理解する。 2) 女性は新しい生命を育む性であるとの認識のもとに、その尊厳を守るために健全な生殖現象の成立に必要な生理機能とこれを阻害する因子を理解する。
目標	1) 生殖器の発生と分化について説明する 2) 女性生殖器の解剖を述べる 3) 視床下部-下垂体-卵巣系の内分泌学的調節機構について説明する 4) 月経周期による子宮内膜変化について説明する 5) 排卵のしくみを説明する 6) 女性生殖器における主な先天異常につき、発生機序、症状、治療法を列挙する 7) 卵巣機能障害や月経異常の原因、診断法、治療法を述べる 8) 不妊の原因、診断法、治療法を述べる 9) 不育症について説明する 10) 子宮筋腫の症状、病態、診断法、治療法を述べる 11) 子宮腺筋症の症状、病態、診断法、治療法を述べる 12) 子宮内膜症の症状、病態、診断法、治療法を述べる 13) 子宮頸部上皮異形成について説明する 14) 子宮頸癌の疫学、組織型、進行期別分類、診断法、治療法を述べる 15) 子宮内膜増殖症について説明する 16) 子宮体癌の疫学、組織型、進行期別分類、診断法、治療法を述べる 17) 骨盤内腫瘍性病変の鑑別診断を列挙する 18) 卵巣腫瘍の分類について説明する 19) 主な良性卵巣腫瘍の症状、診断法、治療法を述べる 20) 主な卵巣悪性腫瘍の病理学的特徴、診断法、治療法を述べる 21) 主な女性生殖器疾患の画像診断所見を列挙する 22) 放射線治療の適応、随伴障害を述べる 23) 癌化学療法について、使用される主な薬剤、副作用およびその対策を説明する 24) 骨粗鬆症の病態と女性ホルモンとの関係につき説明する 25) 更年期障害の症状、治療法を述べる 26) 性器脱の種類、症状、治療法を述べる 27) 漢方医学と西洋医学の融合に関する知識を習得する
評価方法	定期試験（80%）、レポート（15%）、受講態度（5%） 本試験予定：2022年7月28日（木）4時限目 再試験予定：2022年9月27日（火）17：00～18：00
教科書・参考書	教科書： 病気がみえる 婦人科・乳腺外科 医療情報科学研究所（編集）メディックメディア（発行） 標準産科婦人科学（標準医学シリーズ） 岡井 崇，綾部 琢哉 出版 医学書院  参考書： Berek and Novak's Gynecology, 15th ed. J. S. Berek他編 出版 Lippincott Williams & Wilkins
授業計画	2022年5月31日（火） 4時限目 女性生殖器の発育、形成、機能、生殖器の先天異常（産婦人科学：山田有紀） 【D-9-1）-⑥、⑦、D-9-2）-(2)-④、D-9-4）-(2)-①】  5時限目 性器脱、更年期障害、骨粗鬆症（産婦人科学：山田有紀） 【D-9-1）-⑨、D-9-3）-(3)-①、D-9-4）-(2)-②】  6時限目 不妊症、不育症（産婦人科学：山田有紀） 【D-9-4）-(2)-③】  2022年6月10日（金） 1時限目 卵巣機能障害と月経異常（産婦人科学：岩井加奈） 【D-9-2）-(2)-①、③、D-9-3）-(4)-⑤、D-9-4）-(2)-②】  2時限目 婦人科感染症、産婦人科漢方医学（産婦人科学：岩井加奈） 【D-9-4）-(2)-⑥】  3時限目 子宮筋腫・子宮腺筋症（産婦人科学：川口龍二） 【D-9-3）-(4)-①、②、③、D-9-4）-(2)-④】  4時限目 子宮頸部上皮異形成と子宮頸癌（産婦人科学：川口龍二） 【D-9-4）-(3)-③】

	<p>5時限目 子宮内膜増殖症と子宮体癌 (産婦人科学：川口龍二) 【D-9-4)-(3)-③】</p> <p>6時限目 産婦人科領域の画像診断 MRIを中心に (市立東大阪医療センター放射線科：高濱潤子) 【D-9-2)-(2)-②】</p> <p>2022年6月13日(月)</p> <p>1時限目 卵巣腫瘍 (産婦人科学：川口龍二) 【D-9-3)-(4)-②、③、D-9-4)-(3)-④】</p> <p>2時限目 子宮内膜症 (産婦人科学：川口龍二) 【D-9-4)-(2)-⑤】</p> <p>3時限目 産婦人科領域の病理学 (病理診断学：内山智子) 【D-9-4)-(3)-③、④、⑤】</p>
学生へのメッセージ等	女性生殖器の解剖と機能、および女性特有の内分泌生理、さらにはこれらに生ずる機能的ならびに器質的疾患を学び、女性が一生を通じて生活の質 (QOL) を維持できるよう支援可能となる知識を身につけましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
吉本清巳			
添付ファイル			
教育スタッフ	公衆衛生学講座 教授：今村知明 総合医療学講座 教授：西尾健治 総合医療学講座 講師：吉本清巳 非常勤講師：南奈良総合医療センター 在宅医療支援センター 明石陽介 健生会大福診療所 朝倉健太郎 天理よろづ相談所病院 在宅世話どりセンター 次橋幸男		
概要	本講義は2018年度から新設された講義である。在宅医療は古くから行われてきたが、1976年に病院死数が在宅死数を越え、日本では病院で最期を迎えるのが当然になりつつあった。しかし、高齢化社会を迎える現在、自分らしく自宅で最期を迎える在宅医療が再び見直されつつある。2000年から介護保険制度が開始され、多職種が関わるようになり、在宅で療養する仕組みが整備されるようになった。2006年の医療保険制度改正から在宅療養支援診療所制度が開始され、医療保険制度としても在宅医療に重点が置かれるようになり、現在は、地域包括ケアが推進され、医療政策的にさらに在宅医療を進める方向になっている。在宅医療は悪性腫瘍の緩和ケア・終末期医療、脳梗塞後の半身麻痺などだけではなく、神経難病、小児神経疾患などその幅は広がっている。本講義では、在宅医療について、その制度、現状について、実際に在宅医療を実践している講師による講義を交えて理解を深める。		
目標	在宅医療制度について理解する。 在宅医療の歴史や扱う疾患について理解する。 患者や家族が豊かな人生を送れるよう、家族指向でコミュニケーション重視の医療を理解する。 在宅医療における多職種連携について理解する。 在宅での看取りについて理解する。 地域包括ケアについて理解する。 クリニックが行う在宅医療について理解する。 大規模病院の在宅部門が行う在宅医療について理解する。 南和地域で行われている、地域を包括的にケアする在宅支援システムについて理解する。		
評価方法	評価方法 定期試験 (80%)、受講態度 (20%)  本試験予定：2022年7月25日 (月) 4限目 再試験予定：2022年9月15日 (木) 17:00～18:00		
教科書・参考書	特に指定しない		
授業計画	6月6日(月) 4限 地域包括ケアシステムと地域医療構想・計画 (公衆衛生学講座 今村知明) 【F-2-15 ①～⑦】  7月8日(金) 4限 在宅医療と看取り、在宅世話どりセンターの在宅医療【反転授業】 (天理よろづ病院 次橋幸男) 【F-2-15 ①～⑦、F-2-16 ①～⑥、E-9-1)①～⑩】  5限 在宅医療と多職種連携、クリニックの在宅医療【反転授業】 (大福診療所 朝倉健太郎) 【F-2-15 ①～⑦、A-4-1)、A-5-1)、B-4-1)①～⑭】  6限 在宅医療と地域医療、南奈良総合医療センターの在宅医療【反転授業】 (南奈良総合医療センター 明石陽介) 【F-2-15 ①～⑦、B-1-7 ①～⑦、A-7-1)①～⑦】		
学生へのメッセージ等	外部講師の先生方の講義は、忙しい中来ていただきますので、積極的に出席してください。 7月8日の講義では、実際の症例に基づいて、グループワークをします。 在宅診療について、予習をしてきてください。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	コース担当講座：口腔外科学 関連担当講座：分子病理学		
概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>種々の疾患における特徴的な口腔内所見と口腔管理の重要性について認識するために、医師として必要な顎口腔領域疾患および口腔機能障害に関する知識を理解する。</li> <li>口腔管理の重要性を認識するために、歯牙歯周疾患と他の疾患との関連性を理解する。</li> <li>がん治療における有害事象の軽減ならびに周術期における口腔管理の重要性を理解する。</li> <li>摂食・嚥下機能およびそのリハビリテーションにおける口腔機能の重要性を理解する。</li> </ol>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>口腔外科的疾患患者の診査・診断を実施する。</li> <li>口腔模型を作成し、口腔解剖について説明する。</li> <li>歯周病について理解し、口腔衛生指導の重要性について述べる。</li> <li>顎骨骨折の特徴を列記し、模型実習にて顎間固定を実施する。</li> <li>口腔外科手術に参加し、基本的な手術手技を修練する。</li> <li>病棟回診に参加し、口腔外科入院患者の疾患の特徴とその管理について説明する。</li> <li>顎顔面矯正学および口腔機能調査を実施し、その結果を説明する。</li> <li>咬合咀嚼機能と顎関節症について関連づけ、説明する。</li> <li>口腔悪性腫瘍および前癌病変について説明する。</li> <li>口腔領域の形成異常の成因について推論する。</li> <li>口腔領域の嚢胞性疾患、粘膜疾患、唾液腺疾患について具体的に述べる。</li> <li>歯原性腫瘍を列挙し、その特徴を説明する。</li> <li>口腔顎顔面再建について説明し、解説する。</li> <li>癌化学療法、放射線療法における口腔ケアの重要性について理解する。</li> <li>口腔疾患の病理ならびに分子生物学的事項について理解する。</li> </ol>		
評価方法	定期試験（90%）、受講態度（10%） 本試験予定：2022年7月27日（水） 2時限目 再試験予定：2022年9月21日（水） 17：00～18：00		
教科書・参考書	教科書： 全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議 編： 口の中がわかるービジュアル歯科口腔科学読本ー2017 クインテッセンス出版 第1版 白砂兼光・古郷幹彦 編：口腔外科学 2010（医歯薬出版）第3版  参考書： Kirita, T., Omura, K. : Oral Cancer. 1st. ed. 2015, Springer El-Nagger, A., Chan J. K. C., et al : WHO Classification, Head and Neck Tumours. 2017, IARC. Shah, J. P. : Oral Cancer. 1st. ed. 2003, Martin Dunitz Shah, J. P. : Head & Neck Surgery & Oncology. 4th. ed. 2012, Mosby. 石川悟朗：口腔病理学Ⅰ 1989（永末書店）第3版、口腔病理学Ⅱ 1982（永末書店）第2版 日本口腔腫瘍学会、日本口腔外科学会/編：口腔癌診療ガイドライン 2019金原出版 日本口腔腫瘍学会/編：口腔癌取扱い規約 2019（金原出版）第2版		
授業計画	2022年6月29日（水） 1限目 口腔粘膜疾患（山本一彦）【D-14-4)-(1)-⑨】 2限目 口腔潜在的悪性疾患と悪性腫瘍（桐田忠昭） 【D-14-4)-(2)-①, E-3-1)-③, F-3-5)-(3)-⑩, E-3-3)-①, E-3-3)-②, E-3-3)-③, E-3-3)-④】 3限目 歯牙外傷を含む顎顔面外傷（堀田 聡）【D-7-1)-⑬, D-4-4)-(1)-③】 4限目 顎関節疾患（川上哲司）【D-4-4)-(1)-②, D-14-3)-11)-①】 5限目 唾液腺疾患（桐田忠昭）【D-7-1)-⑬, D-14-4)-(1)-⑫】  2022年7月6日（水） 1限目 顎発育と異常（川上正良）【D-14-4-1)-⑨】 2限目 口腔顎顔面再建Ⅰ（桐田忠昭）【D-7-1)-⑭, D-14-4)-(1)-⑨, D-14-4)-(2)-①】 3限目 口腔顎顔面再建Ⅱ（桐田忠昭）【D-7-1)-⑭, D-14-4)-(1)-⑨, D-14-4)-(2)-①】  2022年7月7日（木） 4限目 摂食と嚥下機能（舘村 卓）【D-7-1)-⑭, D-14-3)-(2), E-8-1)-③, E-8-1)-⑦】 5限目 口腔疾患の病理（腫瘍・非腫瘍）（笹平智則（分子病理））【D-14-4)-(2)-①, F-3-2)-③】		

	<p>6限目 唾液腺疾患の病理（笹平智則（分子病理））【D-14-4）-(1)-⑫, D-14-4）-(2)-①, E-3-2）-③】</p> <p>2022年7月14日（木）</p> <p>4限目 顎口腔領域の先天異常（山川延宏）【D-14-1）-③】</p> <p>5限目 歯原性腫瘍・歯原性嚢胞（山川延宏）【D-7-1）-⑬】</p> <p>6限目 口腔疾患まとめ反転講義【反転授業】（桐田忠昭） 【D-7-1）-⑬, D-14-1）-③, D-14-4）-(1)-⑨, F-3-5）-(3)-⑥】</p>
<p>学生へのメッセージ等</p>	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：麻酔科学 関連担当講座：薬理学
概要	周術期や疼痛時の心身の危機的状況を緩和・制御するために、各種疾患の病態生理と麻酔・鎮痛薬の薬理とを理解し、安全で質の高い周術期管理と鎮痛法の基礎を修得する。
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 全身麻酔の要素を列挙できる。</li> <li>2) 術前評価の要点とその基本的対策を述べるができる。</li> <li>3) 麻酔前投薬の種類と特徴を列挙できる。</li> <li>4) 気道確保と人工呼吸の方法を述べるができる。</li> <li>5) 麻酔器と麻酔回路の基本的構造・機能と使用法を説明できる。</li> <li>6) 全身麻酔の種類と方法を述べるができる。</li> <li>7) 吸入麻酔薬の種類と特徴を列挙できる。</li> <li>8) 静脈麻酔薬の種類と特徴を列挙できる。</li> <li>9) 麻薬性鎮痛薬の種類と特徴を列挙できる。</li> <li>10) 筋弛緩薬の作用機序を説明し、その種類と特徴（適応と禁忌）を述べるができる。</li> <li>11) 局所麻酔薬の作用機序を説明でき、その種類・特徴と使用法を述べるができる。</li> <li>12) 脊椎麻酔、硬膜外麻酔の基本手技を述べ、両者の特徴と差異を列挙できる。</li> <li>13) 周術期の鎮痛法を具体的に説明できる。</li> <li>14) 麻酔に関連する合併症を列挙し、その基本的対処法を述べるができる。</li> <li>15) 麻酔時に各種モニタリングの適応を述べ、得られたデータを評価できる。</li> <li>16) 手術・麻酔中の呼吸・循環系および体液系の変化とその管理法を述べるができる。</li> <li>17) 急性痛、慢性痛、癌性疼痛の特徴と差異を列挙し、その基本的対処法を述べるができる。</li> <li>18) 痛みの伝達経路と疼痛抑制機構を説明できる。</li> <li>19) 神経ブロック療法の適応、方法、合併症を列記することができる。</li> <li>20) 癌性疼痛の病態と治療指針を述べるができる。</li> <li>21) 緩和医療の概念、方法を述べるができる。</li> </ol>
評価方法	定期試験（80％）、レポート（15％）、受講態度（5％） 本試験予定：2022年7月29日（金）4時限目 再試験予定：2022年9月14日（水）17：00-18：00
教科書・参考書	教科書：標準麻酔科学（第5版）：熊澤光生・弓削 孟・古家 仁（医学書院）  参考書： Anesthesia：Miller Churchill Livingstone（南江堂） 臨床麻酔レジデントマニュアル：古家 仁 編集（医学書院） 麻酔科診療プラクティス：稲田英一 編集（文光堂） ペインクリニック診断・治療ガイド 大瀬戸清茂 監修（日本医事新報社）
授業計画	<p>2022年6月30日（木）</p> <p>1時限目 全身麻酔薬、麻薬鎮痛薬（薬理学：中平毅一）【F-2-8-④、F-2-8-⑦、F-2-8-⑧、F-2-10-③】</p> <p>2時限目 全身麻酔薬、麻薬鎮痛薬（薬理学：中平毅一）【F-2-8-④、F-2-8-⑦、F-2-8-⑧、F-2-10-③】</p> <p>3時限目 局所麻酔薬・筋弛緩薬（薬理学：中平毅一）【F-2-8-④、F-2-8-⑧、F-2-10-③、F-2-10-⑥】</p> <p>4時限目 麻酔について（麻酔科学：川口昌彦）【F-2-10-①、F-2-10-④】</p> <p>5時限目 伝達麻酔（麻酔科学：藤原亜紀）【F-2-10-②、F-2-10-⑥】</p> <p>6時限目 気道管理（麻酔科学：阿部龍一）【F-2-10-②、F-2-10-⑦】</p> <p>2022年7月4日（月）</p> <p>1時限目 術前患者管理（麻酔科学：北口勝康）【F-2-10-②、F-2-9-(2)-⑤、F-2-9-(2)-⑥】</p> <p>2時限目 痛みとペインクリニック（麻酔科学：山上裕章） 【F-1-35-①、F-1-35-②、F-1-35-③、F-2-10-⑥】</p> <p>3時限目 術中モニタリング（麻酔科学：岩田正人）【F-2-9-(2)-②、F-2-10-⑦】</p> <p>2022年7月5日（火）</p> <p>4時限目 周術期合併症（麻酔科学：内藤祐介） 【F-2-9-(2)-③、F-2-9-(2)-⑤、F-2-9-(2)-⑦、F-2-9-(2)-⑧】</p> <p>5時限目 小児麻酔・産科麻酔（麻酔科学：位田みつる） 【F-2-9-(2)-③、F-2-9-(2)-⑤、F-2-10-②、F-2-10-⑦】</p>



	<p>6時限目 緩和医療 (緩和ケア：四宮敏章) 【F-2-16-①、F-2-16-②、F-2-16-③、F-2-16-④、F-2-16-⑤、F-2-16-⑥】</p> <p>2022年7月 8日(金)</p> <p>1時限目 心臓血管手術の麻酔 (麻酔科学：吉谷健司) 【F-2-9-(2)-③、F-2-9-(2)-⑤、F-2-9-(2)-⑦、F-2-10-②、F-2-10-⑦】</p> <p>2時限目 集中治療と急変対応 (麻酔科学：安宅一晃) 【F-2-9-(2)-③、F-2-9-(2)-⑧、F-2-9-(2)-⑨、F-2-12-①、F-3-6-(4)-①、F-3-6-(4)-②】</p> <p>3時限目 血管確保と安全管理 (麻酔科学：中川雅史) 【F-2-9-(2)-③、F-2-9-(2)-⑦】</p> <p>2022年7月 11日(月)</p> <p>4時限目 術後疼痛管理 (麻酔科学：中本達夫) 【F-2-9-(2)-③、F-2-9-(2)-⑤、F-2-9-(2)-⑧、F-2-10-⑥】</p> <p>5時限目 心肺蘇生法 (麻酔科学：下川 充) 【D-5-3-⑳、F-1-6-①、F-1-6-②、F-1-6-③、F-3-6-(4)-①、F-3-6-(4)-②】</p>
学生へのメッセージ等	周術期管理や疼痛管理の基礎を勉強しましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	<p><b>【教育スタッフ】</b></p> <p>&lt;病理診断学&gt;                  大林千穂(教授)・藤井智美(准教授)・武田麻衣子(講師)・伊丹弘恵(講師)・森田剛平(助教)・内山智子(助教)</p> <p>佐々木翔(診療助教)・中峯寛和(非常勤講師)・畠山金太(非常勤講師)</p> <p>&lt;分子病理学&gt;                  國安弘基(教授)・谷里奈(助教)・岸真吾(助教)</p>
概要	<p><b>【概要】</b></p> <p>病理学実習では、領域別に疾患を解説するとともに、各々の病理標本(主に日本病理学会コア画像)を用いて観察する。所見を描写・記載することで、診断のポイントを習得する。</p>
目標	<p><b>【一般教育目標 (GIO)】</b></p> <p>①正常組織を理解したうえで、何が、どの様に異常か知る。                  ②炎症疾患における組織反応や炎症細胞の形態的特徴や病態を理解する。                  ③腫瘍において構造や細胞の異型とは何かを理解する。                  ④各疾患の特徴的病理像を標本上に確認し、その所見を言葉で表現できる。                  ⑤形態学診断の限界を知る。                  ⑥免疫組織化学の意義や標本の判定方法を理解する。</p>
評価方法	<p><b>【評価方法】</b></p> <p>①領域別に実習標本の所見を記載したレポート(90%)。                  ②受講態度(10%)。                  ③口頭試験を課することがある。</p>
教科書・参考書	<p><b>【教科書・参考書】</b></p> <p>①青笹克之 編「解明病理学」(第2版)、医歯薬出版、2013                  ②鈴木利光 ほか監訳「ルービン病理学 - 臨床医学への基盤 -」、西村書店、2007                  ③小田義直 ほか監修「組織病理アトラス(第6版)」、文光堂、2015                  ④鷹橋浩幸 ほか監訳「ロビンス&amp;コトラン病理学アトラス」、エルゼビア・ジャパン、2009                  ⑤Kumar V, et al "Robbins Pathology", (9th ed.) Saunders Elsevier, 2014                  ⑥Rubin R, et al "Rubin's Pathology", (7th ed.) Wolters Kluwer, 2014</p>
授業計画	<p><b>【実習内容】</b></p> <p>2022年10月24日(月)</p> <p>1時限目 「上気道・喉頭」 大林 【E-3-5)-⑥、D-6-1)-③、D-6-4)-(2)】                  2時限目 「肺・縦隔・胸膜①」 【反転授業】 大林 【D-6-1)、D-6-2)-③、D-6-4)-(9)-①】                  3時限目 「肺・縦隔・胸膜②」 【反転授業】 大林 【D-6-1)、D-6-2)-③、D-6-4)-(9)-①】</p> <p>4時限目 「口腔・唾液腺」 松岡 【E-3-5)-⑬】                  5時限目 「食道・胃・消化管①」 國安 【E-3-5)-⑦、D-7-4)-(2)-③、D-7-4)-(8)-①、③】                  6時限目 「食道・胃・消化管②」 國安 【E-3-5)-⑦、D-7-4)-(2)-③、D-7-4)-(8)-①、③】</p> <p>2022年10月25日(火)</p> <p>1時限目 「尿路」 藤井 【E-3-5)-⑧、D-8-4)-(8)-①、②】                  2時限目 「男性生殖器」 藤井 【E-3-5)-⑧、D-9-4)-(3)-①】                  3時限目 「全身性疾患①」 武田 【E-3-2)-③】</p> <p>4時限目 「全身性疾患②」 武田 【E-3-2)-③】                  5時限目 「肝・胆・膵①」 森田 【D-7-4)-(5)-④、E-3-5)-⑦】                  6時限目 「肝・胆・膵②」 森田 【D-7-4)-(5)-④、E-3-5)-⑦】</p> <p>2022年10月26日(水)</p> <p>1時限目 「女性生殖器①」 内山 【E-3-5)-⑨、D-9-4)-(3)-③、④】                  2時限目 「女性生殖器②」 内山 【E-3-5)-⑨、D-9-4)-(3)-③、④】                  3時限目 「脳神経」 佐々木 【D-2-4)-(10)-①、E-3-5)-②】</p> <p>4時限目 「乳腺」 武田 【E-3-5)-⑩、D-11-4)-(2)-①、D-12-4)-(10)-①】                  5時限目 「骨・軟部」 武田 【D-4-4)-(3)-③】                  6時限目 予 備</p> <p>2022年10月27日(木)</p> <p>1時限目 予 備                  2時限目 「リンパ節・骨髄①」 中峯 【E-3-5)-①、D-1-4)-(4)-①~⑨】                  3時限目 「リンパ節・骨髄②」 中峯 【E-3-5)-①、D-1-4)-(4)-①~⑨】</p>

	<p>4時限目 「腎糸球体」 伊丹 【D-8-4)-(9)-①、E-3-5)-(⑧】  5時限目 「内分泌」 伊丹 【D-11-1)-(①, ②, ③、D-12-1)-(②】  6時限目 「循環器」 畠山 【D-4-4)-(3)-①, ③、D-5-4)-(11)-①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習場所は全て基礎棟5階組織実習室とする。(遠隔授業の場合がある。)</li> <li>・原則的に日本病理学会ホームページよりコア画像を閲覧する。</li> <li>・予定日と領域・担当教員は入れ替わることがある。</li> </ul>
<p>学生へのメッセージ等</p>	

講義科目名称： 行動科学Ⅱ

授業コード： I184180

英文科目名称： Behavior Science Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	コース担当講座：教育開発センター、精神医学講座 コーディネーター：精神医学講座教授 講義担当：精神医学講座、吉川左紀子（京都芸術大学学長・文明哲学研究所長・京都大学フィールド科学教育研究センター特任教授）		
概要	行動変容における理論と技法を修得するとともに、マルチモーダル・コミュニケーションについて学ぶ。		
目標	①動物を用いた行動研究を理解する。 ②精神疾患における行動異常を概説できる。 ③健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。 ④認知行動療法を説明できる。 ⑤心理教育を説明できる。 ⑥生活習慣病における患者支援（自律性支援）や保健指導を概説できる。		
評価方法	①受講態度（20%） ②レポート（80%）		
教科書・参考書	講義内で紹介予定。		
授業計画	行動科学Ⅱ-1 【A-4-1) ①, ②、A-4-2) ①～③、C-5-1) ①, C-5-8) ②, ③】 2022年4月11日（月）1時限～3時限 講師：吉川左紀子（京都芸術大学学長・文明哲学研究所長、京都大学フィールド科学教育研究センター特任教授）  行動科学Ⅱ-2 【A-4-1) ①, ②、A-4-2) ①～③、C-5-1) ①, C-5-8) ②, ③】 2022年4月11日（月）4時限～6時限 講師：本田美和子（独立行政法人国立病院機構東京医療センター総合内科医長）  行動科学Ⅱ-3 【D-15-1) ⑤、D-15-3) ④, ⑪, ⑫】 2022年4月13日（水）4時限～6時限 講師：山内崇平、鳥塚通弘、岸本直子（精神医学講座） 4限目～6限目のいずれかの時間に反転授業を行う。詳細については別途通知。  ※相当するコア・カリキュラム分類を記載している。		
学生へのメッセージ等			

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
石井 均、皆藤 章			
添付ファイル			

教育スタッフ	石井 均、皆藤 章		
概要	<p>授業の概要</p> <p>医療とは、医学を基礎とし、人の疾病の診断、治療、予防、健康の支援に努める術（アート、テクネー）である。それは元来、「癒しの術」とよばれた技術的・人間的行為であり、“医師－患者関係”を基盤に機能する臨床実践である。本講義は、医療行為に必要な不可欠なこの課題に向き合うために、関係のパラダイムを基盤にして、医師と患者双方の視点を織り交ぜながら実践的な学習をする。</p>		
目標	<p>授業のねらい</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病（やまい）と疾患の違いを知る：個人の体験としての病気とは（医師－患者関係学総論）</li> <li>2) 患者の話をも「聴く」ということ－それがもたらす効果について学習する。</li> <li>3) 臨床場面における医師の言葉と態度の重みを認識する。</li> <li>4) 患者の体験的視点から医師－患者関係を知る。</li> <li>5) 患者の話から物語（ストーリー）を汲みとる練習をする。</li> <li>6) 生命と「いのち」の違いを認識し、医師の姿勢を考える。</li> <li>7) 「臨床」の本来の意味、「臨床の知」について考える。</li> </ol>		
評価方法	出席および発表を前提とするので、授業理解度（80%）、レポート（20%）とする。		
教科書・参考書	<p>教科書</p> <p>推奨する教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石井均『糖尿病医療学入門－こころと行動のガイドブック』医学書院。教科書形式でまとまっているが、やや専門的。</li> </ul> <p>参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石井均編『病を引き受けられない人々のケア』医学書院</li> <li>－9人の識者との病と医師－患者関係をめぐる対話。</li> <li>・石井均『糖尿病診療よろづ相談』メジカルビュー</li> <li>－症例（治療法、合併症ごと）を通じて医師－患者関係を学ぶ。</li> <li>・河合隼雄『生と死の接点』岩波書店</li> <li>・アーサー・クラインマン『病の語り』誠信書房</li> <li>・皆藤章監修『いのちを巡る臨床』創元社</li> <li>・石井均他訳『糖尿病こころのケア』医歯薬出版</li> <li>・川喜田愛郎『医学概論』ちくま学芸文庫</li> <li>・中村雄二郎『臨床の知とは何か』岩波新書</li> <li>・アーサー・クラインマン『ケアのたましい』福村出版</li> </ul>		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
第1回	2022年5月26日（木） 1-3限 Aグループ 医師－患者関係（1）総説と各論、症例 医師－患者関係（2）いのちをめぐる医論、症例 患者が語る病の体験と医師－患者関係 【A-1-2②、A-1-3②③、A-4-2①③④⑥⑦】	講義と討論	石井 均 皆藤 章 患者さん
第2回	2022年6月2日（木） 1-3限 Bグループ 医師－患者関係（1）総説と各論、症例 患者が語る病の体験と医師－患者関係 医師－患者関係（2）いのちをめぐる医師－患者関係 【A-1-2②、A-1-3②③、A-4-2①③④⑥⑦】	講演と討論	石井 均 皆藤 章 患者さん
第3回	2022年6月9日（木） 1-3限 Aグループ 第1回の授業を受けての振り返り 【A-1-2②、A-1-3②③、A-4-2①③④⑥⑦】	講義と討論	石井 均 皆藤 章
第4回	2022年6月23日（木） 1-3限 Bグループ 第2回の授業を受けての振り返り 【A-1-2②、A-1-3②③、A-4-2①③④⑥⑦】	講義と討論	石井 均 皆藤 章
学生へのメッセージ等	医師を目指すにあたり、科学としての医学をしっかりと学習することは必須です。その一方で病を持つ人をケアするところをもち、病を持つ人の視点に立って診断、検査、治療が行えるよう、医師としての人間性を育てていく必要があります。そのことへの気づきと訓練の場としたいと思っています。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	関連担当講座：教育開発センター、循環器内科学、腎臓内科学、呼吸器内科学、消化器内科学、糖尿病・内分泌内科学、脳神経内科学、消化器・総合外科学、脳神経外科学、胸部・心臓血管外科学、整形外科、産婦人科学、精神医学、泌尿器科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科学、放射線診断IVR学、救急医学、口腔外科学、麻酔科学、放射線腫瘍医学、小児科学、総合医療学、がんゲノム腫瘍内科学、感染症センター、中央内視鏡・超音波部、総合画像診断センター、女性研究者・医師支援センター
概要	臨床実習に入る前に、患者本位の医療の実践を学習し、学生医（student doctor）として患者診察の基本を身につけ、本学附属病院の診療システムの概要を把握するために、臨床各科に共通する基本的臨床技能、知識、態度・習慣を修得する。詳細は最新版の「診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目」に準拠して行う。 1) 医療面接 面接技法の実習では、患者へのマナー、インタビュー（面接）技法の基本を理解し、臨床現場で実践できる。 2) 頭頸部診察 頭頸部・全身診察の実習では、頭部、頸部、全身的診察の基本を理解し、臨床現場で実践できる。 3) 胸部診察 胸部診察の実習では、胸部の診察の基本を理解し、臨床現場で実践できる。 4) 腹部診察 腹部診察の実習では、腹部の診察の基本を理解し、臨床現場で実践できる。 5) 神経学的診察 神経診察の実習では、神経系の診察の基本を理解し、臨床現場で実践できる。 6) 基本的臨床手技 基本的臨床手技実習では、簡単な皮膚切開・縫合の基本を理解し実践できる。 7) 蘇生・呼吸管理 蘇生呼吸管理実習では、救急蘇生と呼吸管理の基本を理解し実践（モデル人形など）できる。 8) 四肢脊柱診察 四肢脊柱診察実習では、四肢と脊柱診察の基本を理解し実践できる。
目標	1) 医療面接 a. POSに従って面接を進め、面接で得るべき用件を述べることができる。 b. ロールプレイにより学生同士および模擬患者（SP）でインタビューを実践できる。 c. 症例のシナリオに従って、医療面接をロールプレイで実践できる。 d. 患者に対する質問法、医師の応答の類型を述べるができる。 2) 頭頸部診察 a. 頭頸部・全身の診察を行うにあたり患者への配慮が出来る。 b. 体格、皮膚、四肢の視診、触診が正しくできる。 c. 眼球結膜、口腔内の診察が正しくできる。 d. 頸部、鎖骨上窩、腋下部リンパ節、甲状腺の触診が正しくできる。 3) 胸部診察 a. 胸部の診察を行うにあたり患者への配慮が出来る。 b. 的確にバイタルサインを把握できる。 c. 胸部の視診、打診、触診が正しくできる。 d. 呼吸音、心音の聴診が正しくできる。 4) 腹部診察 a. 腹部の診察を行うにあたり患者への配慮が出来る。 b. 腹部の視診、聴診、打診が正しくできる。 c. 腹部の触診（肝臓、腎臓、脾臓）を正しく進めることができ、筋性防御、腹水などの重要な所見を指摘できる。 5) 神経学的診察 a. 神経系の診察を行うにあたり患者への配慮が出来る。 b. 脳神経の診察が正しくできる。 c. 上肢、下肢の深部反射、病的反射の診察が正しくできる。 d. 運動神経、感覚神経の診察が正しくできる。 6) 基本的臨床手技 a. 清潔操作を実践できる。 b. 皮膚消毒ができる。 c. 簡単な皮膚の切開と縫合を行うことができる（モデル実習）。 7) 蘇生・呼吸管理 a. 意識、呼吸状態の確認が出来る。 b. 人工呼吸を正しく実践できる（モデル人形）。 c. 心マッサージを正しく実施できる（モデル人形）。 d. 蘇生・呼吸管理の基本的技能を正しく実践できる。 8) 四肢脊柱診察 a. 脊柱、上肢、下肢の診察が正しくできる。
評価方法	実習態度（100%）
教科書・参考書	教科書： 臨床手技実習ガイドラインを用いる。 「診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目」 共用試験OSCE教育・学習用DVD（実習期間中閲覧可能）

	<p>参考書：</p> <p>(1) 内科診断学：武内重五郎著、南江堂</p> <p>(2) A Guide to Physical Examination and History Taking：Barbara Bates, Lippincott</p> <p>(3) 新外科学体系：中山書店</p> <p>(4) 図説 救急医学講座：メディカルビュー社</p>
授業計画	<p>2022年9月12日～9月29日の間の11日間で行う。 共用試験実施機構のOSCE学習評価項目に準拠した学習をする。</p> <p>少人数グループに分かれて下記項目をローテーションする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療面接（教育開発センター、ロールプレイと模擬患者）</li> <li>2. 頭頸部（耳鼻咽喉・頭頸部外科学）</li> <li>3. 胸部（心臓、肺）・バイタルサイン（循環器内科学と呼吸器内科学）</li> <li>4. 腹部（消化器内科学）</li> <li>5. 神経診断（脳神経内科学）</li> <li>6. 蘇生・呼吸管理（救急医学、麻酔科学）</li> <li>7. 基本的臨床手技・清潔操作、縫合、抜糸、血管確保（外科学4講座のいずれか）</li> <li>8. 四肢、脊柱（整形外科）</li> </ol> <p>1～8は診断学実習ガイドラインに準拠する。</p>
学生へのメッセージ等	<p>実習期間中に欠席のないように、健康管理に気を付けて下さい。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
池邊 寧			
添付ファイル			

教育スタッフ	池邊 寧（奈良医大教養教育部門）、松田明子（奈良医大看護学科）、瀬戸山晃一（京都府立医大）		
概要	医療と医学研究における倫理の重要性を理解するためには、具体的な事例において倫理的な問題点の所在を認識することが重要である。本講義では、事例検討を通じて、問題解決をはかるための基本的な知識・技能・態度を身につける。		
目標	1) 臨床実習に臨む医学生にふさわしい倫理的態度を説明し、演じられる。 2) 医療倫理の歴史と現状について説明できる。 3) 医療倫理の基礎と理論について説明できる。 4) 医療における倫理的な諸問題について説明できる。 5) 医療倫理にかかわる具体的な事例を分析し、自分で対応策を立てることができる。 6) 多様な価値観に理解を示し、グループ討論を通して妥当な判断を導き出すことができる。		
評価方法	受講態度（50%）、レポート（50%）		
教科書・参考書	教科書 使用しない。適宜、プリントを配布する。  参考書 講義中に紹介する		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 2022年10月3日（月） オリエンテーション 【A-1-1-②、A-1-3-③, ④】	講義	池邊 寧
	第2回 2022年10月3日（月） 事例検討のあり方について（1）－看護学の視点から－ 【A-5-1-②, ③】	講義	松田明子
	第3回 2022年10月3日（月） 事例検討のあり方について（2）－倫理学の視点から－ 【A-1-3-②、A-4-2-③】	講義	池邊 寧
	第4回 2022年10月4日（火） 事例検討 【A-2-1-③, ④、A-2-2-①, ②】	グループワーク	池邊 寧
	第5回 2022年10月4日（火） 事例検討のあり方について（3）－法と臨床倫理の視点から－ 【A-1-2-②, ③、A-1-3-⑤、A-4-2-④】	講義	瀬戸山晃一
	第6回 2022年10月4日（火） 総合討論 【A-2-1-③, ④、A-2-2-①, ②】	討論	池邊 寧
学生へのメッセージ等	臨床医学の座学を終わったばかりの学生は、医療倫理のキーワードを聞いたことがあっても、内容の理解は全くできていないと考えられます。今回の授業を機会に、臨床医学の知識を踏まえて、臨床医にとって重要な医療倫理学の基本的な考え方を理解しましょう。		



# 共用試験 CBT (Computer Based Testing)

実施責任者：教育開発センター 教育教授

実施団体：社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構

## ■概要

医学知識（基礎医学・臨床医学）の総合的到達度を、コンピュータを用いた全国共通テストで評価する

## ■目標

臨床実習を始める前に備えるべき必要最低限の総合的医学知識を評価する

## ■評価方法

共用試験実施評価機構から示される全国成績・解析結果を受けて、合格または不合格を判定

## ■合否判定

- ①本試験は、能力値（ $\theta$ ）が400以上をもって合格とする。不合格者は再試験を受験することができる。
- ②再試験及び追試験は、能力値（ $\theta$ ）が400以上をもって合格とする。

## ■計画

日：令和4年9月1日（木）、2日（金）

（※学籍番号順に学生を前半・後半に分け、2日間で実施）

於：教養教育棟第2講義室

## ■受験料

25,000円（予定）

※ CBT及びPre-CC OSCEを併せた料金

# 共用試験 Pre-CC OSCE

(Pre-Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination)

実施責任者：教育開発センター 教育教授

実施団体：社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構

## ■概要

臨床実習で診療に参加するために必要な基本的技能・態度の修得度を評価する全国共通の臨床技能試験

## ■目標

臨床実習を始める前に備えるべき必要最低限の基本的診療技能・態度を評価する。

## ■評価方法

共用試験実施評価機構から示される評価方法を採用

## ■合否判定

### ① 本試験合格基準

全てのステーションにおいて、得点率60%以上かつ概略評価3.0以上を得なければならない。

不合格者は合格基準を満たさなかったステーションの再試験を受けることができる。

### ② 再試験合格基準

再試験対象ステーション全てにおいて、得点率60%以上かつ概略評価3.0以上を得なければならない。

## ■教科書・参考書

臨床手技実習ガイドライン（授業前に配布します）

## ■計画

日：令和4年10月1日（土）・2日（日）

（予備日）令和4年10月29日（土）・30日（日）

於：教育研修棟

## ■受験料

25,000円（予定）

※ CBT及びPre-CC OSCEを併せた料金

No.	授業科目名	授業方法	授業時間数	実務経験内容(職種)	担当教員名
1	循環器疾患	講義	26	医師	斎藤能彦、川上利香、中川仁、早田義宏、武輪能明、西田卓、渡邊真言、上村秀樹、畠山金太、阿部毅寿、添田恒有、尾上健児、橋本行弘、上田友哉、廣瀬友亮、吉栖正典、妹尾詢子、市橋成夫、中田康紀、山下慶悟、橋本行弘
2	腎疾患・尿路系疾患	講義	29	医師	鶴屋和彦、藤本清秀、赤井靖宏、江里口雅裕、鮫島謙一、田中宣道、藤井智美、丸上永晃、鳥本一匡、穴井智、米田龍生、青木勝也、三宅牧人、伊丹弘恵、石川智朗、吉栖正典、西山成、岡本恵介、中井靖
3	肝・胆・膵疾患	講義	17	医師	吉治仁志、森田剛平、鍛冶孝祐、高津峯、庄雅之、美登路昭、丸上永晃、浪崎正、田中利洋、瓦谷英人、澤田保彦、高谷広章、北東大督
4	呼吸器疾患	講義	26	医師	室繁郎、大林千穂、吉川雅則、長澄人、山内基雄、岡田博司、荻原健一、本津茂人、藤田幸男、川口剛史、澤端章好、田崎正人、山本佳史、伊藤武文、玉置伸二、甲斐吉郎、福岡篤彦、徳山猛、太田浩世、吉栖正典
5	消化器疾患	講義	29	医師	小山文一、澤井利夫、山尾純一、松本壮平、若月幸平、久下博之、伊藤高広、瓦谷英人、守屋圭、池田直也、中本貴透、谷里奈、美登路昭、山下裕磯、古川晶子、北川雄光
6	画像診断・IVR	講義	7	医師	岡田博司、丸上永晃、平井都始子、伊藤高広、田中利洋、宮坂俊輝、西尾福英之
7	神経疾患	講義	34	医師	中瀬裕之、杉江和馬、形岡博史、桐山敬生、木内博之、中川一郎、斎藤こずえ、江浦信之、田村健太郎、小林恭代、竹島靖浩、山田修一、鳥本一匡、松田良介、平林秀裕、岩佐直毅、朴永銖、泉哲石、古家一洋平、眞野智生、金泰均、廣瀬剛則、西村文彦、前岡良輔、岡本愛、中瀬健太、木次特司、七浦仁紀
8	運動器疾患	講義	16	医師	田中康仁、林雅弘、原良太、面川庄平、重松英樹、城戸顕、朴木寛弥、谷口晃、小川宗宏、藤井宏真、清水隆昌、河村健二、稲垣有佐、内原好信
9	眼疾患	講義	14	医師	緒方奈保子、上田哲生、西智、後岡克典、辻中大生、平井宏昌、水澤裕太郎、治村寛信、宮田季美恵
10	精神・行動疾患	講義	24	医師	牧之段学、定松美幸、中村祐、三村將、紀本創兵、鳥塚通弘、安野史彦、盛本翼、山室和彦、小森崇史、高橋誠人、山内崇平、浦谷光裕、後藤晴栄、中尾智弘、岸本直子、岡崎康輔、木村大樹
				その他	高橋茂樹(弁護士)
11	移植・再生医学	講義	17	医師	伊藤利洋、米田龍生、面川庄平、桑原理充、天野逸人、石原卓、柳生貴裕、金廣裕道、稲垣有佐、澤端章好、辻中大生、福場遼平
12	内分泌代謝栄養疾患	講義	25	医師	石井均、野上恵嗣、高橋裕、樽松由佳子、中島拓紀、中田康紀、妹尾詢子、武田麻衣子、赤羽たけみ、上田哲生、長谷川真理、鮫島謙一、岩佐直毅、岡田定規、長安美加、
13	血液疾患	講義	24	医師	松本雅則、田中晴之、中峯寛和、早川正樹、天野逸人、石原卓、吉井由美、八木秀男、野上恵嗣、宮川史
14	東洋医学	講義	7	医師	三谷和男、鳥本一匡、木本勝大、岡安唯
15	耳鼻咽喉疾患	講義	14	医師	北原礼、山中敏彰、西村忠己、上村裕和、宮坂俊輝、山下哲範、岡安唯、木村隆浩、榊井貴史、望月隆一
16	皮膚疾患	講義	10	医師	浅田秀夫、衣笠哲雄、小川浩平、福本隆也、宮川史、西村友紀、正島千夏、光井博康、新熊悟
17	膠原病・アレルギー疾患	講義	10	医師	藤本隆、浅田秀夫、石川智朗、原良太、太田一郎、小川浩平、友田恒一、鮫島謙一、江浦信之
18	臨床腫瘍学・放射線治療学	講義	26	医師	武田真幸、伊藤利洋、本津茂人、庄雅之、山崎正晴、八巻香織、神野正敏、玉本哲郎、小山文一、若井展英、浅川勇雄、井上和也、四宮敏章、三浦幸子、穴井洋、太田豊作、國安弘基、佐伯圭吾、平井都始子、吉井由美、武田麻衣子、浦谷光裕
				その他	京谷陽司(薬剤師)
19	衛生学・公衆衛生学Ⅱ	講義	27	医師	今村知明、野田龍也、佐伯圭吾、町田宗仁、水野文子、甲田勝康、神奈川芳行、林修一郎、西岡祐一、一戸和成
				その他	伊藤雪絵(看護師)
20	小児疾患	講義	12	医師	野上恵嗣、榊原崇文、長谷川真理、田中一郎、荻原健一、石原卓
21	法医学	講義	24	医師	粕田承吾、羽竹勝彦、工藤利彩
22	周産期医学	講義	19	医師	川口龍二、西久保敏也、内田優美子、釜本智之、市川麻祐子、長安美加、岩井加奈、山田有紀、竹田善紀
23	感染症	講義	17	医師	笠原敬、吉川正英、武山雅博、忽那賢志、田中宣道、古西満、小川拓、宇野健司、福盛達也、矢野寿一、中野竜一、今北菜津子、西村知子、小川吉彦
				その他	京谷陽司(薬剤師)
24	外傷・救急医学	講義	18	医師	福島英賢、川井廉之、西和田忠、恵川淳二、浅井英樹、河村健二、後藤安宣、古家一洋平、瓜園泰之、朴永銖、前川尚宜、畑倫明、小延俊文、平賀俊、奥田哲教
25	在宅医療学	講義	4	医師	今村知明、朝倉健太郎、次橋幸男、明石陽介
26	婦人疾患	講義	12	医師	山田有紀、内山智子、高濱潤子、岩井加奈、川口龍二
27	口腔疾患	講義	14	医師	桐田忠昭、山川延宏、館村卓、川上正良、山本一彦、川上哲司
				その他	笹平智則(歯科医師)
28	総合診療	講義	10	医師	西尾健治、武田以知郎、吉本清巳、大野史郎、赤井靖宏
29	麻酔・疼痛管理	講義	17	医師	川口昌彦、藤原亜紀、阿部龍一、北口勝康、山上裕章、位田みつる、中本達矢、四宮敏章、吉谷健司、安宅一晃、下川充、中川雅史、内藤祐介、中平毅一、岩田正人
	計		529		

# 地域基盤型医療教育コース

コース責任者：教育開発センター 教育教授

## 1. 授業の概要

### 2. 授業のねらい

奈良県立医科大学は、高度先進医療を担う専門医を養成するとともに奈良県の地域医療を担う人材を養成する責務を負っている。学生諸君は一般教育で教養を涵養し、基礎医学を学んでリサーチマインドを身に付け、そして医師としての自覚とともに1000を超える疾患の病態生理、診断、治療について学ぶことが求められている。

しかし、大学附属病院は3次医療機関として高度先進医療を行なうことが責務であるため、来院する患者は特殊なあるいは稀な疾患であることが多く、また、治療のための在院期間が非常に短いのが通例である。つまり、特殊な疾患に求められる高度で核心的な治療を短期間に集中して行っている。いわゆるCommon diseaseや特定の疾患の治療を時間軸全体（初診から治療完結まで）で学ぶこと、そして、患者医療を支える社会的資源（福祉、介護など）を学ぶためにはキャンパス内での学習では不十分である。この地域基盤型医療教育コースはキャンパス内では学ぶことが難しいこれらの学習課題を学ぶために企画されている。このカリキュラムを通じて学生諸君が、地域住民の健康管理および医療の実態を知るとともに、プライマリケアの在り方、全人的医療の重要性を学び、同時に住民との触れ合いを通じて人間性を涵養することを願っている。

### 3. 授業計画

#### 1) 正規プログラム

医学・医療入門講義（1年次）、早期医療体験実習（1年次）は準備教育として学内で実施する。

地域医療実習1（3年次）および地域医療実習2（6年次）は地域診療所、地域基幹病院など学外施設を利用して行われる。

キャリアパス・メンター実習は卒後のキャリア形成支援の一環として学内で実施する。

#### 2) 休暇中特別プログラム

緊急医師確保枠学生地域医療特別実習1（1～4年次）、緊急医師確保枠学生地域医療特別実習2（5～6年次）のうち、地域診療所等で実習する「メンター実習」は夏季・冬季・春季のいずれかの休暇中等に実施する緊急医師確保枠学生のためのプログラムである。

コンソーシアム実習は夏季休業中に早稲田大学と連携して隔年で「地域医療学概論」として本学で開講されるプログラムであり、緊急医師確保枠学生は原則1年次～4年次までの間に1回、その他の1年次～6年次までのすべての学生は選択科目として受講できる。

詳しい授業内容については、シラバス「緊急医師確保枠学生地域医療特別実習Ⅰ、Ⅱ」を参照してください。

### 4. 評価方法

各学年毎に活動状況を総合的に評価する。

### 5. 推奨する教科書

特になし

### 6. 参考図書

特になし

### 7. 学生へのメッセージ等

実習の詳細については、事前に説明会を開催して説明します。緊急医師確保枠学生地域医療特別実習1（1～4年次）、緊急医師確保枠学生地域医療特別実習2（5～6年次）の日程調整については教育開発センター実習コーディネーターが対応しています。

# 研究医養成コース

コース責任者：医学部長  
コーディネーター：教育開発センター

## 1. 授業の概要

### 1) 学部における実施の概要

研究医養成コースは、第2学年4月1日から開始される。

### 2) 大学院における実施の概要

卒業後2年以内に医師免許を取得し、奈良県立医科大学大学院医学研究科（博士課程、4年間）、関西医科大学大学院医学研究科（博士課程、4年間）または早稲田大学大学院（先進理工学研究科後期課程、3年間）のいずれかに進学し、博士の学位を取得する。奈良県立医科大学または関西医科大学では3年での取得を目指す。（医師免許取得後、直ちに臨床研修（2年間）に従事することは可能）

## 2. 授業のねらい

基礎医学・社会医学の分野において、世界的に貢献する研究者となるための基礎を身に付ける。

## 3. 授業計画

### 1) 正規プログラム

本コースの学生は、一般学生が地域医療実習1（3年次）、キャリアパス・メンター実習および地域医療実習2（6年次）を履修する期間、研究医メンター実習を履修（必修）する。研究医メンター実習では、各自が将来専門にしたいと希望する基礎医学・社会医学系講座（研究室）で指導を受ける。また、リサーチ・クラークシップ（2年次）の期間は、研究医メンター実習またはリサーチ・クラークシップのどちらかを選択し、履修（必修）する。

### 2) 休暇中特別プログラム

夏季・冬季・春季の休暇中にも、「研究医メンター実習」を必修履修する（1～4年生対象）。「研究医メンター実習」では基礎医学・社会医学系教室で5日間の実習を履修する。

なお、研究医養成コースの学生は、毎年1回は、研究発表会を学内で開催し、医学部長、指導担当教員、教育開発センター教員から評価を受けることが義務付けられる。

コンソーシアム実習は夏季休暇中に早稲田大学と連携して開講されるプログラムであり、本コースの学生は隔年で早稲田大学で開講されるコンソーシアム実習「先端医療工学と生命科学」を在学期間中に必修履修する。

### 3) 早稲田大学 Academic writing program

本コースでは、在学中に英語のライティングの基礎を学び、英語の論文や文書に対応できるようにする。このコースも研究医養成コースの学生について必修とする。

ホームページ参照

[http://www.w-int.jp/gogaku/course/a\\_writing.html](http://www.w-int.jp/gogaku/course/a_writing.html)

## 4. 評価方法

各学年毎に活動状況を総合的に評価する。

## 5. 推奨する教科書

特になし

## 6. 参考図書

特になし

## 7. 学生へのメッセージ等

メンター実習の日程調整については教育開発センター実習コーディネーターが対応しています。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1～4年	-	必修（緊急医師確保枠の学生）
担当教員			
若月 幸平			
添付ファイル			

教育スタッフ			
概要	<p>1)対象 医学科1～4年次の緊急医師確保入学試験枠学生全員とする。 申込み方法：受験者は教育開発センターまたは県費奨学生配置センターへ申込をする。 ※ 詳細は別途通知する。</p> <p>2)実習内容 (メンター実習) 休暇中の月曜日～金曜日までの5日間、1日6時間、合計30時間 奈良県立医科大学教育協力施設等の医療施設で実習を行う。 原則として、1施設につき、学生1名とする。 (研修会等) 教育開発センター、地域医療学講座、県費奨学生配置センターが緊急医師確保入学試験枠学生のために企画する会議、研修会等に参加する。</p>		
目標	<p>1)目標 緊急医師確保入学試験枠学生のための特別なプログラムで、6年一貫教育で実施する地域基盤型医療教育プログラムの一つである。 この実習を通じて、地域医療の現場を知り、将来、奈良県の地域医療の担い手となるための心構えを身につける。</p> <p>2)注意点 ①休暇中のメンター実習の他、教育開発センター、地域医療学講座、県費奨学生配置センターが緊急医師確保入学試験枠学生のために企画する会議、研修会等に参加することが進級の要件となる。 ②メンター実習に参加した学生は、必ず報告会には参加しなければならない。 ③メンター実習は、5日（計30時間）/年 参加する。 ・教育開発センター、地域医療学講座・県費奨学生配置センターとの面談、会議あるいは研修会等へ毎年定められた回数参加していれば、最大1日分のメンター実習とみなす。このことにより、メンター実習5日（計30時間）/年を4日（計24時間）/年とすることが出来る。 ・毎年次の進級判定前には、実習への参加の態度を勘案し、この実習の修了の可否を決定するため、教育開発センターにおいて面談を実施する。 ・1年生は入学時面談に参加する。 ・原則1～4年次の間に、本学と早稲田大学とで実施する「コンソーシアム実習」で2年に1回実施する夏期講座「地域医療学概論」に参加することを履修要件とする。</p> <p>3)その他 県費奨学生配置センターの計画する会議、研修会の年間予定は該当者については別途通知する。</p>		
評価方法	面談の評価、実習レポート、指導医による評価、会議・研修会の受講態度により総合的に評価する。		
教科書・参考書	特になし		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
	メンター実習 1日目	実習	担当医
	メンター実習 2日目	実習	担当医
	メンター実習 3日目	実習	担当医
	メンター実習 4日目	実習	担当医
	メンター実習 5日目	実習	担当医
	面談（1年生対象）	実習	担当医
	面談 教育開発センター、地域医療学講座、県費奨学生配置センター	実習	担当医
		実習	担当医

	メンター実習報告会1（秋）		
	メンター実習報告会2（春）	実習	担当医
	面談（各学年 進級判定会議前） 教育開発センター	実習	担当医
	会議、研修等	実習	担当医
学生へのメッセージ等	実習の日程調整については、教育開発センターと県費奨学生配置センターが対応しています。		

講義科目名称： コンソーシアム実習

授業コード： I180240

英文科目名称： Consortium Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1～6年	-	選択（研究医養成コースの学生は必修）
担当教員			
若月 幸平			
添付ファイル			

教育スタッフ			
概要	<p>1) 対象：医学科1～6年次 自由選択科目 開講される科目、日時などの詳細は別途周知する。</p> <p>2) 実習内容 夏季休業中に早稲田大学（東京）あるいは本学で開講される特別講義（月曜日～金曜日、合計30時間の集中講義、ワークショップ）を履修する。講義は、早稲田大学と本学の両方の教員が分担する。 ※令和4年度は早稲田大学で「医工学と医学」開講予定。</p>		
目標	「医工学と医学」、「地域医療学概論」についての理解を深める。		
評価方法	講義ごとの受講態度（60%）、レポート（40%）		
教科書・参考書	<p>教科書 特になし。授業中に資料を配布します。</p> <p>参考書 特になし</p>		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
	第1回  コンソーシアム実習 1日目	講義	担当教員
	第2回  コンソーシアム実習 2日目	講義	担当教員
	第3回  コンソーシアム実習 3日目	講義	担当教員
	第4回  コンソーシアム実習 4日目	講義	担当教員
	第5回  コンソーシアム実習 5日目	講義	担当教員
学生へのメッセージ等	他大学の学生と触れ合う貴重な機会です。奮ってご参加ください。		



# 奈良県立医科大学医学部医学科卒業時のアウトカム

## I. 倫理観とプロフェッショナリズム

学生は、卒業時に

患者、患者家族、医療チームメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するためのプロフェッショナルリズム（態度、考え方、倫理感など）を有して行動することができる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたって向上を図ることの必要性と方法を理解している。

<医師としての考え、態度>

- 1 人間の尊厳を尊重する。
- 2 法的責任・規範を遵守する。
- 3 患者に対して利他的、共感的、誠実、正直に対応し、患者中心の立場に立つ。
- 4 患者、患者家族の心理・社会的要因と異文化、社会背景に関心を払い、その立場を尊重する。
- 5 倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて評価できる。
- 6 自分の知識、技能、態度に責任を持って患者を診療できる。
- 7 医学、医療の発展に貢献することの必要性を理解する。

<チーム医療>

- 8 医療・研究チームで協同して活動し、チームリーダーとしての役割を果たすことができる。
- 9 医療チームの一員として効果的、相補的な業務を行い、医療安全に務めることができる。

<自己啓発>

- 10 自己の目標を設定できる。
- 11 自己を適切に評価して知識と技能の能力の限界を知り、それを乗り越える対処方法を見つけることができる。
- 12 生涯学習により常に自己の向上を図る必要性と方法を理解する。
- 13 医療ニーズに常に対応できるように自己を管理できる。
- 14 自らのキャリアをデザインし、達成へ向けて学習を継続できる。

## II. 医学とそれに関連する領域の知識

学生は、卒業時に

基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、それらを医療の実践の場で応用できる。医療の基盤となっている生命科学、人口、環境など関連領域の知識と原理を理解している。

以下の知識を有し、応用できる。

- 1 人体の正常な構造と機能
- 2 人体の発達、成長、加齢、死
- 3 人の心理、行動
- 4 病因、人体の構造と機能の異常、疾病の自然経過と予防
- 5 薬理効果・治療
- 6 疫学、人口統計、環境
- 7 医療安全
- 8 医学医療に影響を及ぼす文化的・社会的・経済的要因

### Ⅲ. 医療の実践

学生は、卒業時に

患者に対し思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な医療と健康増進を実施できる。医学とそれに関連する領域の知識を統合して、急性あるいは慢性の頻度の高い健康問題の診断と治療を計画できる。

- 1 心理、社会的背景を含む患者の主要な病歴を正確に聴取できる。
- 2 成人及び小児の身体診察と基本的臨床手技を適切に実施することができる（精神、神経学的、生殖器、整形外科的診察も含む）。
- 3 プロブレムリスト、鑑別診断のための疾患リスト、診療録を作成できる。
- 4 頻度の高い疾患の診断と治療に必要な臨床検査（検体検査、画像診断、病理診断）を選択し、結果を解釈できる。
- 5 頻度の高い疾患の診断と治療計画を患者の心理・社会的因子、文化的背景、疫学、EBM を考慮して立てられる。
- 6 医療を実施する上で有効な患者-医師関係を構築できる。
- 7 患者管理の基本を実施できる。
- 8 患者の安全性を確保した医療を実践できる。
- 9 リハビリテーション、地域医療、救急医療、集中治療に参加できる。
- 10 緩和医療、終末期医療、代替医療の概要を理解し、これらの医療に参加できる。
- 11 患者教育の概要を理解し、実践できる。
- 12 医療の不確実性を認識して対応できる。
- 13 診療の優先順位を決定できる。
- 14 電子化された医学・医療に関する情報を利用できる。

### Ⅳ. コミュニケーション技能

学生は、卒業時に

他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して医療を実践し、思いやりがある効果的なコミュニケーションができる。医学・医療における文書を適切に作成し、取り扱うことができる。責任ある情報交換と記録を行うことができる。

- 1 有効なコミュニケーションの一般原則を実践できる。
- 2 患者、患者家族、医療チームのメンバーと、個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを実施できる。
- 3 コミュニケーションを通じて患者、患者家族、医療チームのメンバーとの信頼関係を築き、情報収集、説明と同意、教育など医療の基本を実践できる。
- 4 診療情報、科学論文などの文書を規定に従って適切に作成、取り扱い、情報提供できる。

## V. 医学、医療、保健、社会への貢献

学生は、卒業時に

保険制度、医療機関、行政等の規則等に基づいた保健活動と医療の実践、研究、開発を通して社会に貢献できることを理解できている。

- 1 各種保険制度など医療制度が理解できている。
- 2 患者の診療、健康の維持、増進のために各種医療専門職の有用性が理解できている。
- 3 地域の保健、福祉、介護施設の活用が患者個人と医療資源の適正な利用に必要であることが理解できている。
- 4 患者と家族の健康の維持、増進のために施設を適切に選択できる。
- 5 地域の保健・福祉に関する問題を評価でき、疾病予防プランを立案できる。
- 6 医師として地域医療に関わることの必要性が理解できている。
- 7 医学・医療の研究と開発が社会に貢献することが理解できている。
- 8 国際保健活動の仕組みと意義を理解し、説明できる。

## VI. 国際的視野と科学的探究

学生は、卒業時に

基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報の評価、批判的思考、新しい情報を生み出すための論理的思考に基づき研究計画の立案ができる。

- 1 国際的視野で医療と医学研究を考えることができる。
- 2 未解決の臨床的あるいは科学的問題を認識し、仮説を立て、それを解決するための方法と資源を見いだすことができる。
- 3 臨床や科学の興味ある領域での研究をすすめることができる。
- 4 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論が理解できている。
- 5 人を対象とした医学研究の倫理、研究不正などに対する研究倫理が理解できている。
- 6 科学的研究で明らかになった新しい知見を明確







# 奈良県立医科大学医学部公欠規程

平成28年2月4日制定

## (目的)

第1条 この規程は、奈良県立医科大学学則第25条に規定する学生の欠席について、奈良県立医科大学がやむを得ないと認める理由（以下「理由」という。）による欠席（以下「公欠」という。）の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

## (公欠の定義)

第2条 公欠とは、学生が次条に規定する理由により講義、実習等を欠席した場合、これを単位認定、科目修得及び履修要件における欠席扱いとしない取扱いをいう。

## (公欠の理由)

第3条 公欠を認める理由は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 学生が学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症に罹患したことにより出席停止措置を受けた場合、又は健康管理センター長が学生の出席停止措置が必要であると認めた場合
- (2) 気象警報の発表、交通機関の運休等により学生の通学が困難であると認められた場合
- (3) 学生の親族が死亡した場合（忌引）
- (4) 学生が裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合
- (5) 学生がカリキュラム履修や教員の指導下で実施している自主的研究において、教員が必要と認める学会等に参加する場合
- (6) その他学長が必要と認めた場合

## (公欠の基準)

第4条 前条第1号及び第3号における公欠の基準については、別表第1に定めるとおりとする。

## (公欠の手続)

第5条 公欠の適用を受けようとする学生は、公欠届（別紙様式）に別表第2に定める書類を添えて、学長に提出するものとする。

- 2 学長は、前項の規定により公欠届の提出があったときは、その内容を第3条及び第4条の基準に基づき審査し、公欠として適正と認める場合はこれを許可する。
- 3 公欠の申出時期は、原則として別表第2のとおりとする。ただし、学長が別に定める場合はこの限りではない。
- 4 公欠の許可について、公欠届の内容及び理由によりやむを得ないと認められる場合には、学長は公欠希望日に遡ってこれを認めることができるものとする。

(公欠時の講義、実習等の取扱い)

第6条 教員は、公欠を許可された学生に対し、講義、実習等の履修において、補講、個別指導等の実施により当該学生が不利とならないよう配慮を行うものとする。

ただし、実習等については、公欠を許可されても、追実習、評価及び単位認定ができない場合がある。

(公欠時の定期試験等の取扱い)

第7条 公欠を許可された期間は、奈良県立医科大学医学部医学科授業科目履修要領第5条第3項及び奈良県立医科大学医学部看護学科授業科目履修要領第7条に規定する定期試験等の受験に係る授業時間数には含めないものとする。ただし、前条に規定する補講等が実施された場合は、当該時間数に含めるものとする。

2 公欠を許可された学生に対する定期試験等の取扱いにおいて、奈良県立医科大学医学部医学科授業科目履修要領第5条第4項及び奈良県立医科大学医学部看護学科授業科目履修要領第8条第2項に規定する疾病その他やむを得ない理由については、第3条各号を適用するものとする。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。



## 別表第1（第4条関係）

### 感染症について(第3条第1号関係)

	対象疾病	出席停止期間
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)、MERS、鳥インフルエンザ(病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであってその血清型がH5N1、H7N9であるものに限る)	治癒するまで
第二種	インフルエンザ(鳥インフルエンザH5N1を除く)	発症した後(発熱の翌日を1日目として)5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹	解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風疹	発しんが消失するまで
	水痘	すべての発しんが痂皮化するまで
	咽頭結膜熱	主要症状が消退した後2日を経過するまで
第三種	結核、髄膜炎菌性髄膜炎	病状により本学健康管理センター医師、その他の医師が感染のおそれがないと認めるまで
	感染性胃腸炎(ノロ・ロタ等)	症状のある間が主なウィルスの排出期間なので、下痢、嘔吐症状が消失してから48時間を経過するまで。手洗いを励行すること。
	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他感染症	病状により本学健康管理センター医師、その他の医師が感染のおそれがないと認めるまで

### 忌引について(第3条第3号関係)

親等	対象範囲	日数(土日・祝祭日を含む)
	配偶者	最長7日
1親等	父母、子	最長7日
2親等	祖父母、兄弟姉妹、孫	最長3日

## 別表第2（第5条関係）

### 手続方法について

以下の理由により欠席する場合は、公欠届及び以下の添付書類を提出すること。

欠席理由	添付書類	申出時期
感染症等(第3条第1号)	医師の診断書	診断書による療養期間終了後すみやかに
忌引(第3条第3号)	会葬の案内状、礼状等	事後1週間以内
裁判員制度(第3条第4号)	用務内容が記載された書類	招集日の1週間前まで
学会等参加(第3条第5号)	学会等の概要がわかる書類	学会等参加の1週間前まで
その他(第3条第6号)	理由が証明できる書類	事後1週間以内

※(第3条第2号関係)

気象警報の発令、交通機関の運休等社会的要因によるものについては、添付書類の提出は不要とする。

# 公 欠 届

年 月 日

奈良県立医科大学長 殿

医学部 (医学科・看護学科)

第 学年 (学籍番号 )

氏 名 \_\_\_\_\_

下記の理由により講義、実習等を欠席したいので、公欠の取扱いをお願いします。

## 記

### 1 理 由 (該当理由にレを入れること)

- 感染症等 (名称 )
- 気象警報、交通機関運休等 (経路 )
- 忌引 (続柄 )
- 裁判員制度
- 学会等参加
- その他 ( )

### 2 公欠期間及び公欠扱いを希望する講義・実習等名

年 月 日 ~ 年 月 日

<講義・実習等名 (詳しく記載すること)>

<経過>

※新型コロナウイルス感染症に関する場合のみ記載

(注1) 別表第2に定める書類を添付すること。

(注2) 新型コロナウイルス感染症に関する場合は、来学初日の授業開始前までに教育支援課へ提出すること。

なお、事前に公欠届の提出がない場合は、授業への出席を認めない。

## 暴風警報等発表時における授業の措置について

(平成26年1月8日 医学科・看護学科学務委員会等 決定)

台風等の接近に伴い奈良県北西部に「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表されたときの授業の取扱いは原則として次のとおりとする。

### 【共通事項】

- (1) 午前7時現在「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表されているときは、午前の授業は休講とする。
- (2) 午前11時までに「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が解除されたときは、午後の授業のみ行う。
- (3) 午前11時以降も「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が解除されないときは、当日の授業は休講とする。ただし、大学院は下記(7)によることとする。
- (4) 午前11時以降の授業時間中に「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表された場合は、当該授業終了後はすべて休講とし、速やかに帰宅させることとする。
  - ① 「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表された場合のクラブ活動等の課外活動は、禁止とする。
  - ② 「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表された場合の図書館及び自習室等の学内における学生の自習については、禁止とする。

### 【医学科】

- (5) 医学科の学内及び学外実習については、上記(1)～(4)を原則とし、当該実習施設の指導者の判断に基づき決定することとする。

### 【看護学科】

- (6) 看護学科の臨地実習については、原則上記(1)～(4)のとおりとする。ただし、学外で実習を行っている場合の措置については、当該実習担当教員が実習先の指導者と協議し、原則として実習を中止し帰宅させる。ただし、台風等の接近に伴い帰宅に危険が伴うことが想定される場合は、実習先で待機させる等の柔軟な対応を行うこととする。

### 【大学院】

- (7) 大学院については、午後4時までに「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が解除された場合は、午後6時以降の授業を行う。午後4時以降も解除されない場合は、終日休講とする。
- (8) 実習については、上記(6)に準ずるものとする。

\*なお、状況によって警報発表の有無にかかわらず別段の決定を行うことがある。

# 地震発生等災害時における授業の措置について

地震発生等災害時における授業の取扱は原則として次のとおりとする。

## 1. 講義

- ①教育支援課が被害状況、交通機関の運行状況等の情報収集を行い医学部長に報告
- ②医学部長が①を確認し、授業の実施、今後の方針等を判断（必要に応じて看護学科長（看護学科長と連絡が取れない場合は、看護教育部長）と協議）  
なお、医学部長と連絡が取れない場合は、事務局長が判断
- ③教育支援課は医学部長の判断を教務システム及び大学ホームページに掲載し、周知

### 休講とする判断の目安

○近鉄大阪線及び橿原線が同時に運休した場合

※ 交通機関の運休等により登校できない場合は、公欠扱いとする。

## 2. 実習

当該実習の担当教員、領域長及び指導者と協議し、必要に応じて実習を中止し帰宅させる。ただし、帰宅に危険が伴うことが想定される場合は、実習先で待機させる等の柔軟な対応を行うこととする。

※「暴風警報等発表時における授業の措置について」に準じる。

### 【災害等発生時 教育支援課 緊急連絡先】

- ① 0744-22-3051（大学代表番号）
- ② 0744-22-9844（教務係直通）
- ③ 0744-29-8805（入試・学生支援係直通）
- ④ 0744-29-8917（入試・学生支援係直通）

※係に関係なく、上記いずれかの番号にご連絡ください。

## 健康管理

### (1) 学生相談

学生が学生生活を送るうえでの様々な相談に応じるため、臨床心理士による学生カウンセリングルームを週1回開設しています（予約制, 106 頁参照）。カウンセリングを希望する場合は、教育支援課、健康管理センター、又は教員（学生生活相談担当教員、アドバイザー教員、研究指導教員など）を通じて申込んでください。教育支援課に申し込みする場合、希望のカウンセリング日を伝えてください。教育支援課担当者がカウンセラーと日程調整を行います。なお、相談内容の秘密は固く守られます。

### (2) 健康相談

学生が健康上の相談をしたい場合は、校医（内科）による健康相談を受けることができます。教育支援課又は健康管理センターに申込み、日程調整をしてください。

### (3) 健康管理

健康状態について、常に自己管理を心がけてください。登校中、又は学内において体調が思わしくない場合は、教育支援課に欠席を届け出たうえで早めに帰宅して静養するなり、医療機関を受診するなどしてください。帰宅が難しいほど不調の場合は、教育支援課に連絡し(5)の健康管理センターの指示に従ってください。

### (4) 定期健康診断

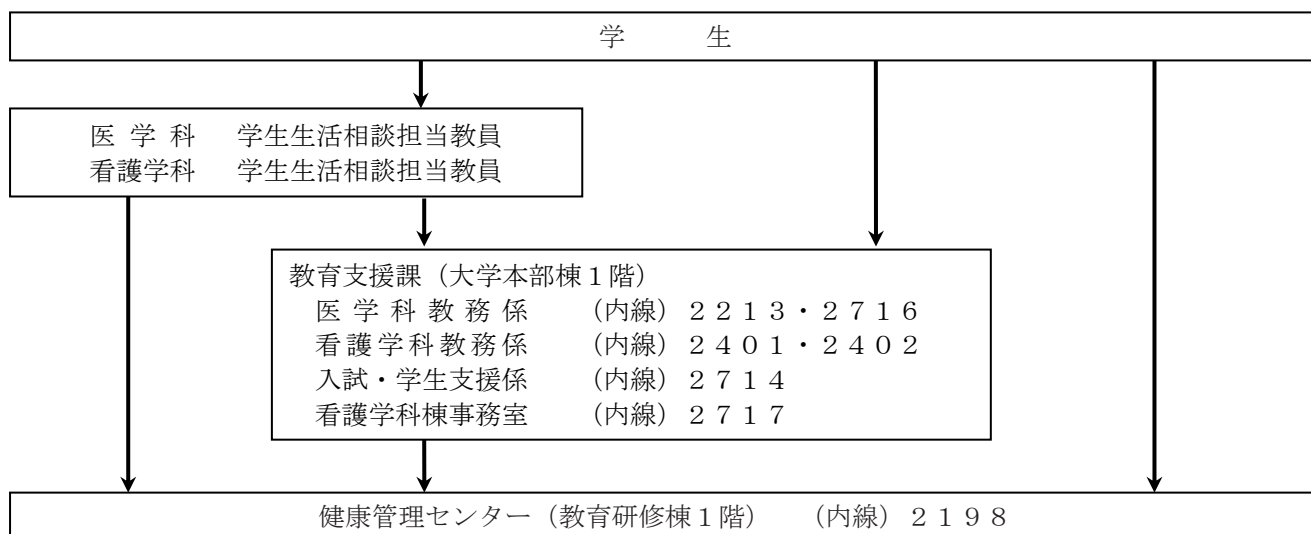
学校保健安全法により、定期健康診断の実施が義務付けられています。

各学年とも毎年1回、4月以降に実施する定期健康診断を受けなければなりません。定期健康診断を受診できなかった学生については、診断項目について自己責任で受診し(5)の健康管理センターに報告してください。

また、医学科1年生、編入2年生、看護学科1年生・看護学研究科1年を対象に結核感染防止のためのIGRAs検査、麻疹（はしか）・風疹（三日ばしか）・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）・水痘（水ぼうそう）の4種感染症抗体価検査及びB型肝炎抗原抗体検査を実施します。さらに、B型肝炎抗原抗体検査の結果、ワクチン接種対象とされた方にはB型肝炎ワクチン接種を実施します。

### (5) 健康管理センター

学内において緊急を要する怪我・発病等の場合は、下記により健康管理センターに連絡してください。応急対応やベッドでの休憩などが可能です。必要に応じて医療機関を紹介します。なお、健康保険証は常に携帯しておくことをお勧めします。



(6) 附属病院の受診を希望される方へ

本大学の附属病院を受診される場合、他院もしくは健康管理センターの発行する紹介状を持参されると選定療養費が免除されます。

健康管理センターにて紹介状の発行を希望される方は、平日午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分までに健康管理センターに行き、受診理由等を記載してください。

なお、緊急の場合を除き、受付時間（平日午前 8 時 30 分～午前 11 時）を超えて受診することはできません。また、診療科により外来診療を行っていない曜日があるため、事前に調べておいてください。

(7) 感染症対策

感染性の疾患にかかった場合、速やかに医療機関を受診し、教育支援課に連絡してください。診断が出るまでは登校を控え、診断が出た場合は医師の指示に従ってください。併せて、診断結果を教育支援課に連絡してください。欠席しても公欠が認められますので、登校後に診断書と公欠届を提出してください。

なお、新型コロナウイルス感染症については大学からの対応方針が状況に応じて更新されているので、最新の情報を把握してそれに従ってください。

主な感染症の出席停止期間

(その他の疾患でも教育支援課または健康管理センターの指示に従って下さい)

感染症の種類	出席停止期間（登校基準）
インフルエンザ (※)	発症した後（発熱の翌日を 1 日目として）5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日を経過するまで。
百日咳	特有の咳が消失するまで、または 5 日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで。
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺等の腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。
麻疹（はしか）	発疹に伴う発熱が解熱した後 3 日を経過するまでは出席停止。ただし、病状により感染力が強いと認められたときは、さらに長期に及ぶ場合もある。
風疹（三日ばしか）	発疹が消失するまで。
水痘（水ぼうそう）	すべての発疹がかさぶたになるまで。
感染性胃腸炎 (ノロ・ロタ等)	下痢、嘔吐症状が消失してから 48 時間を経過するまで。手洗いを励行すること。
B 型肝炎	急性肝炎の急性期でない限り登校は可能。HBV キャリアの登校を制限する必要はない。ただし、血液に触れる場合は手袋を着用するなど、予防策を守ることが大切。
髄膜炎菌性髄膜炎	病状により校医等において感染の恐れがないと認めるまで。

(※) 鳥インフルエンザ（H5N1、H7N9 など）及び新型インフルエンザ等感染症は別途対応。

附属病院での実習時には、B 型肝炎、麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘の抗体価およびワクチン接種記録の提出が求められます。また、学外の実習受け入れ施設でもワクチン接種を済ませていることを要件とする場合があります。海外留学時にも抗体検査結果やワクチン接種記録が求められます。実習に参加できない事態を避けるため、定期健康診断においてワクチン接種が必要とされた者は、必ずワクチン接種を済ませておいてください。またワクチン接種記録は速やかに健康管理センターに報告するとともに、医療機関に勤める際にも必要になりますので自己管理してください。